

**さくら市**  
**子育て支援についてのアンケート調査**  
**【結果報告書】**

**平成31年3月**

**さくら市**



# 目次

<b>I 調査の概要</b> .....	<b>1</b>
<b>II 調査結果</b> .....	<b>2</b>
1. 封筒の宛名のお子さんご家族の状況について .....	2
2. 子どもの育ちをめぐる環境について .....	6
3. 宛名のお子さんの保護者の就労状況について .....	10
4. 宛名のお子さんの平日の定期的な教育・保育事業の利用状況について .....	16
5. 宛名のお子さんの子育て支援センターの利用状況について .....	35
6. 宛名のお子さんの土日・休日や長期休暇中の「定期的」な 教育・保育事業の利用希望について .....	38
7. 宛名のお子さんの病気の際の対応について .....	41
8. 宛名のお子さんの不定期の教育・保育事業や宿泊を伴う 一時預かり等の利用について .....	50
9. 小学校就学後の放課後の過ごし方について .....	57
10. 育児休業や短時間勤務制度など 職場の両立支援制度について .....	73
11. 子育て全般について .....	82
<b>III 資料編</b> .....	<b>91</b>





# I 調査の概要

## (1) 調査の目的

本調査は、平成 27 年 3 月に策定した「第 1 期さくら市子ども・子育て支援事業計画」が平成 31 年度に終了することに伴い、平成 32 (2020) 年度からの「第 2 期さくら市子ども・子育て支援事業計画」の策定の基礎資料とするため、市民の皆さまの子育て支援事業に関するニーズ量や子育て支援に関するご意見・ご要望等を把握することを目的に実施しました。

## (2) 調査対象者

調査区分	調査対象者	調査対象者数
就学前児童	市内在住の就学前の児童から無作為抽出	1,500 人
小学生児童	市内在住の小学校の児童から無作為抽出	1,500 人

## (3) 実施概要

- 調査地域：さくら市全域
- 調査形式：アンケート調査
- 調査方法：郵送配布・郵送回収
- 調査期間：平成 30 年 12 月 13 日（木）～平成 30 年 12 月 28 日（金）

## (4) 回収結果

調査区分	配布数	回収数	回収率
就学前児童	1,500 件	753 件	50.2%
小学校児童	1,500 件	747 件	49.8%
合計	3,000 件	1,500 件	50.0%

## (5) 報告書を見る際の留意点

- 調査結果の比率は、その設問の回答者数を基数として、小数点第 2 位を四捨五入して小数点第 1 位までを示しているため、その合計値が 100.0%にならない場合があります。
- 複数回答の設問の場合、回答比率の合計は 100.0%を超える場合があります。
- 図表中の「n」とは、その設問の回答者数を表しています。

## II 調査結果

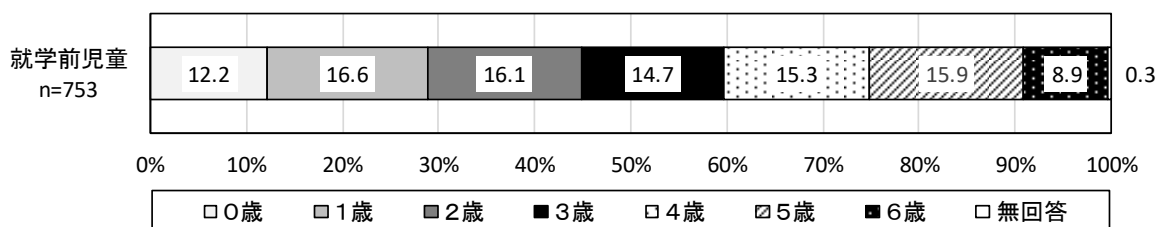
### 1. 封筒の宛名のお子さんご家族の状況について

#### (1) 宛名の子どもの年齢・学年〈単数回答〉〔就学前児童調査：問1、小学生児童調査：問1〕

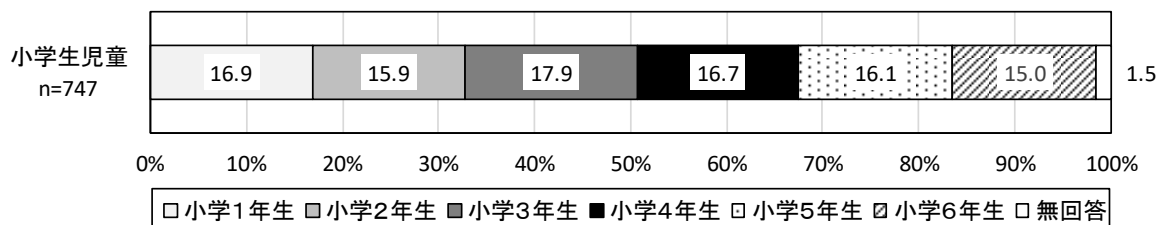
子どもの年齢・学年について、就学前児童は「1歳」が16.6%で最も高く、次いで、「2歳」が16.1%となっています。

小学生児童は「小学3年生」が17.9%で最も高く、次いで、「小学1年生」が16.9%となっています。

#### ■就学前児童



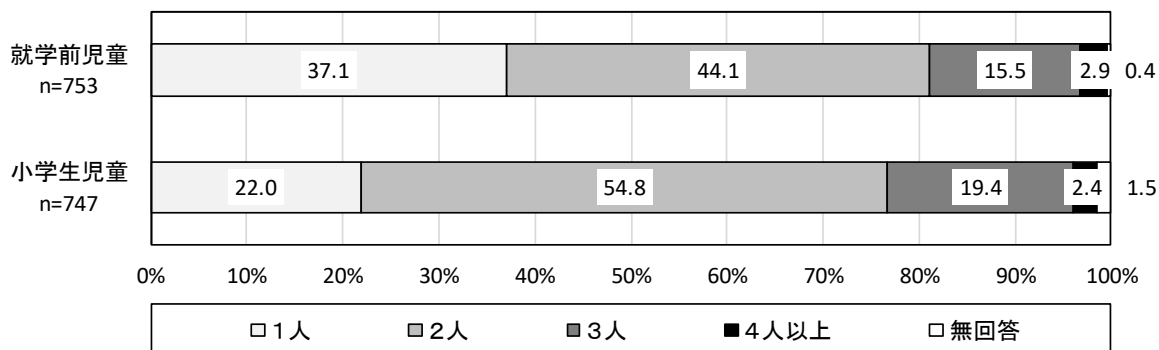
#### ■小学生児童



**(2) きょうだいの人数・末子の子どもの年齢〈単数回答〉** [就学前児童調査：問2、小学生児童調査：問2]

**【きょうだいの人数（宛名の子どもを含めた人数）】**

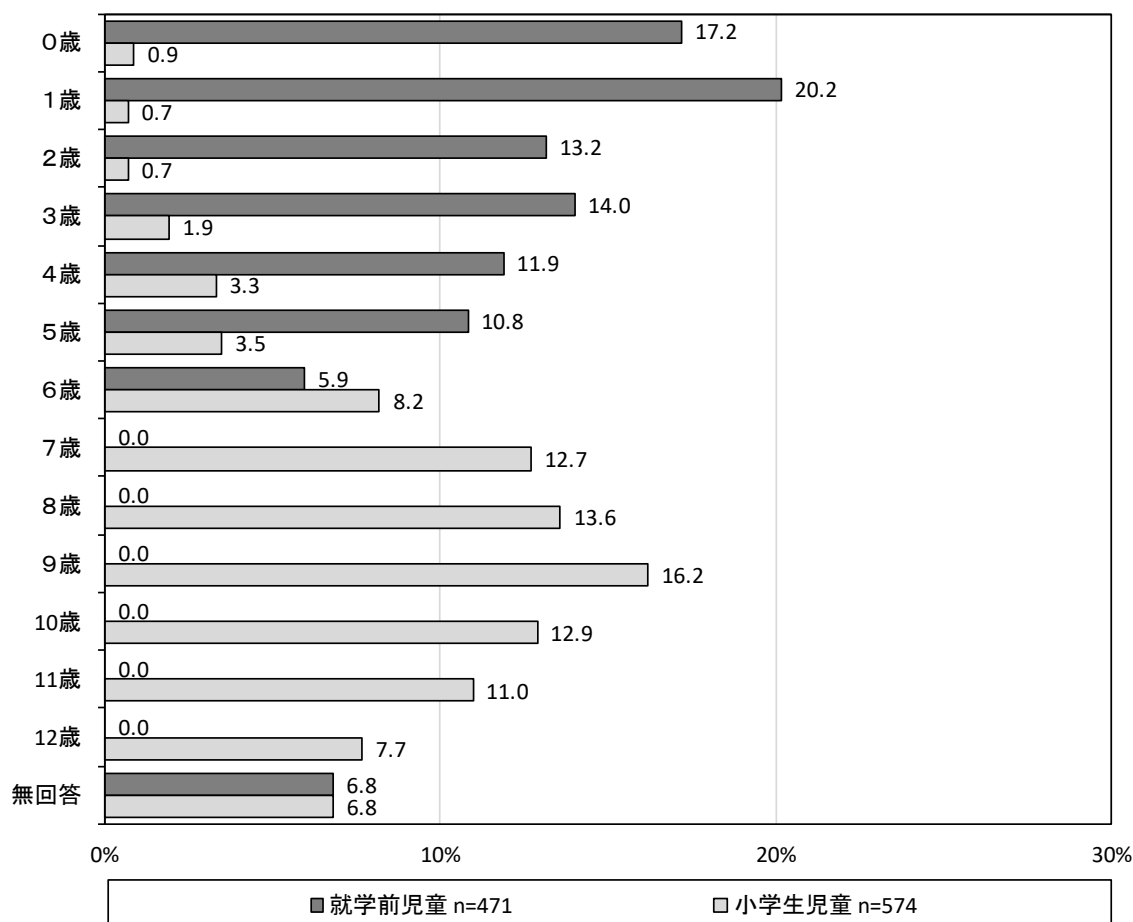
きょうだいの人数については、「2人」が就学前児童で44.1%、小学生児童で54.8%と最も高く、次いで、「1人」が就学前児童で37.1%、小学生児童で22.0%となっています。



**【末子の子どもの年齢（2人以上の子どもがいる場合）】**

2人以上の子どもがいる場合の末子の年齢について、就学前児童は「1歳」が20.2%で最も高く、次いで、「0歳」が17.2%となっています。

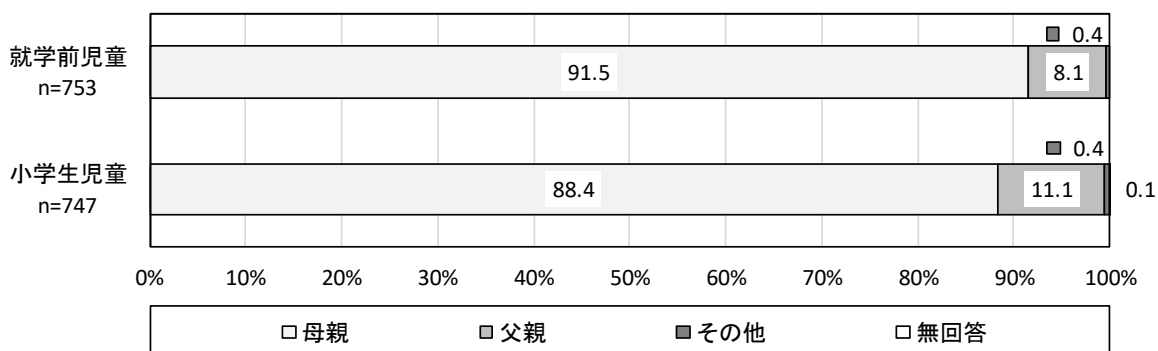
小学生児童は「9歳」が16.2%で最も高く、次いで、「8歳」が13.6%となっています。



## II 調査結果

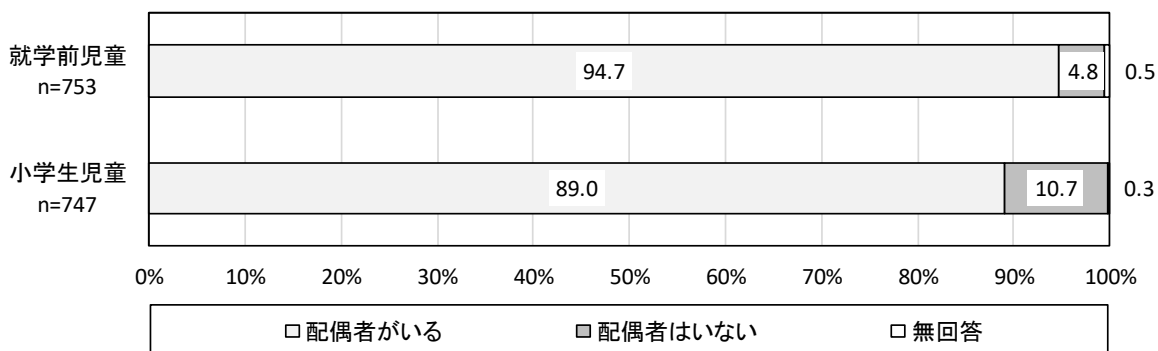
### (3) 調査票の回答者〈単数回答〉[就学前児童調査：問3、小学生児童調査：問3]

調査票への回答者については、「母親」が就学前児童で91.5%、小学生児童で88.4%と最も高く、次いで、「父親」が就学前児童で8.1%、小学生児童で11.1%となっています。



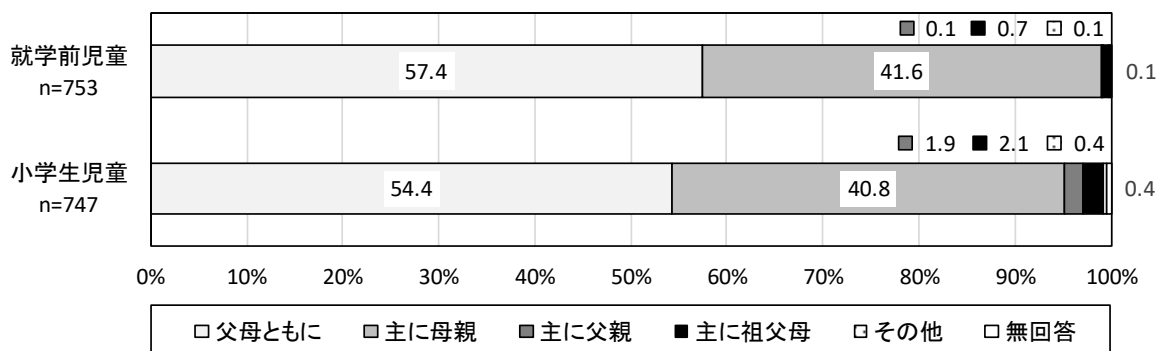
### (4) 回答者の配偶関係〈単数回答〉[就学前児童調査：問4、小学生児童調査：問4]

回答者の配偶者の有無については、「配偶者がいる」が就学前児童で94.7%、小学生児童で89.0%となっており、「配偶者はいない」が就学前児童で4.8%、小学生児童で10.7%となっています。



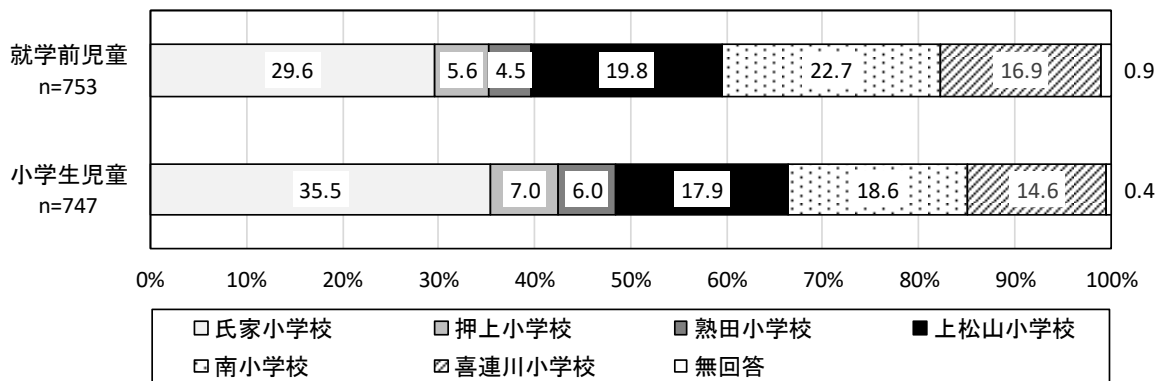
### (5) 子育て(教育を含む)を主に行っている方〈単数回答〉[就学前児童調査：問5、小学生児童調査：問5]

子どもの子育てを主に行っている方については、「父母ともに」が就学前児童で57.4%、小学生児童で54.4%と最も高く、次いで、「主に母親」が就学前児童で41.6%、小学生児童で40.8%となっています。



**(6) 居住地区の小学校区〈単数回答〉[就学前児童調査：問6、小学生児童調査：問6]**

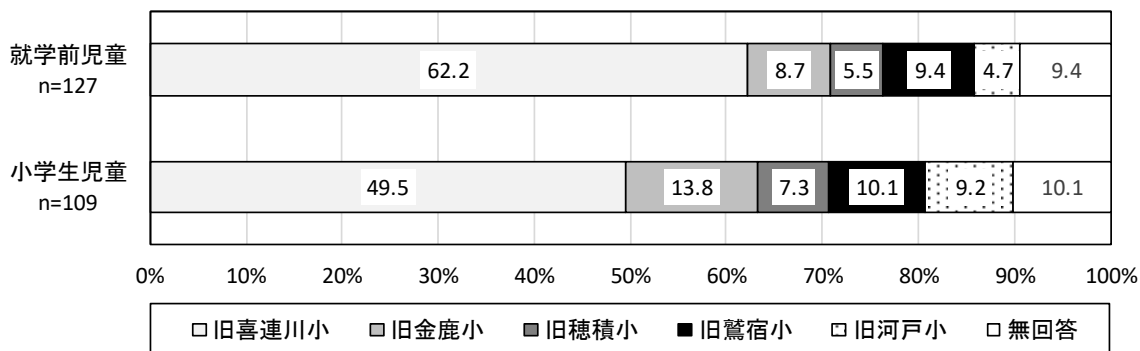
居住地区の小学校区については、「氏家小学校」が就学前児童で29.6%、小学生児童で35.5%と最も高く、次いで、「南小学校」が就学前児童で22.7%、小学生児童で18.6%となっています。



**(6) で「喜連川小学校」を選択した方**

**(7) 喜連川小学校の旧小学校区〈単数回答〉[就学前児童調査：問6、小学生児童調査：問6]**

喜連川小学校の旧小学校区については、「旧喜連川小」が就学前児童で62.2%、小学生児童で49.5%と最も高く、次いで、就学前児童では「旧鷲宿小」が9.4%、小学生児童では「旧金鹿小」が13.8%となっています。



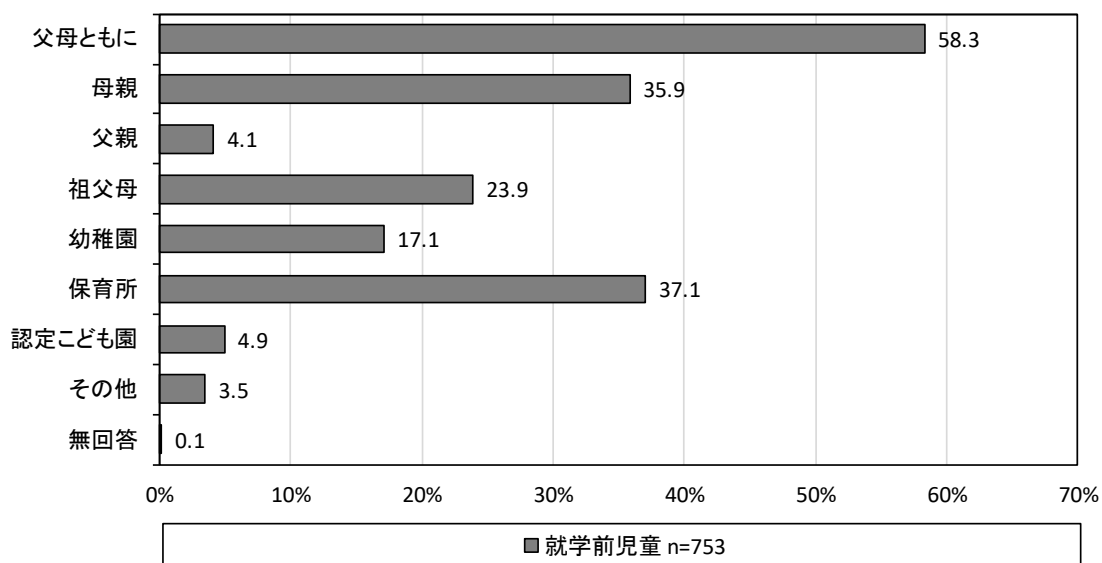
## 2. 子どもの育ちをめぐる環境について

### (1) 子育て（教育を含む）を日常的に行っている人・施設について〈複数回答〉

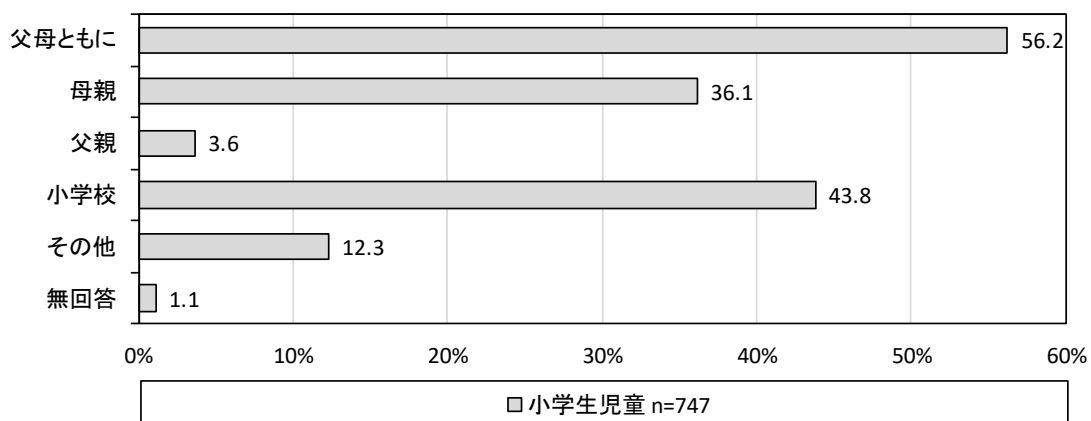
[就学前児童調査：問7、小学生児童調査：問7]

子どもの子育てに日常的に関わっている方（施設）については、「父母ともに」が就学前児童で58.3%、小学生児童で56.2%と最も高く、次いで、就学前児童では「保育所」が37.1%、小学生児童では「小学校」が43.8%となっています。

#### ■就学前児童

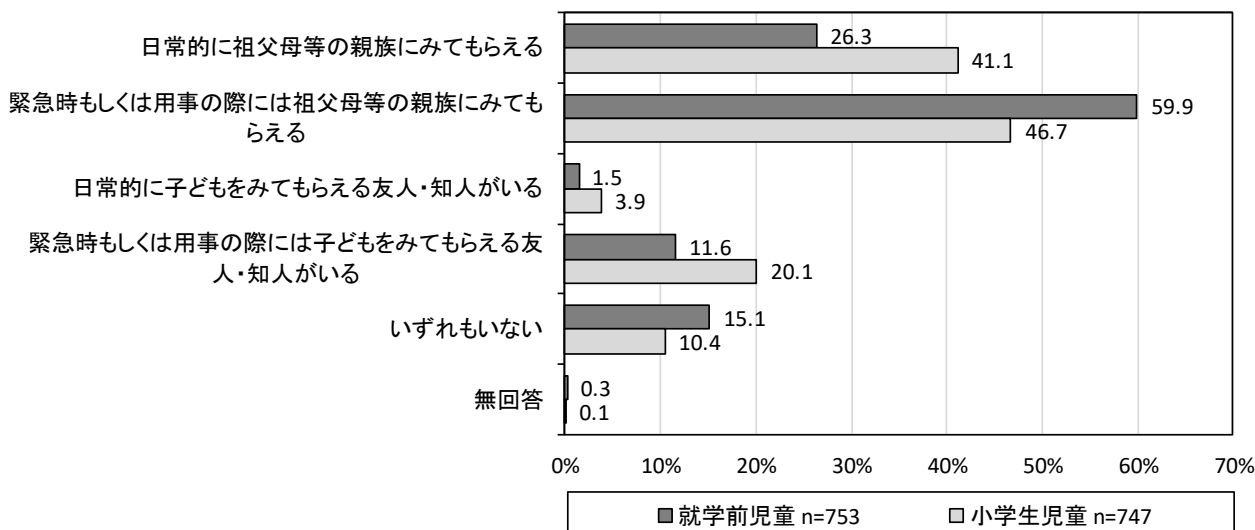


#### ■小学生児童



**(2) 日常的にみてくれる親族・知人の有無〈複数回答〉[就学前児童調査：問8、小学生児童調査：問8]**

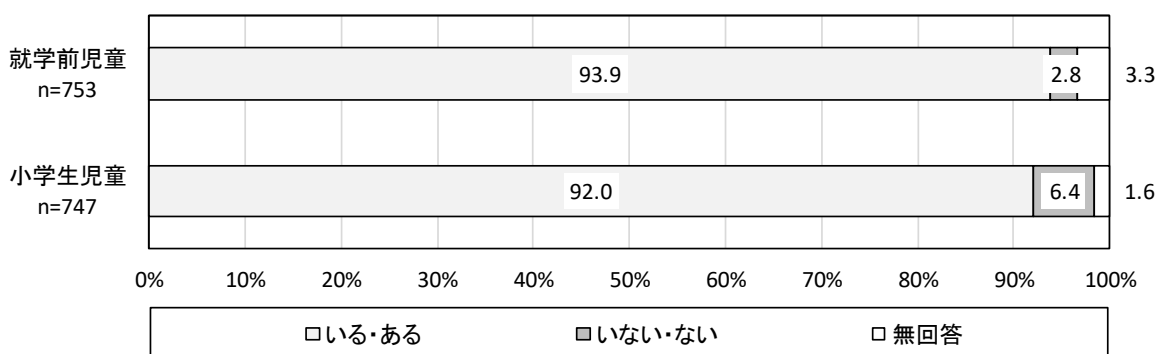
宛名の子どもを日常的にみてくれる親族・知人の有無については、「緊急時もしくは用事の際には祖父母等の親族にみてもらえる」が就学前児童で59.9%、小学生児童で46.7%と最も高く、次いで、「日常的に祖父母等の親族にみてもらえる」が就学前児童で26.3%、小学生児童で41.1%となっています。



**(3) 子育てをする上で、気軽に相談できる人・場所の有無〈単数回答〉**

[就学前児童調査：問9、小学生児童調査：問9]

子育てをする上で相談できる人・場所の有無については、「いる・ある」が就学前児童で93.9%、小学生児童で92.0%となっており、「いない・ない」が就学前児童で2.8%、小学生児童で6.4%となっています。



## II 調査結果

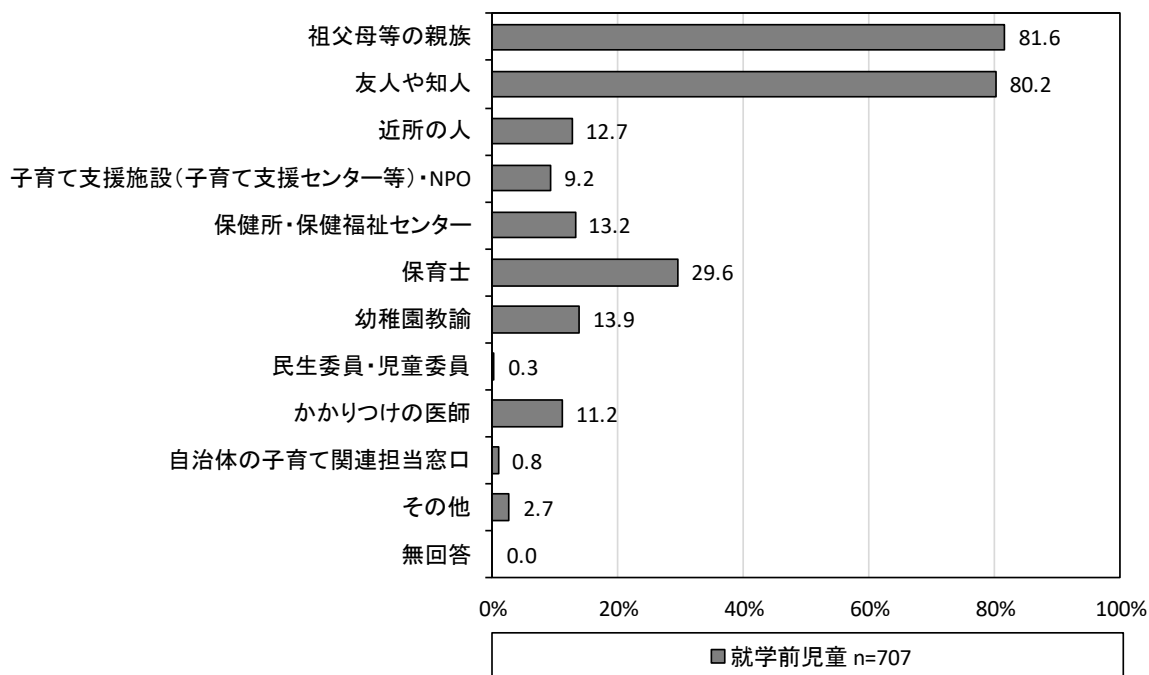
### (3)で「いる・ある」を選択した方

#### (4) 相談相手・相談場所〈複数回答〉〔就学前児童調査：問9-1、小学生児童調査：問9-1〕

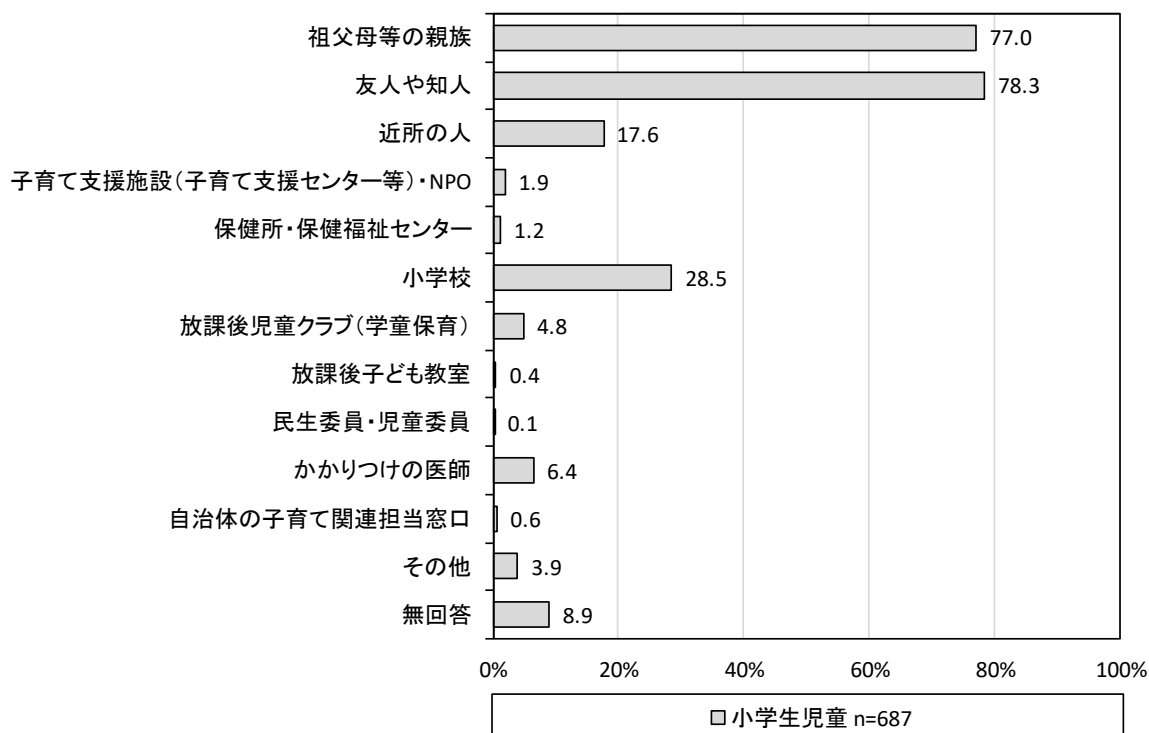
相談相手・相談場所について、就学前児童は「祖父母等の親族」が81.6%で最も高く、次いで、「友人や知人」が80.2%となっています。

小学生児童は「友人や知人」が78.3%で最も高く、次いで、「祖父母等の親族」が77.0%となっています。

#### ■就学前児童



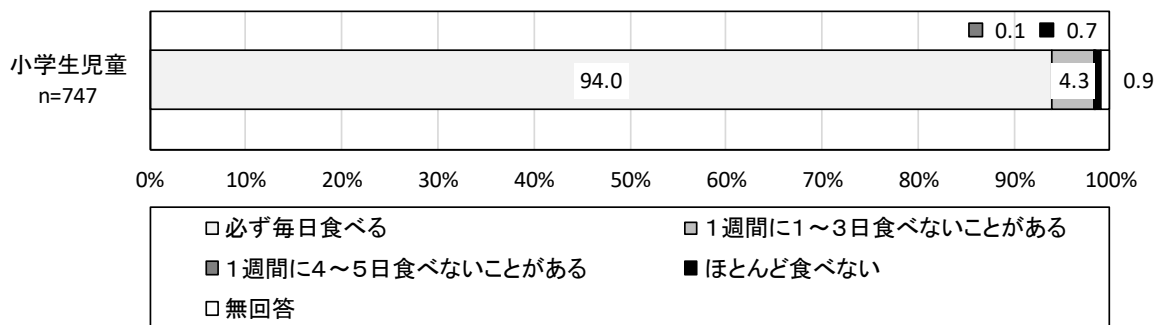
#### ■小学生児童





**(5) 子どもが毎日朝食を食べるか〈単数回答〉[就学前児童調査：一、小学生児童調査：問10]**

子どもが毎日朝食を食べるかについては、「必ず毎日食べる」が 94.0%で最も高く、次いで、「1週間に1～3日食べないことがある」が 4.3%となっています。



### 3. 宛名のお子さんの保護者の就労状況について

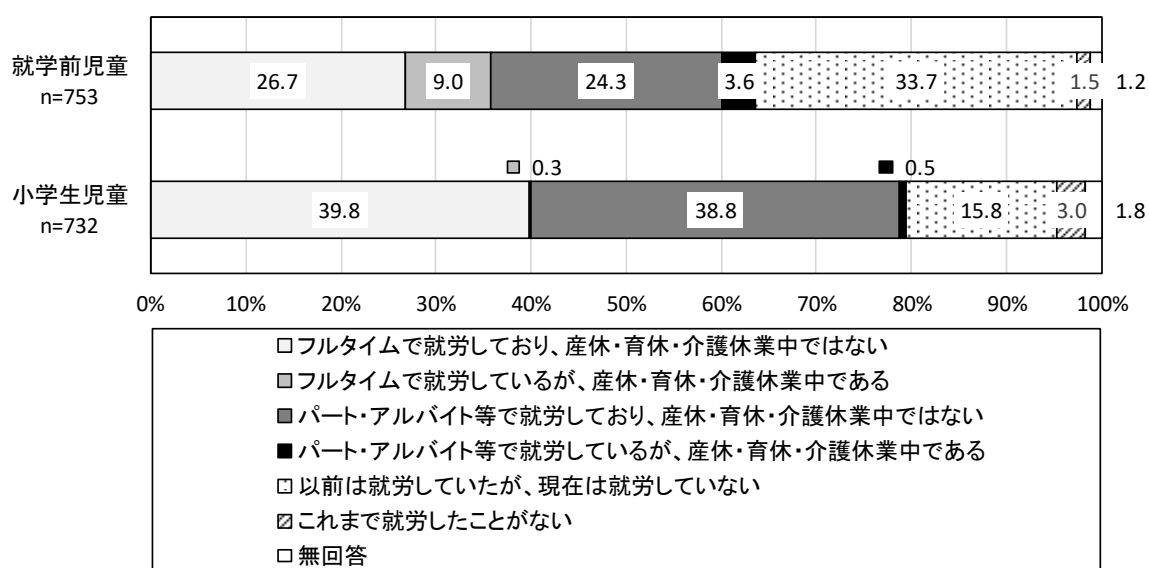
#### 〈母親の状況について〉

※父子家庭の方は記入不要

#### (1) 母親の就労状況〈単数回答〉[就学前児童調査：問 10、小学生児童調査：問 11]

母親の現在の就労状況について、就学前児童は「以前は就労していたが、現在は就労していない」が 33.7%で最も高く、次いで、「フルタイムで就労しており、産休・育休・介護休業中ではない」が 26.7%となっています。

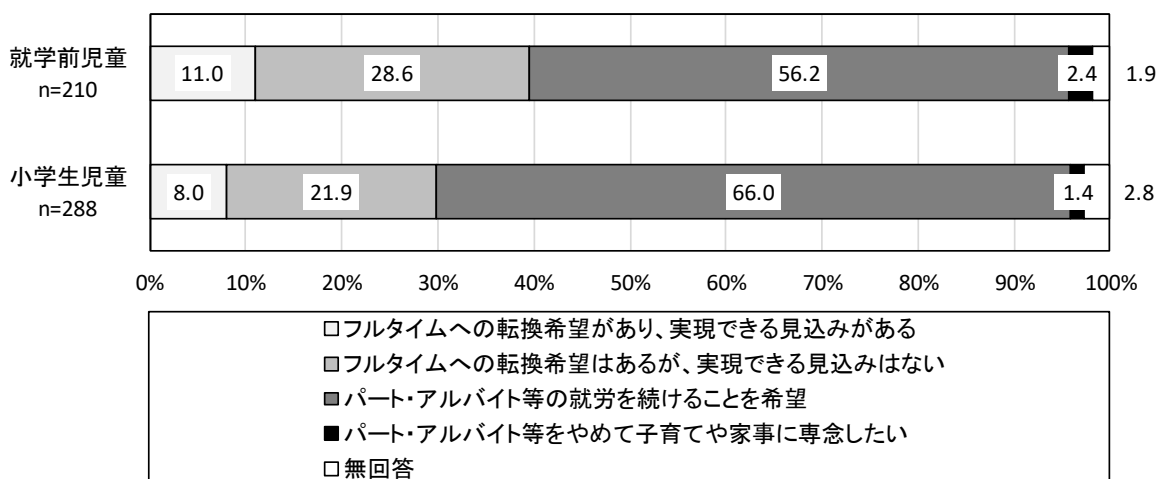
小学生児童は「フルタイムで就労しており、産休・育休・介護休業中ではない」が 39.8%で最も高く、次いで、「パート・アルバイト等で就労しており、産休・育休・介護休業中ではない」が 38.8%となっています。



**(1)で「パート・アルバイト等で就労しており、産休・育休・介護休業中ではない」、「パート・アルバイト等で就労しているが、産休・育休・介護休業中である」(パート・アルバイト等で就労)を選択した方**

**(2) 母親のフルタイムへの転換希望〈単数回答〉[就学前児童調査：問 10-1、小学生児童調査：問 11-1]**

母親のフルタイムへの転換希望については、「パート・アルバイト等の就労を続けることを希望」が就学前児童で 56.2%、小学生児童で 66.0%と最も高く、次いで、「フルタイムへの転換希望はあるが、実現できる見込みはない」が就学前児童で 28.6%、小学生児童で 21.9%となっています。



## II 調査結果

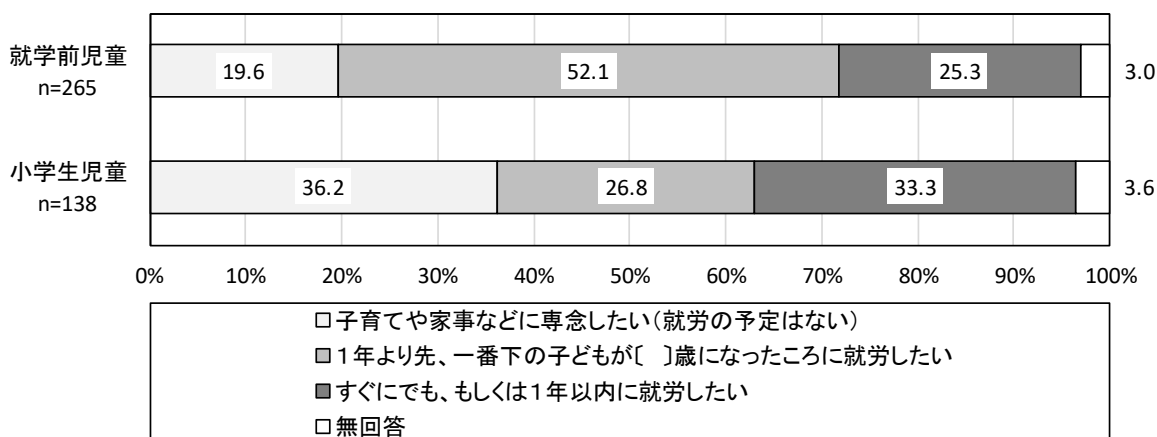
(1)で「以前は就労していたが、現在は就労していない」、「これまで就労したことがない」(就労していない)を選択した方

(3) 母親の就労希望の有無〈単数回答〉〔就学前児童調査：問 10-2、小学生児童調査：問 11-2〕

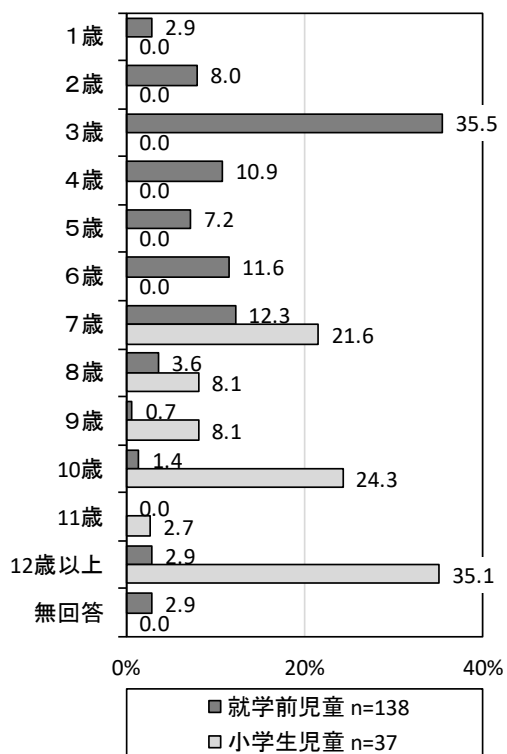
母親の就労希望について、就学前児童は「1年より先、一番下の子どもが〔 〕歳になったところに就労したい」が52.1%で最も高く、次いで、「すぐにでも、もしくは1年以内に就労したい」が25.3%となっています。

小学生児童は「子育てや家事などに専念したい(就労の予定はない)」が36.2%で最も高く、次いで、「すぐにでも、もしくは1年以内に就労したい」が33.3%となっています。

なお、一番下の子どもが何歳になったところに就労したいかについて、就学前児童は「3歳」が35.5%で最も高く、小学生児童は「12歳以上」が35.1%で最も高くなっています。



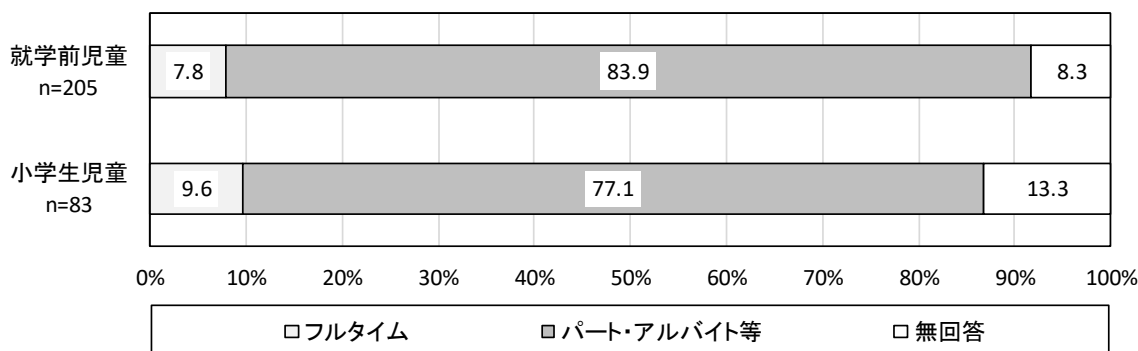
### ■子どもが〔 〕歳になったところに就労したい



【希望する就労形態】

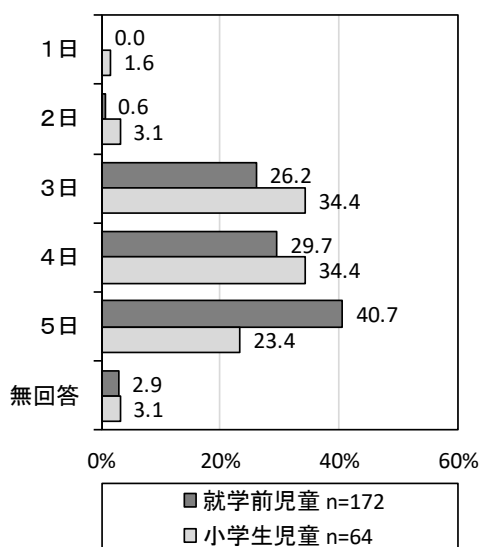
就労したいという希望がある母親の希望する就労形態については、「パート・アルバイト等」が就学前児童で83.9%、小学生児童で77.1%となっており、「フルタイム」が就学前児童で7.8%、小学生児童で9.6%となっています。

また、希望する就労形態において「パート・アルバイト等」と回答した方の1週あたりの希望就労日数について、就学前児童は「5日」が40.7%、小学生児童は「3日」、「4日」が34.4%で最も高く、1日あたりの希望就労時間については、「5時間」が就学前児童で39.5%、小学生児童で35.9%と最も高くなっています。

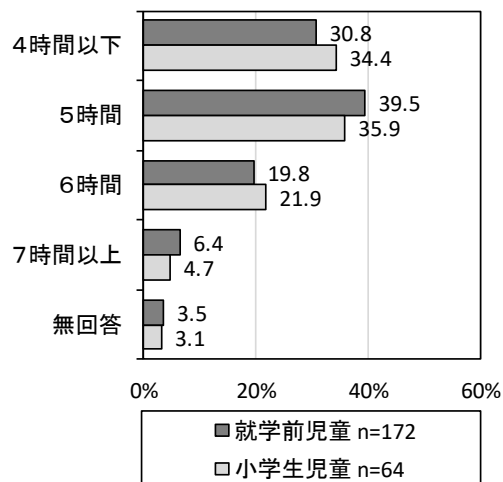


【パート・アルバイト等の希望就労日数・時間】

■ 1週あたりの希望就労日数



■ 1日あたりの希望就労時間



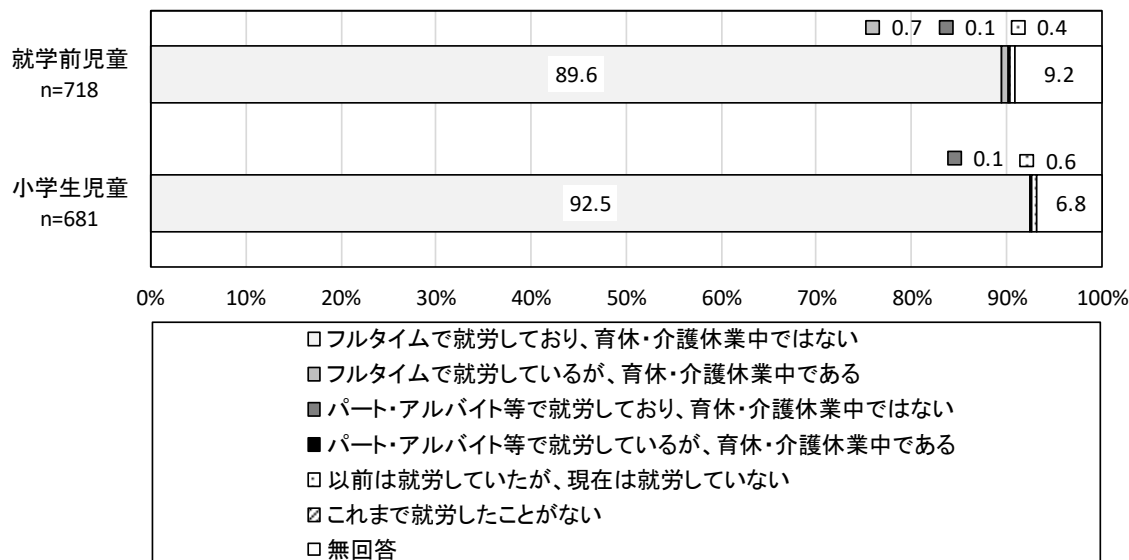
## II 調査結果

### 〈父親の状況について〉

※母子家庭の方は記入不要

#### （４）父親の就労状況〈単数回答〉〔就学前児童調査：問 11、小学生児童調査：問 12〕

父親の現在の就労状況については、「フルタイムで就労しており、育休・介護休業中ではない」が就学前児童で 89.6%、小学生児童で 92.5%と最も高く、約 9 割を占めています。



（４）で「パート・アルバイト等で就労しており、育休・介護休業中ではない」、「パート・アルバイト等で就労しているが、育休・介護休業中である」（パート・アルバイト等で就労）を選択した方

#### （５）父親のフルタイムへの転換希望〈単数回答〉〔就学前児童調査：問 11-1、小学生児童調査：問 12-1〕

父親のフルタイムへの転換希望について、就学前児童は該当する回答者は 1 人で、「フルタイムへの転換希望はあるが、実現できる見込みはない」となっています。

小学生児童は該当する回答者は 1 人で、「パート・アルバイト等の就労を続けることを希望」となっています。

	就学前児童 n=1		小学生児童 n=1	
	件数	%	件数	%
フルタイムへの転換希望があり、実現できる見込みがある	0	0.0	0	0.0
フルタイムへの転換希望はあるが、実現できる見込みはない	1	100.0	0	0.0
パート・アルバイト等の就労を続けることを希望	0	0.0	1	100.0
パート・アルバイト等をやめて子育てや家事に専念したい	0	0.0	0	0.0
無回答	0	0.0	0	0.0

**(4)で「以前は就労していたが、現在は就労していない」、「これまで就労したことがない」(就労していない)を選択した方**

**(6) 父親の就労希望の有無〈単数回答〉[就学前児童調査：問 11-2、小学生児童調査：問 12-2]**

父親の就労希望について、就学前児童は該当する回答者3人のうち、「1年より先、一番下の子どもが〔 〕歳になったところに就労したい」が2人、「すぐにでも、もしくは1年以内に就労したい」が1人となっています。

小学生児童は該当する回答者は4人で、ともに「すぐにでも、もしくは1年以内に就労したい」となっています。

なお、一番下の子どもが何歳になったところに就労したいかについて、就学前児童は該当する回答者は2人で、ともに「7歳」となっています。

小学生児童は該当する回答者がいませんでした。

	就学前児童 n=3		小学生児童 n=4	
	件数	%	件数	%
子育てや家事などに専念したい(就労の予定はない)	0	0.0	0	0.0
1年より先、一番下の子どもが〔 〕歳になったところに就労したい	2	66.7	0	0.0
すぐにでも、もしくは1年以内に就労したい	1	33.3	4	100.0
無回答	0	0.0	0	0.0

**【希望する就労形態】**

就労したいという希望がある父親の希望する就労形態について、就学前児童は該当する回答者3人のうち、「フルタイム」が2人、「パート・アルバイト等」が1人となっています。

小学生児童は該当する回答者4人のうち、「フルタイム」が2人、「パート・アルバイト等」が2人となっています。

	就学前児童 n=3		小学生児童 n=4	
	件数	%	件数	%
フルタイム	2	66.7	2	50.0
パート・アルバイト等	1	33.3	2	50.0
無回答	0	0.0	0	0.0

**【パート・アルバイト等の希望就労日数・時間】**

**■ 1週あたりの希望就労日数**

1週あたりの希望就労日数について、就学前児童は該当する回答者は1人で、「5日」となっています。

小学生児童は該当する回答者は2人で、「3日」、「5日」がそれぞれ1人となっています。

**■ 1日あたりの希望就労時間**

1日あたりの希望就労時間について、就学前児童は該当する回答者は1人で、「5時間」となっています。

小学生児童は該当する回答者は2人で、「4時間以下」、「7時間以上」がそれぞれ1人となっています。

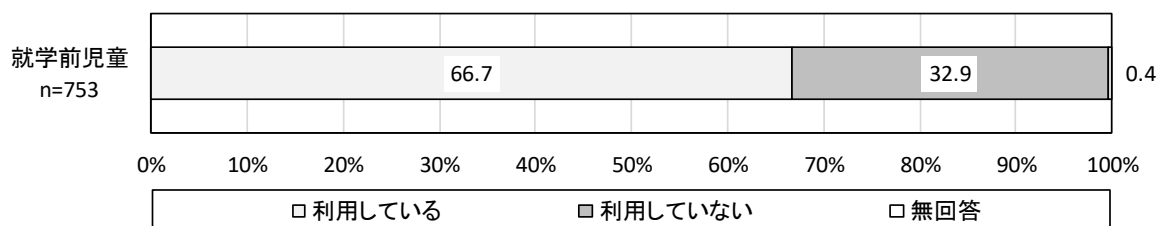
## 4. 宛名のお子さんの平日の定期的な教育・保育事業の利用状況について

### (1) 幼稚園や保育所などの「教育・保育の事業」の定期的な利用の有無〈単数回答〉

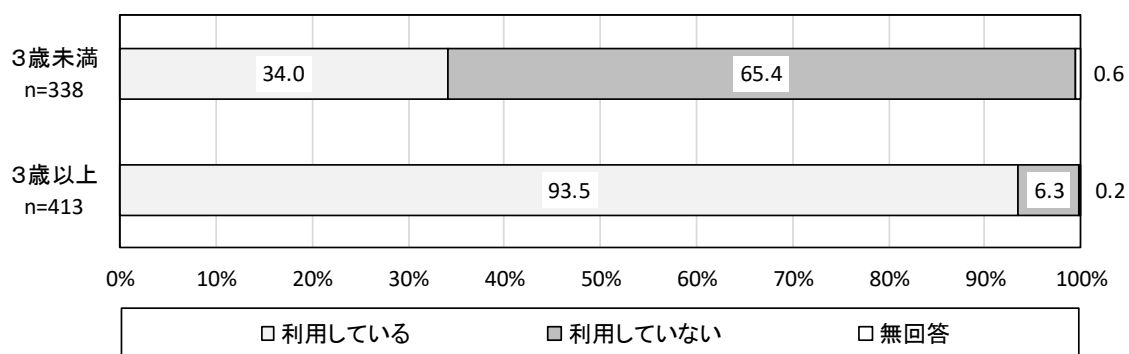
[就学前児童調査：問 12、小学生児童調査：－]

平日の幼稚園や保育所などの利用状況については、「利用している」が 66.7%、「利用していない」が 32.9%となっています。

年齢別にみると、「利用している」が 3歳未満で 34.0%、3歳以上で 93.5%となっています。



### ■年齢別 平日の幼稚園や保育所などの利用状況





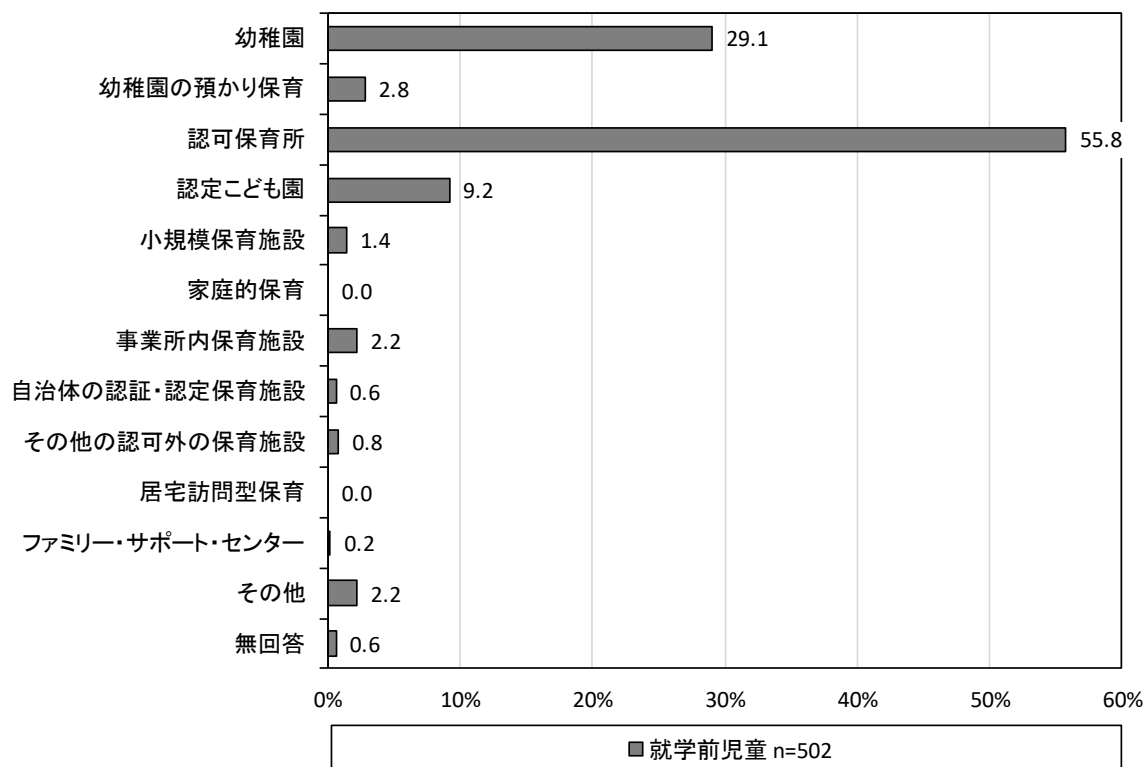
## (1)で「利用している」を選択した方

## (2) 平日に定期的にご利用している幼稚園や保育所などの「教育・保育の事業」〈複数回答〉

[就学前児童調査：問 12-1、小学生児童調査：一]

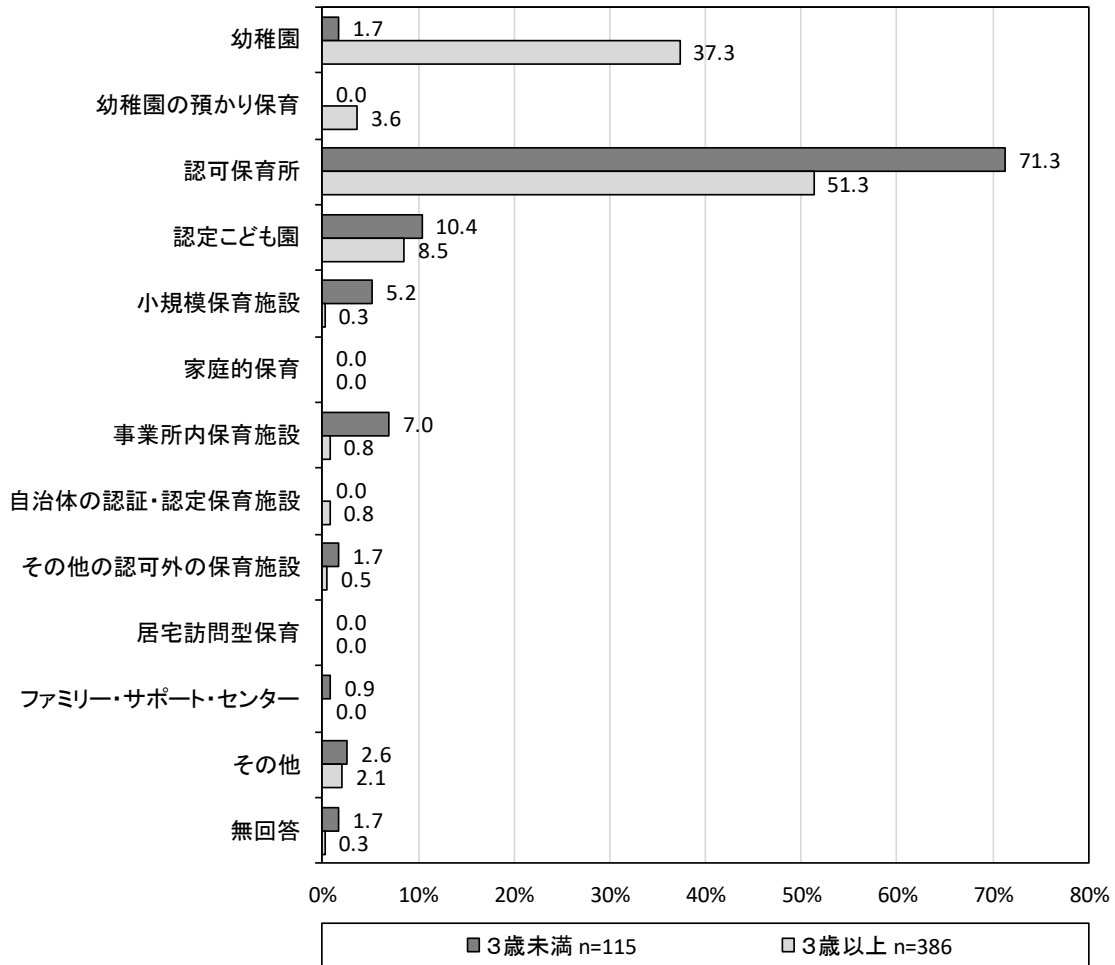
平日に定期的にご利用している事業については、「認可保育所」が 55.8%で最も高く、次いで、「幼稚園」が 29.1%、「認定こども園」が 9.2%となっています。

年齢別にみると、「認可保育所」が 3歳未満で 71.3%、3歳以上で 51.3%と最も高く、次いで、3歳未満では「認定こども園」が 10.4%、3歳以上では「幼稚園」が 37.3%となっています。



## II 調査結果

### ■年齢別 平日に定期的に利用している事業



(1)で「利用している」を選択した方

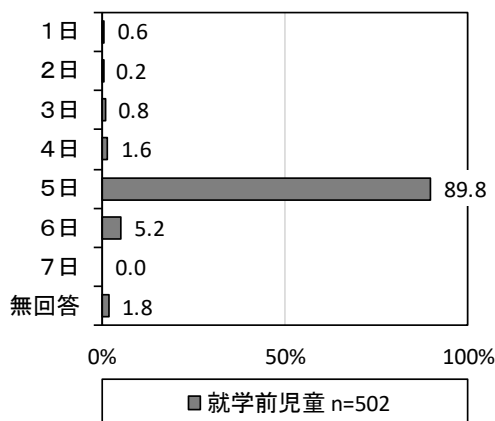
(3) 平日に定期的に利用している教育・保育の事業の、①現在の利用状況、②今後の利用希望  
 〈数量回答〉[就学前児童調査：問 12-2 (1)(2)、小学生児童調査：－]

①現在の利用状況

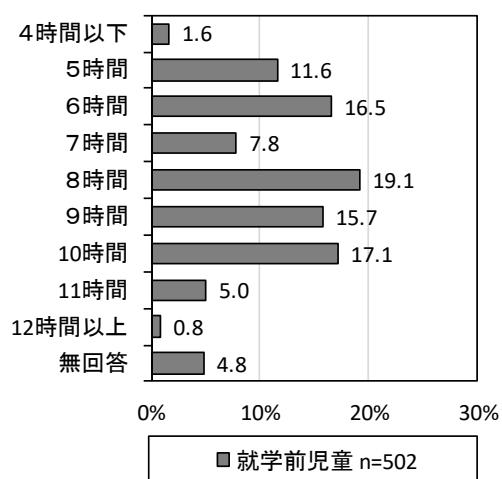
現在の利用状況における1週あたりの利用日数については、「5日」が89.8%で最も高くなっており、1日あたりの利用時間については、「8時間」が19.1%で最も高く、次いで、「10時間」が17.1%となっています。

また、利用開始時間については、「8時」が49.0%で最も高く、次いで、「9時」が30.3%となっています。利用終了時間については、「17時」が23.9%で最も高く、次いで、「16時」が22.7%となっています。

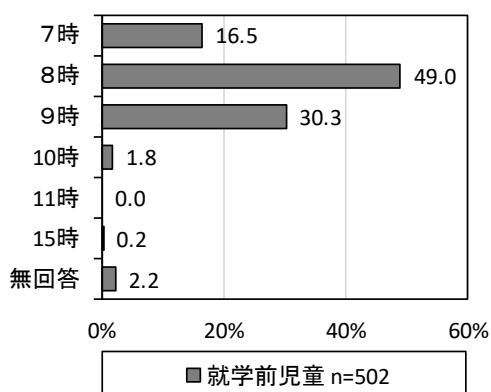
■ 1週あたりの利用日数（現在）



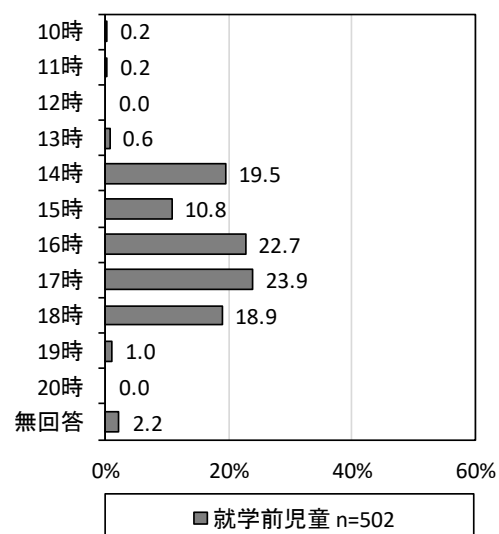
■ 1日あたりの利用時間（現在）



■ 利用開始時間（現在）



■ 利用終了時間（現在）



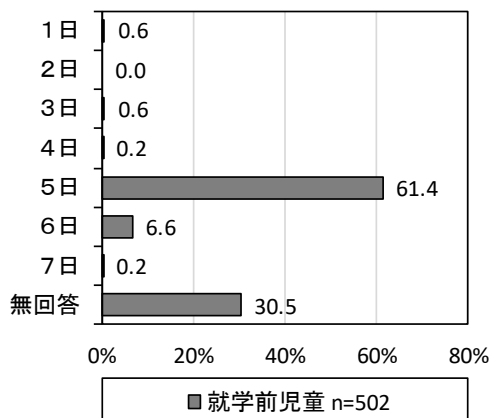
## II 調査結果

### ②今後の利用希望

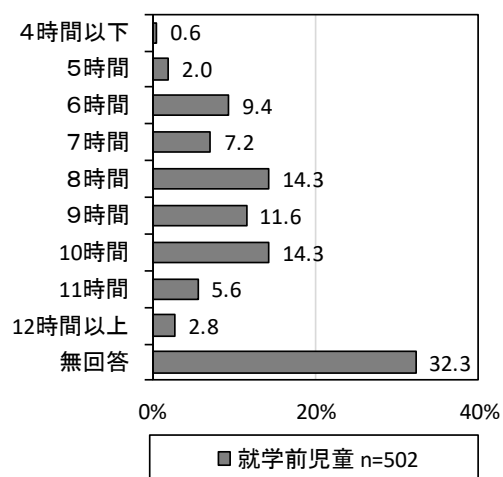
今後の利用希望における1週あたりの利用日数については、「5日」が61.4%で最も高くなっており、1日あたりの利用時間については、「8時間」、「10時間」が14.3%で最も高く、次いで、「9時間」が11.6%となっています。

また、希望の利用開始時間については、「8時」が34.9%で最も高く、次いで、「9時」が18.1%となっています。希望の利用終了時間については、「18時」が17.3%で最も高く、次いで、「17時」が16.5%となっています。

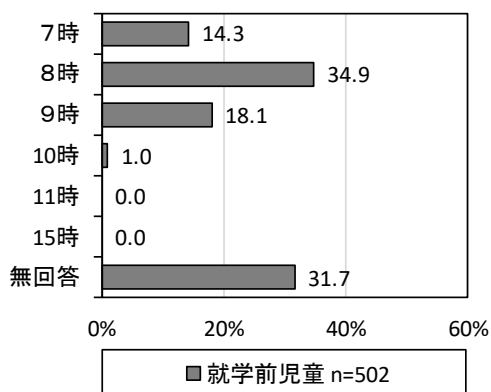
■ 1週あたりの利用日数（希望）



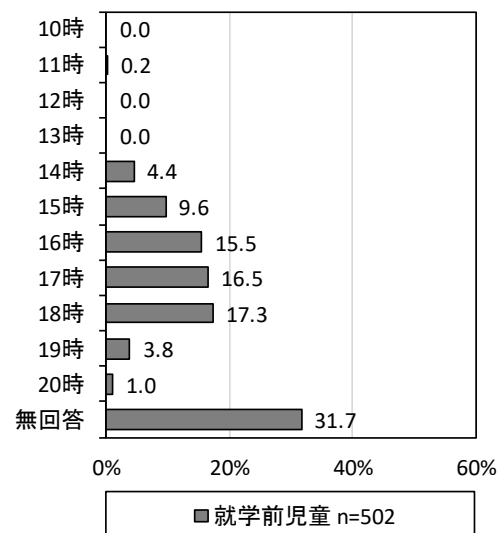
■ 1日あたりの利用時間（希望）



■ 利用開始時間（希望）



■ 利用終了時間（希望）



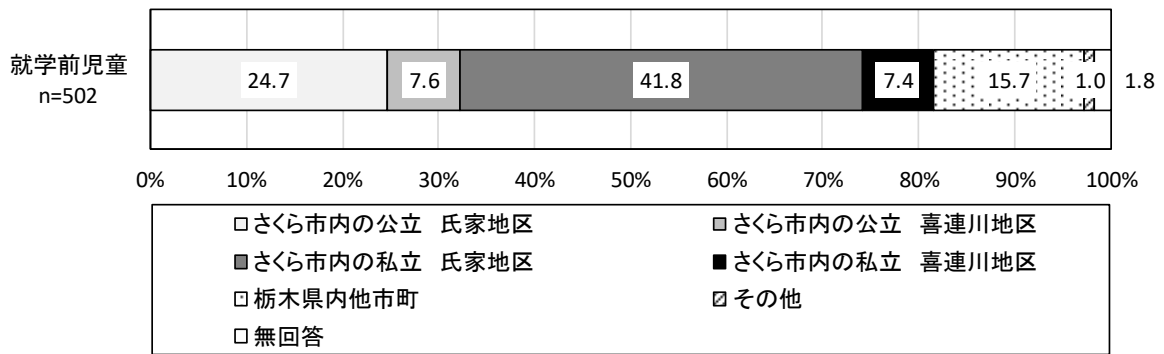
(1)で「利用している」を選択した方

(4) 現在、利用している「教育・保育の事業」の実施場所〈単数回答〉

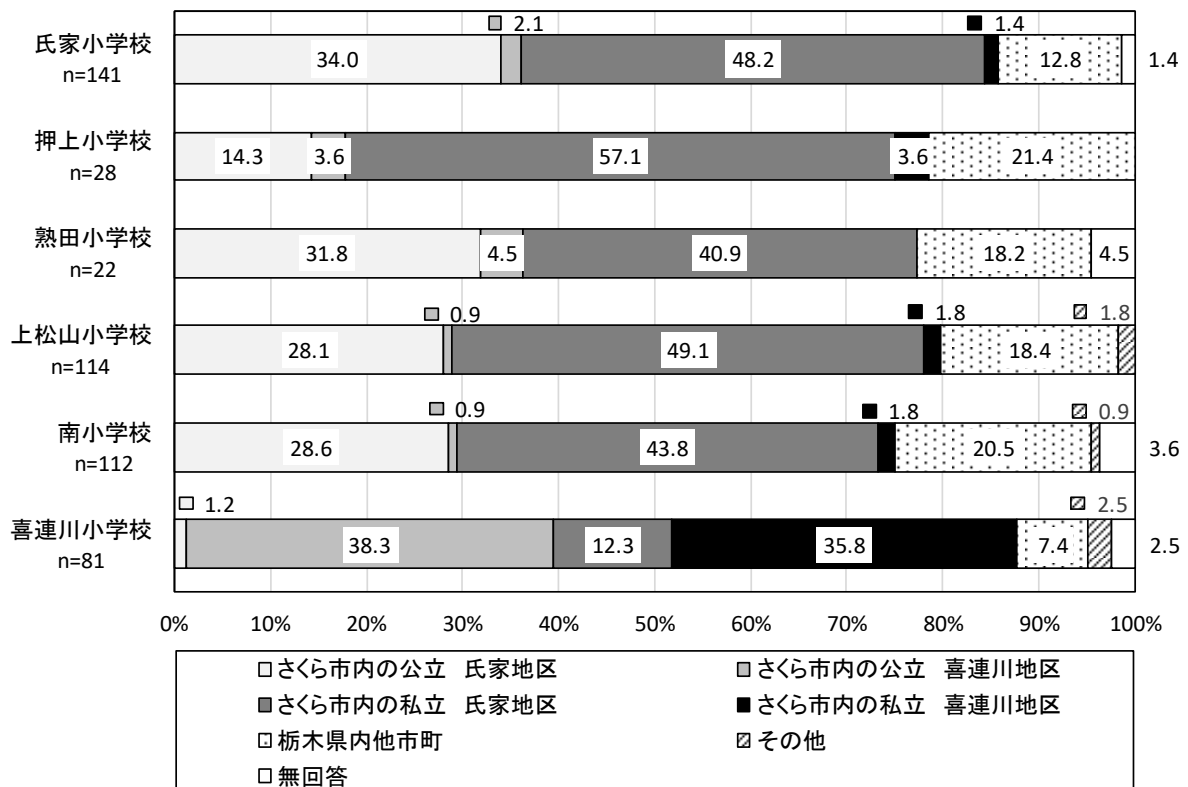
[就学前児童調査：問 12-3、小学生児童調査：一]

現在、利用している教育・保育の事業の実施場所については、「さくら市内の私立 氏家地区」が41.8%で最も高く、次いで、「さくら市内の公立 氏家地区」が24.7%となっています。

居住地区別にみると、喜連川小学校を除く5地区では「さくら市内の私立 氏家地区」が最も高くなっており、喜連川小学校では「さくら市内の公立 喜連川地区」が最も高くなっています。



■居住地区別 利用している教育・保育の事業の実施場所



## II 調査結果

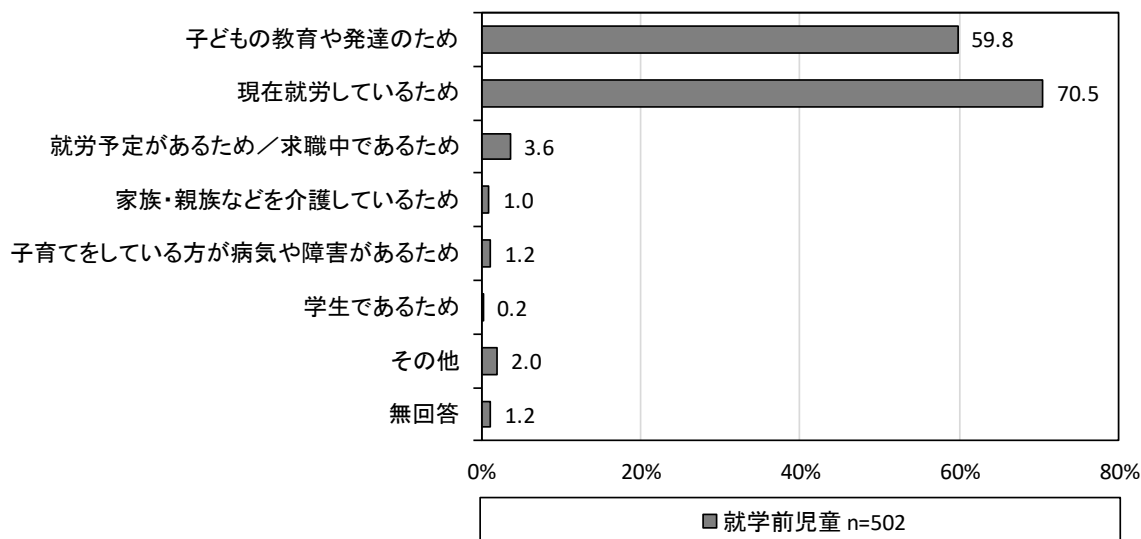
### (1)で「利用している」を選択した方

#### (5) 平日に定期的に「教育・保育の事業」を利用している理由〈複数回答〉

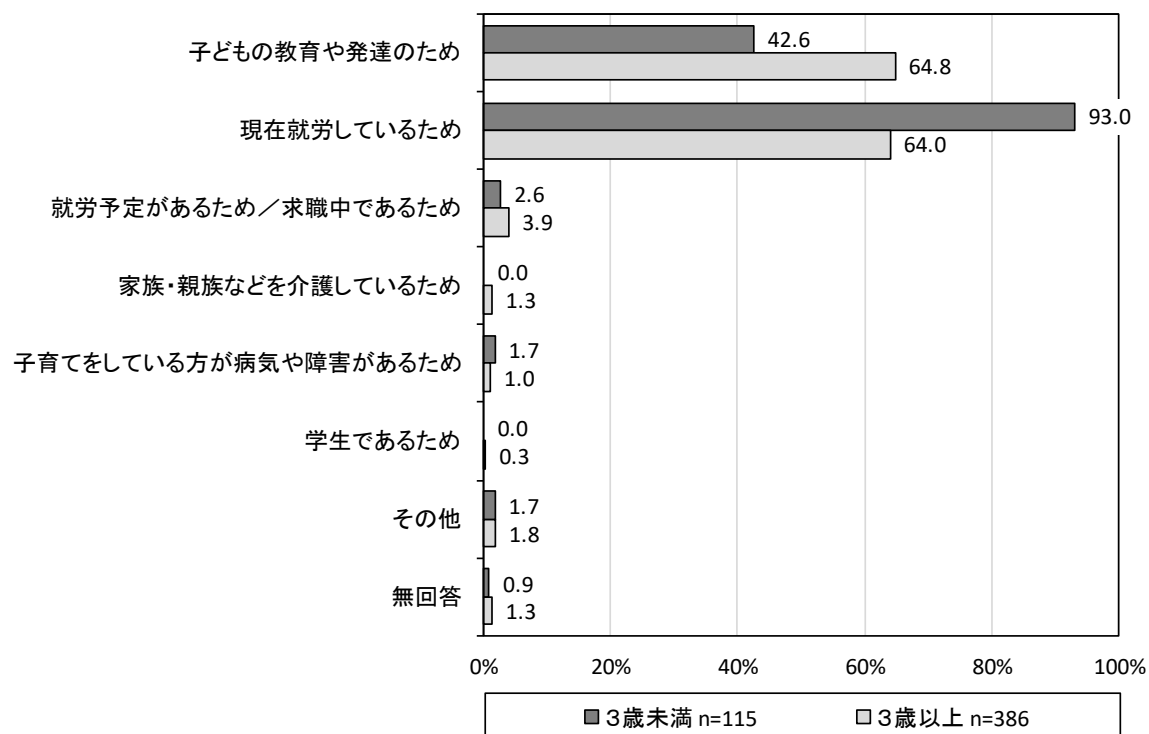
[就学前児童調査：問 12-4、小学生児童調査：一]

定期的に教育・保育の事業を利用している理由については、「現在就労しているため」が70.5%で最も高く、次いで、「子どもの教育や発達のため」が59.8%となっています。

年齢別にみると、3歳未満では「現在就労しているため」が93.0%で最も高く、次いで、「子どもの教育や発達のため」が42.6%となっており、3歳以上では「子どもの教育や発達のため」が64.8%で最も高く、次いで、「現在就労しているため」が64.0%となっています。



#### ■年齢別 定期的に教育・保育の事業を利用している理由



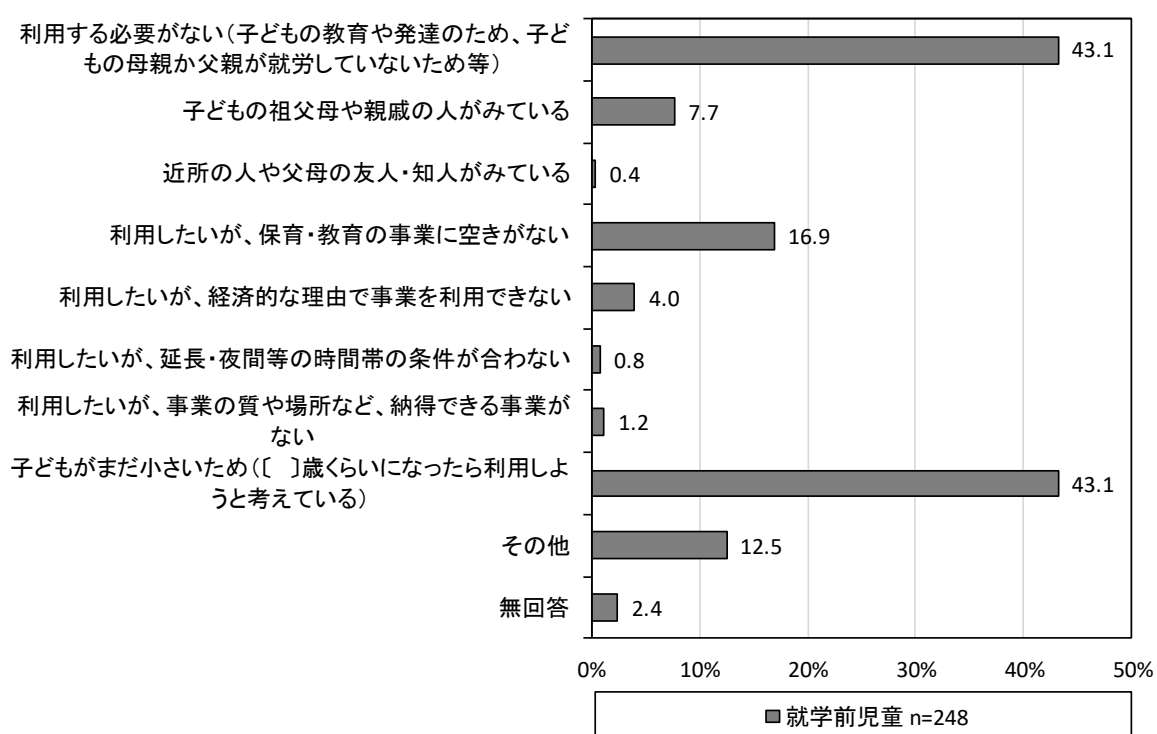
(1)で「利用していない」を選択した方

(6)利用していない理由〈複数回答〉〔就学前児童調査：問 12-5、小学生児童調査：一〕

定期的な教育・保育の事業を利用していない理由については、「利用する必要がない（子どもの教育や発達のため、子どもの母親か父親が就労していないため等）」、「子どもがまだ小さいため（〔 〕歳くらいになったら利用しようと考えている）」が 43.1%で最も高く、次いで、「利用したいが、保育・教育の事業に空きがない」が 16.9%となっています。

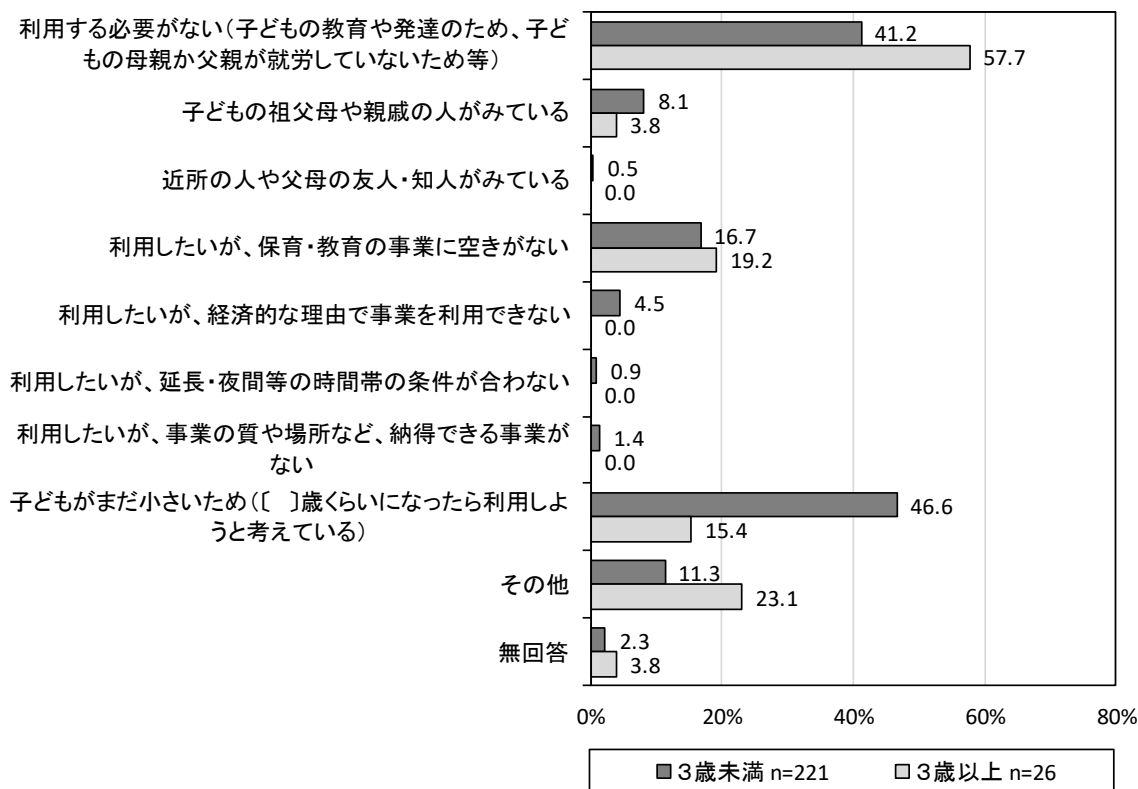
年齢別にみると、3歳未満では「子どもがまだ小さいため」が 46.6%で最も高く、次いで、「利用する必要がない」が 41.2%となっており、3歳以上では「利用する必要がない」が 57.7%で最も高く、次いで、「その他」が 23.1%となっています。

なお、何歳くらいになったら利用しようと考えているかについては、「3歳」が 61.7%で最も高く、次いで、「2歳」が 15.9%となっています。

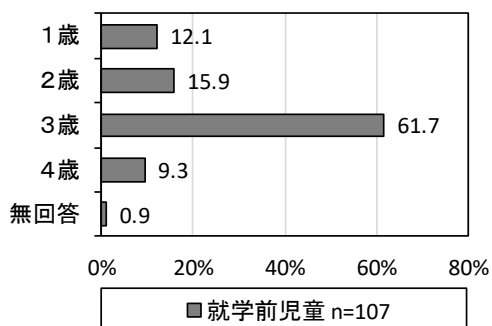


## II 調査結果

### ■年齢別 定期的な教育・保育の事業を利用していない理由



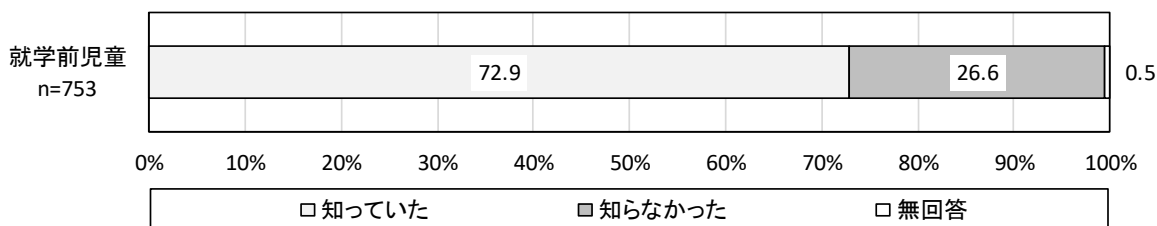
### ■子どもが〔 〕歳くらいになったら利用しようと考えている





**(7) 幼児教育・保育無償化の制度の認知度〈単数回答〉[就学前児童調査：問13、小学生児童調査：一]**

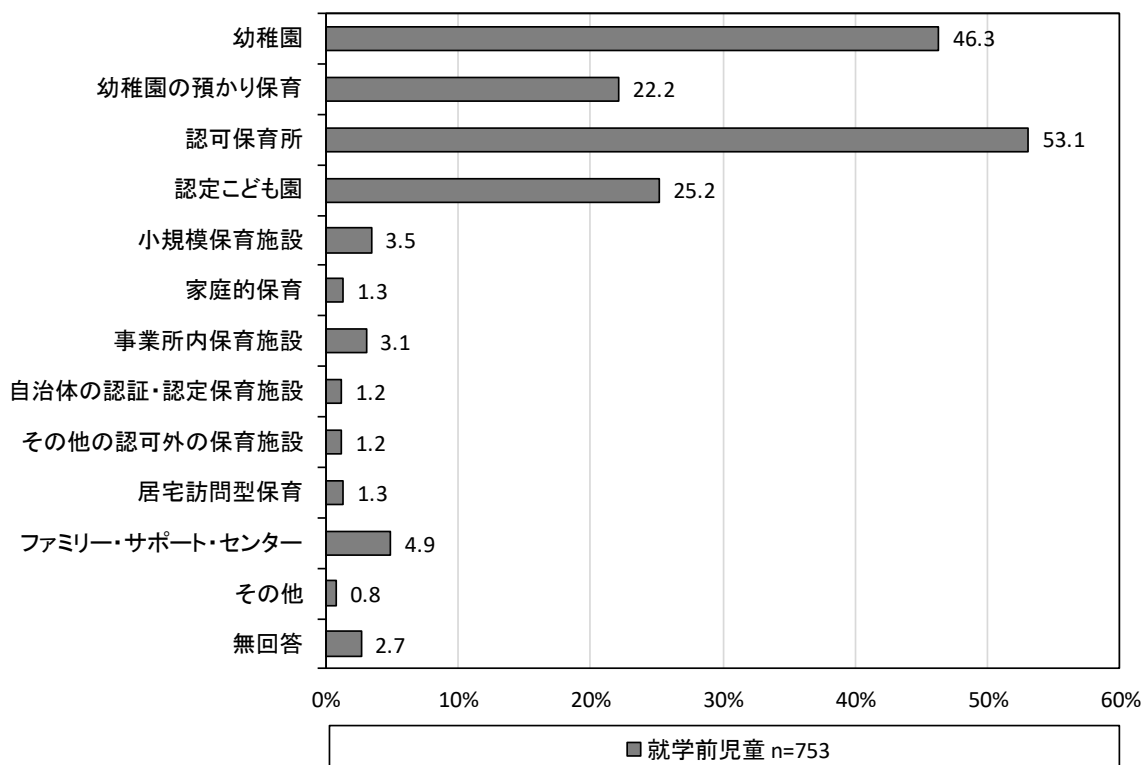
幼児教育・保育無償化の制度の認知度については、「知っていた」が72.9%、「知らなかった」が26.6%となっています。



**(8) 現在利用している、利用していないに関わらず、平日の「教育・保育の事業」として、定期的に利用したいと考える事業〈複数回答〉[就学前児童調査：問14、小学生児童調査：一]**

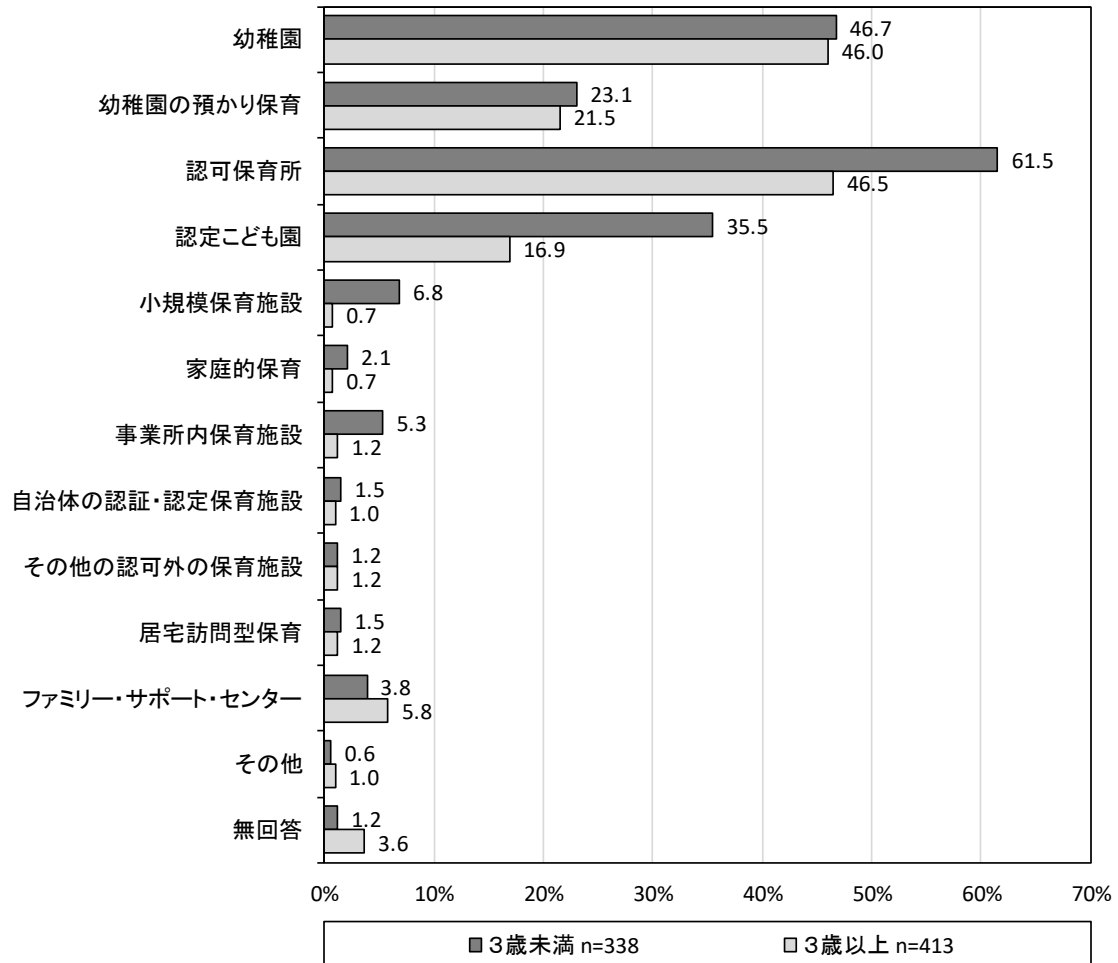
平日の教育・保育の事業として定期的に利用したいと考える事業については、「認可保育所」が53.1%で最も高く、次いで、「幼稚園」が46.3%、「認定こども園」が25.2%となっています。

年齢別にみると、「認可保育所」が3歳未満で61.5%、3歳以上で46.5%と最も高く、次いで、「幼稚園」が3歳未満で46.7%、3歳以上で46.0%となっています。



## II 調査結果

### ■年齢別 定期的に利用したい教育・保育の事業



利用希望の地区別にみると、氏家地区では「認可保育所」が63.4%で最も高く、喜連川地区では「認定こども園」が55.2%で最も高くなっています。

母親の就労状況別にみると、就労している（フルタイム、パート・アルバイト等で就労している）方では「認可保育所」が最も高く、就労していない方では「幼稚園」が最も高くなっています。

■利用希望の地区別 定期的にご利用したい教育・保育の事業

項目		回答者数 (n値)	幼稚園	幼稚園の 預かり保育	認可保育 所	認定こども 園	小規模保 育施設	家庭的保 育	事業所内 保育施設
利 用 地 区 希 望 の	さくら市内 氏家地区	506	<b>46.2</b>	21.9	<b>63.4</b>	19.8	4.0	1.6	3.0
	さくら市内 喜連川地区	105	29.5	19.0	<b>46.7</b>	<b>55.2</b>	1.0	1.9	2.9
	栃木県内他市町	81	<b>67.9</b>	<b>28.4</b>	19.8	27.2	2.5	0.0	4.9
	その他	10	<b>70.0</b>	10.0	<b>30.0</b>	20.0	10.0	0.0	10.0
項目		回答者数 (n値)	自治体の 認証・認定 保育施設	その他の 認可外の 保育施設	居宅訪問 型保育	ファミリー・ サポート・ センター	その他	無回答	
利 用 地 区 希 望 の	さくら市内 氏家地区	506	1.0	1.2	1.2	5.1	0.4	0.0	
	さくら市内 喜連川地区	105	1.9	1.0	3.8	6.7	0.0	0.0	
	栃木県内他市町	81	2.5	1.2	0.0	2.5	1.2	0.0	
	その他	10	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	

■母親の就労状況別 定期的にご利用したい教育・保育の事業

項目		回答者数 (n値)	幼稚園	幼稚園の 預かり保育	認可保育 所	認定こども 園	小規模保 育施設	家庭的保 育	事業所内 保育施設
母 親 の 就 業 状 況 別	フルタイムで就労しており、産休・育休・介護休業中ではない	201	16.9	12.9	<b>80.6</b>	<b>22.9</b>	2.5	1.5	3.0
	フルタイムで就労しているが、産休・育休・介護休業中である	68	26.5	20.6	<b>77.9</b>	<b>41.2</b>	5.9	1.5	11.8
	パート・アルバイト等で就労しており、産休・育休・介護休業中ではない	183	<b>39.3</b>	21.3	<b>51.4</b>	24.6	1.6	1.1	2.7
	パート・アルバイト等で就労しているが、産休・育休・介護休業中である	27	<b>40.7</b>	29.6	<b>81.5</b>	37.0	3.7	0.0	3.7
	以前は就労していたが、現在は就労していない	254	<b>79.1</b>	<b>29.9</b>	24.4	21.7	4.7	1.6	0.4
	これまで就労したことがない	11	<b>81.8</b>	27.3	18.2	<b>45.5</b>	0.0	0.0	0.0
項目		回答者数 (n値)	自治体の 認証・認定 保育施設	その他の 認可外の 保育施設	居宅訪問 型保育	ファミリー・ サポート・ センター	その他	無回答	
母 親 の 就 業 状 況 別	フルタイムで就労しており、産休・育休・介護休業中ではない	201	0.0	0.5	2.5	5.0	0.5	3.0	
	フルタイムで就労しているが、産休・育休・介護休業中である	68	5.9	2.9	1.5	4.4	1.5	1.5	
	パート・アルバイト等で就労しており、産休・育休・介護休業中ではない	183	1.1	0.5	1.6	6.6	0.5	4.4	
	パート・アルバイト等で就労しているが、産休・育休・介護休業中である	27	3.7	0.0	0.0	3.7	0.0	0.0	
	以前は就労していたが、現在は就労していない	254	0.8	1.6	0.4	4.3	1.2	1.6	
	これまで就労したことがない	11	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	

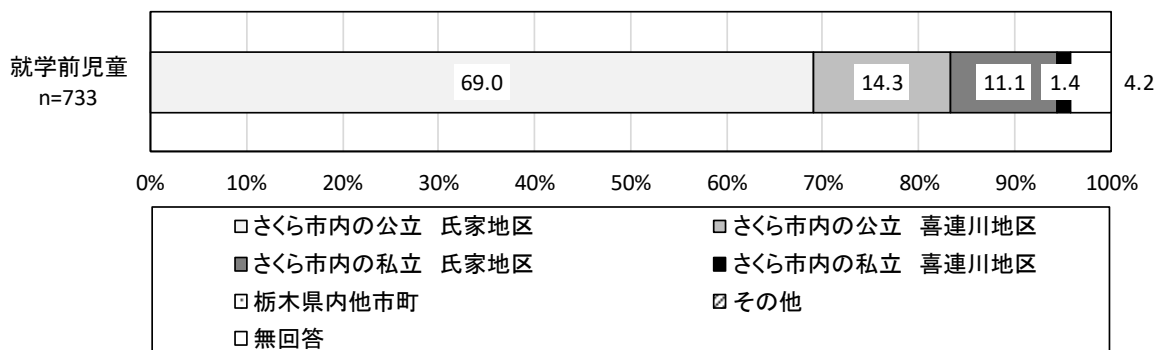
## II 調査結果

### (8)で「幼稚園」～「その他」のいずれかを選択した方

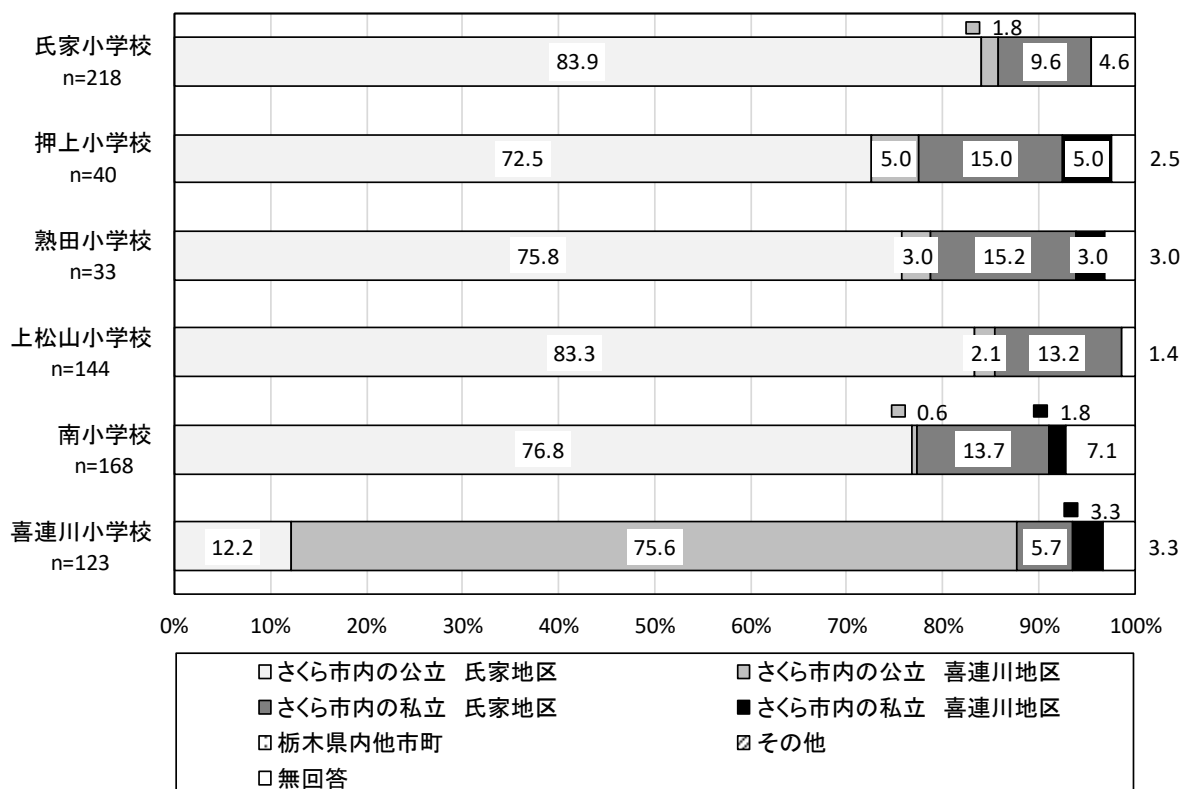
#### (9) 利用したい教育・保育の事業の実施場所〈単数回答〉〔就学前児童調査：問 14-1、小学生児童調査：一〕

利用したい教育・保育の事業の実施場所については、「さくら市内の公立 氏家地区」が69.0%で最も高く、次いで、「さくら市内の公立 喜連川地区」が14.3%となっています。

居住地区別にみると、喜連川小学校を除く5地区では「さくら市内の公立 氏家地区」が最も高くなっており、喜連川小学校では「さくら市内の公立 喜連川地区」が最も高くなっています。



#### ■居住地区別 利用したい教育・保育の事業の実施場所

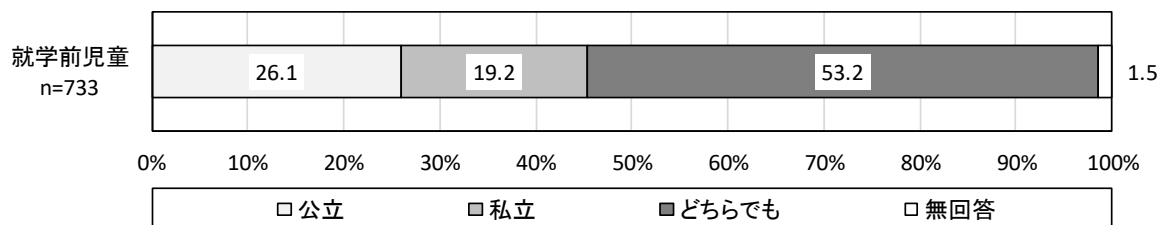


**(8)で「幼稚園」～「その他」のいずれかを選択した方**

**(10) 利用したい教育・保育の事業の運営主体（公立・私立）〈単数回答〉**

[就学前児童調査：問 14-2、小学生児童調査：－]

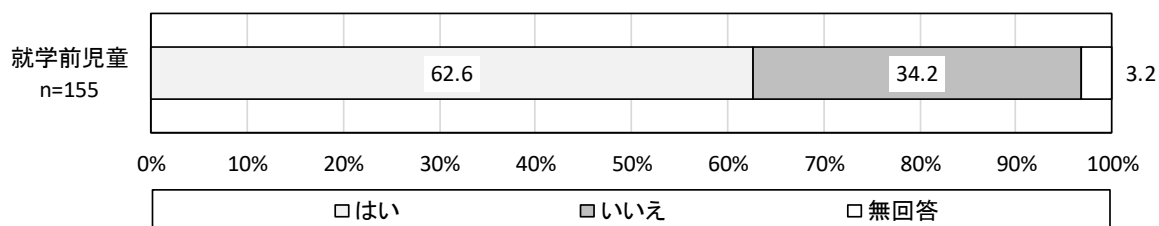
利用したい教育・保育の事業の運営主体については、「どちらでも」が53.2%で最も高く、次いで、「公立」が26.1%となっています。



**(8)で「幼稚園」、「幼稚園の預かり保育」を選択し、かつ「認可保育所」～「その他」を選択した方**

**(11) 特に幼稚園の利用を強く希望するか〈単数回答〉 [就学前児童調査：問 14-3、小学生児童調査：－]**

幼稚園の利用を強く希望するかについては、「はい」が62.6%、「いいえ」が34.2%となっています。

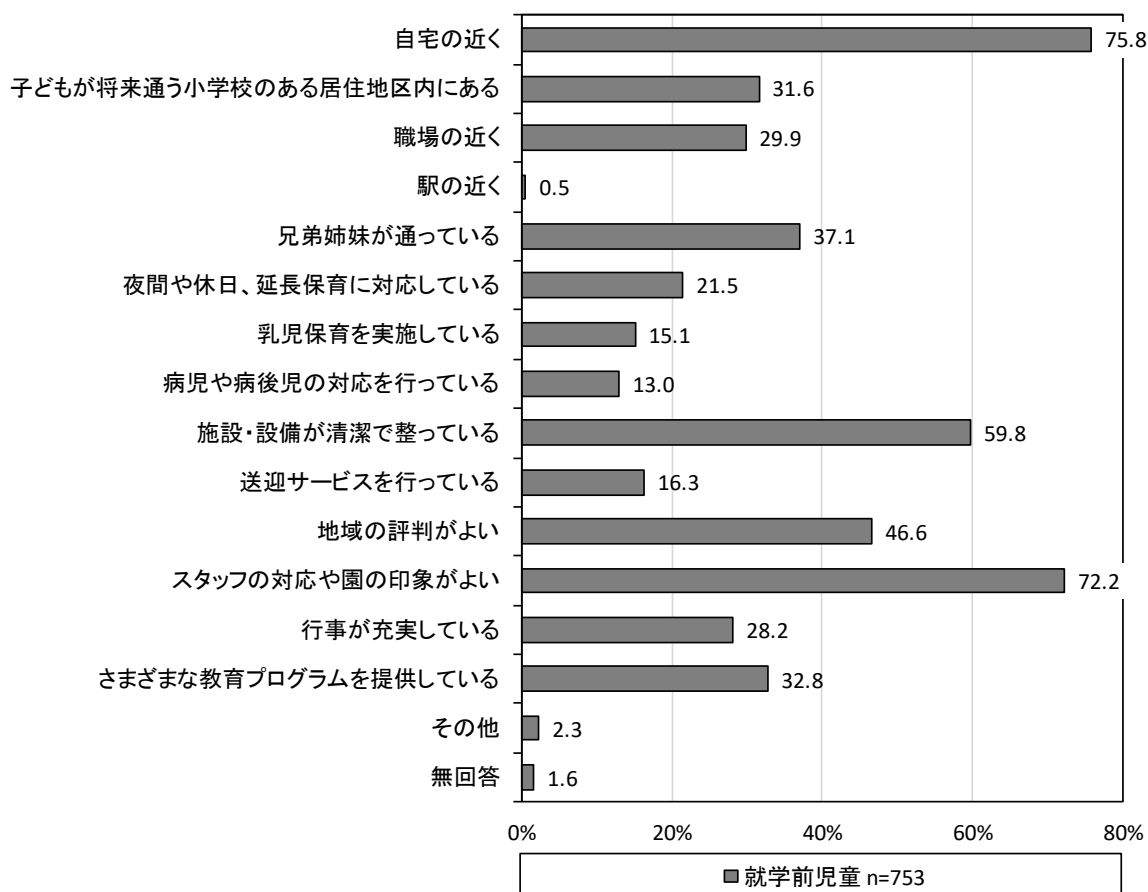


## II 調査結果

### (12) 現在利用している、利用していないに関わらず、平日の「教育・保育の事業」を選ぶ際に、重視する点〈複数回答〉〔就学前児童調査：問 15、小学生児童調査：一〕

平日の教育・保育の事業を選ぶ際に重視する点については、「自宅の近く」が75.8%で最も高く、次いで、「スタッフの対応や園の印象がよい」が72.2%、「施設・設備が清潔で整っている」が59.8%となっています。

教育・保育の事業の利用希望別にみると、いずれの事業でも「自宅の近く」、「スタッフの対応や園の印象がよい」の割合が高くなっています。



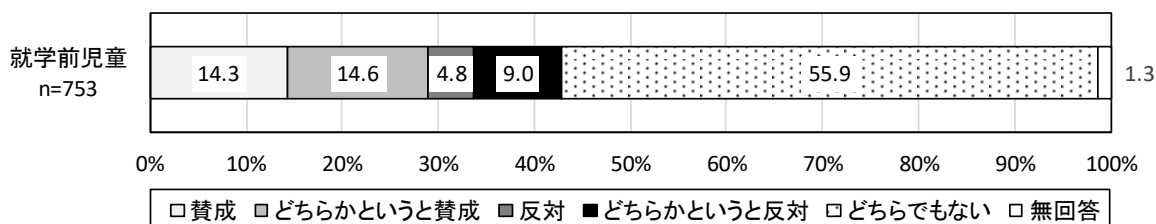
■教育・保育の事業の利用希望別 教育・保育の事業を選ぶ際に、重視する点

項目	回答者数 (n値)	自宅の近く	子どもが将来通う小学校のある居住地区内にある	職場の近く	駅の近く	兄弟姉妹が通っている	夜間や休日、延長保育に対応している	乳児保育を実施している	病児や病後児の対応を行っている
		施設・設備が清潔で整っている	送迎サービスを行っている	地域の評判がよい	スタッフの対応や園の印象がよい	行事が充実している	さまざまな教育プログラムを提供している	その他	無回答
幼稚園	349	71.1	30.9	21.8	0.0	33.0	19.8	7.2	11.2
幼稚園の預かり保育	167	74.3	31.7	29.3	0.6	34.1	31.1	14.4	14.4
認可保育所	400	84.5	33.5	39.0	1.0	38.5	27.5	23.5	18.0
認定こども園	190	76.3	37.4	31.6	0.5	38.9	26.3	20.5	16.3
小規模保育施設	26	80.8	30.8	30.8	0.0	26.9	26.9	23.1	23.1
家庭的保育	10	80.0	10.0	40.0	0.0	30.0	50.0	30.0	50.0
事業所内保育施設	23	78.3	39.1	56.5	0.0	34.8	34.8	34.8	39.1
自治体の認証・認定保育施設	9	77.8	11.1	22.2	0.0	22.2	33.3	11.1	11.1
その他の認可外の保育施設	9	77.8	11.1	22.2	0.0	22.2	22.2	0.0	0.0
居宅訪問型保育	10	70.0	10.0	20.0	0.0	30.0	60.0	20.0	70.0
ファミリー・サポート・センター	37	73.0	29.7	24.3	0.0	27.0	35.1	16.2	29.7
幼稚園	349	65.0	28.7	52.1	74.5	36.1	39.8	2.0	0.6
幼稚園の預かり保育	167	68.3	25.7	52.1	79.6	38.9	46.1	1.2	0.0
認可保育所	400	61.8	7.3	47.5	72.5	23.0	29.8	3.0	1.5
認定こども園	190	64.7	20.0	50.5	73.2	27.9	42.6	1.6	0.5
小規模保育施設	26	69.2	15.4	57.7	80.8	19.2	34.6	3.8	0.0
家庭的保育	10	50.0	10.0	50.0	90.0	10.0	0.0	10.0	0.0
事業所内保育施設	23	73.9	17.4	60.9	87.0	4.3	34.8	4.3	0.0
自治体の認証・認定保育施設	9	44.4	0.0	55.6	77.8	33.3	11.1	0.0	0.0
その他の認可外の保育施設	9	33.3	0.0	33.3	88.9	22.2	22.2	22.2	0.0
居宅訪問型保育	10	70.0	30.0	60.0	90.0	10.0	30.0	0.0	0.0
ファミリー・サポート・センター	37	59.5	18.9	51.4	75.7	32.4	32.4	5.4	0.0

(13) 公立保育所の民営化に対する考え方〈単数回答〉[就学前児童調査：問 16、小学生児童調査：一]

公立保育所の民営化に対する考え方については、「どちらでもない」が 55.9%で最も高く、次いで、「どちらかという賛成」が 14.6%となっています。

「賛成」と「どちらかという賛成」を合わせた『賛成』は 28.9%で、「反対」と「どちらかという反対」を合わせた『反対』(13.8%)より 15.1ポイント高くなっています。

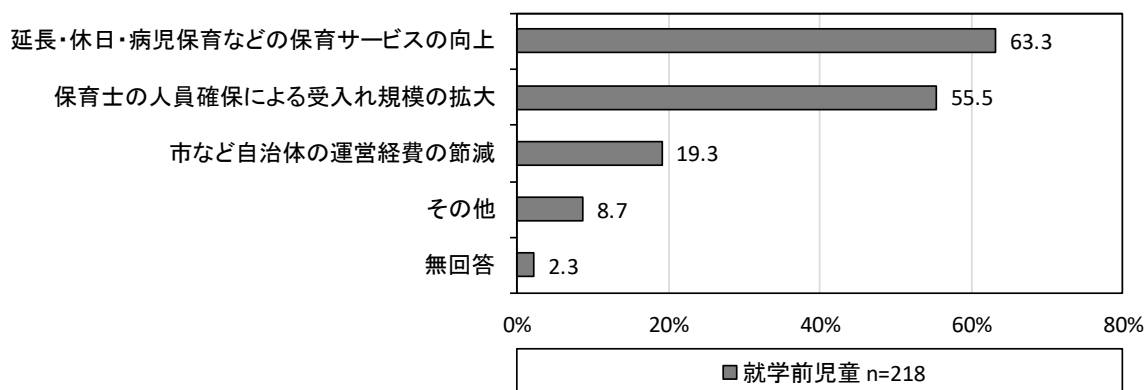


## II 調査結果

### (13) で「賛成」、「どちらかという賛成」を選択した方

#### (14) 公立保育所の民営化に賛成する理由〈複数回答〉〔就学前児童調査：問 16-1、小学生児童調査：一〕

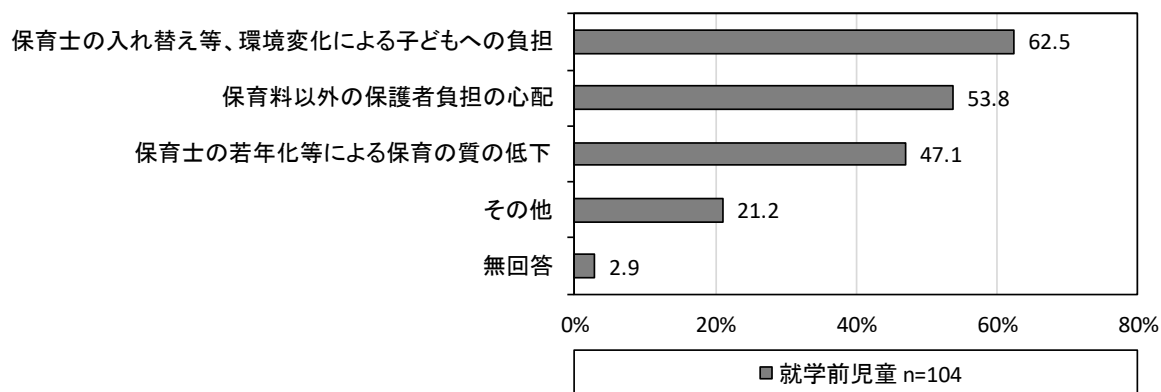
公立保育所の民営化に賛成する理由については、「延長・休日・病児保育などの保育サービスの向上」が 63.3%で最も高く、次いで、「保育士の人員確保による受入れ規模の拡大」が 55.5%となっています。



### (13) で「反対」、「どちらかという反対」を選択した方

#### (15) 公立保育所の民営化に反対する理由〈複数回答〉〔就学前児童調査：問 16-2、小学生児童調査：一〕

公立保育所の民営化に反対する理由については、「保育士の入れ替え等、環境変化による子どもへの負担」が 62.5%で最も高く、次いで、「保育料以外の保護者負担の心配」が 53.8%となっています。



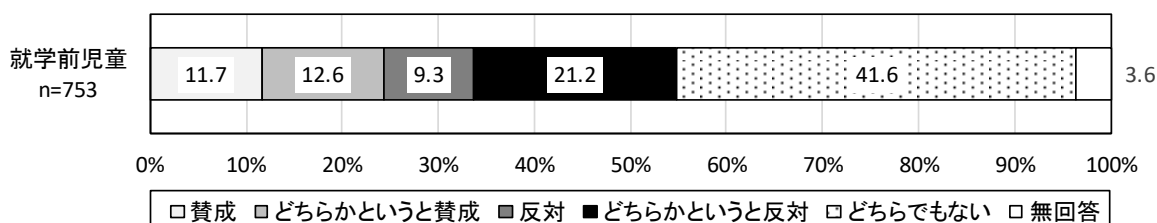


**(16) 公立保育所の給食業務を外部業者に委託することへの考え方〈単数回答〉**

〔就学前児童調査：問 18、小学生児童調査：一〕

公立保育所の給食業務を外部業者に委託することへの考え方については、「どちらでもない」が 41.6%で最も高く、次いで、「どちらかという反対」が 21.2%となっています。

「賛成」と「どちらかという賛成」を合わせた『賛成』は 24.3%で、「反対」と「どちらかという反対」を合わせた『反対』(30.5%)より 6.2ポイント低くなっています。

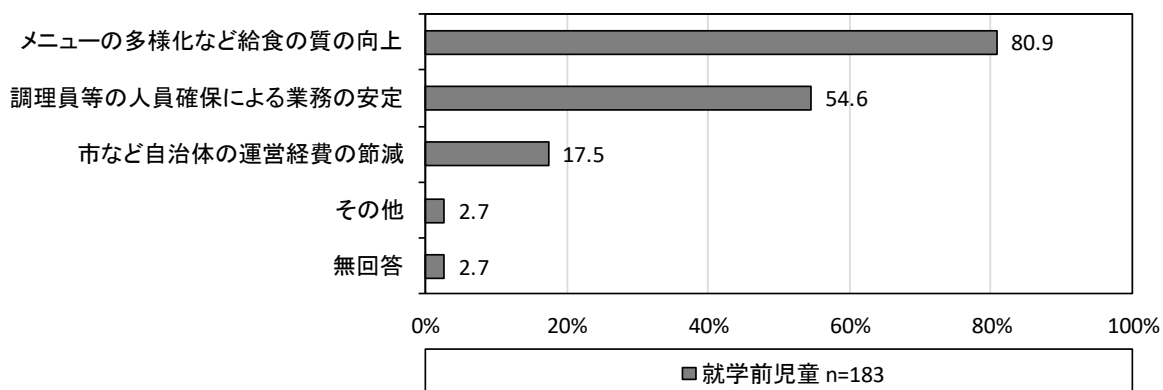


**(16) で「賛成」、「どちらかという賛成」を選択した方**

**(17) 公立保育所の給食業務を外部業者に委託することに賛成する理由〈複数回答〉**

〔就学前児童調査：問 18-1、小学生児童調査：一〕

公立保育所の給食業務を外部業者に委託することに賛成する理由については、「メニューの多様化など給食の質の向上」が 80.9%で最も高く、次いで、「調理員等の人員確保による業務の安定」が 54.6%となっています。



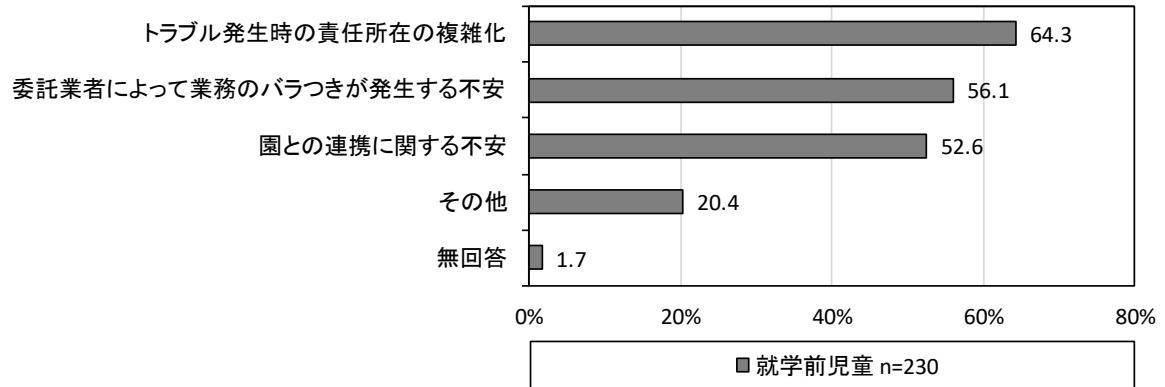
## II 調査結果

### (16) で「反対」、「どちらかというと反対」を選択した方

#### (18) 公立保育所の給食業務を外部業者に委託することに反対する理由〈複数回答〉

[就学前児童調査：問 18-2、小学生児童調査：一]

公立保育所の給食業務を外部業者に委託することに反対する理由については、「トラブル発生時の責任所在の複雑化」が 64.3% で最も高く、次いで、「委託業者によって業務のバラつきが発生する不安」が 56.1% となっています。

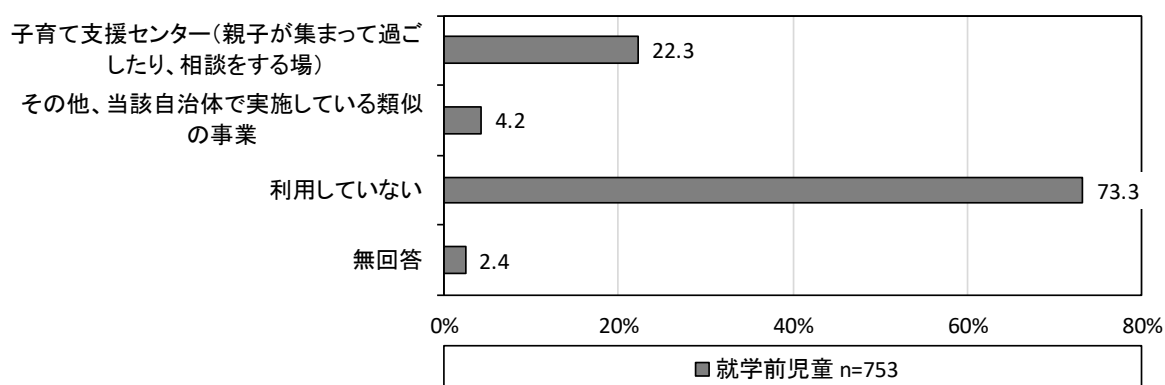


## 5. 宛名のお子さんの子育て支援センターの利用状況について

### (1) 子育て支援センターの利用状況〈複数回答〉〔就学前児童調査：問 20、小学生児童調査：－〕

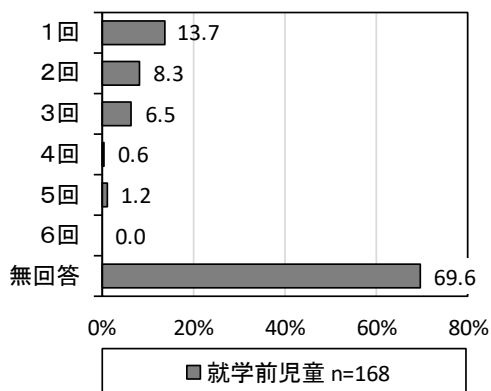
子育て支援センターの利用状況については、「利用していない」が73.3%で最も高く、次いで、「子育て支援センター（親子が集まって過ごしたり、相談をする場）」を利用している割合が22.3%となっています。

また、利用している方の利用回数については、「子育て支援センター」、「その他、当該自治体で実施している類似の事業」のそれぞれで、1週あたり、1か月あたり、ともに「1回」が最も高くなっています。

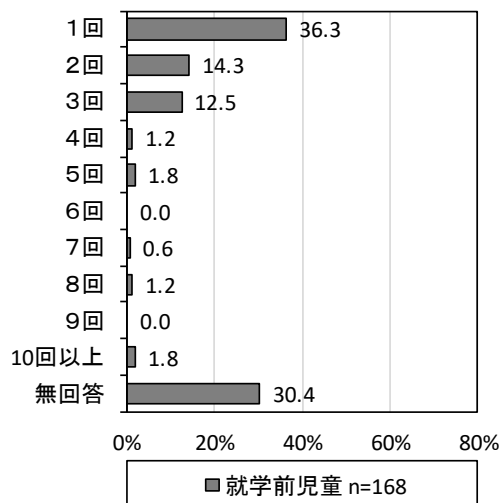


### 【子育て支援センター（親子が集まって過ごしたり、相談をする場）】

#### ■ 1週あたりの利用回数



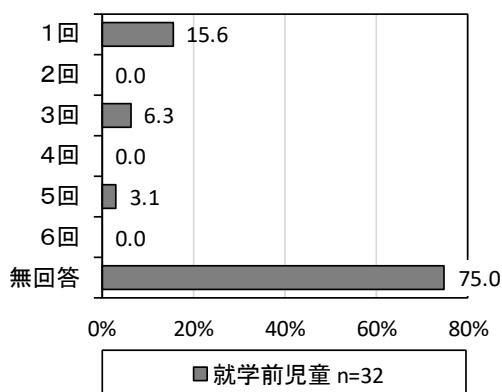
#### ■ 1か月あたりの利用回数



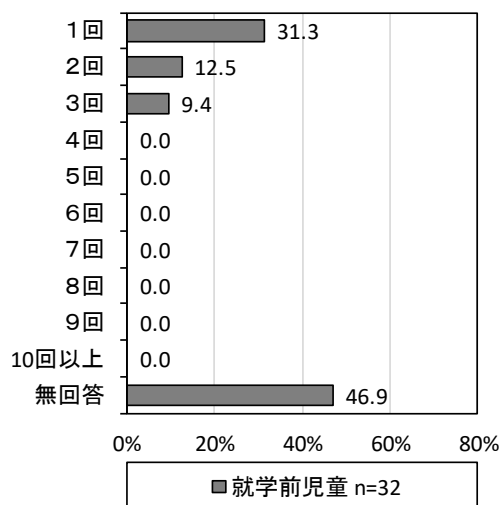
## II 調査結果

### 【その他、当該自治体で実施している類似の事業】

■ 1週あたりの利用回数



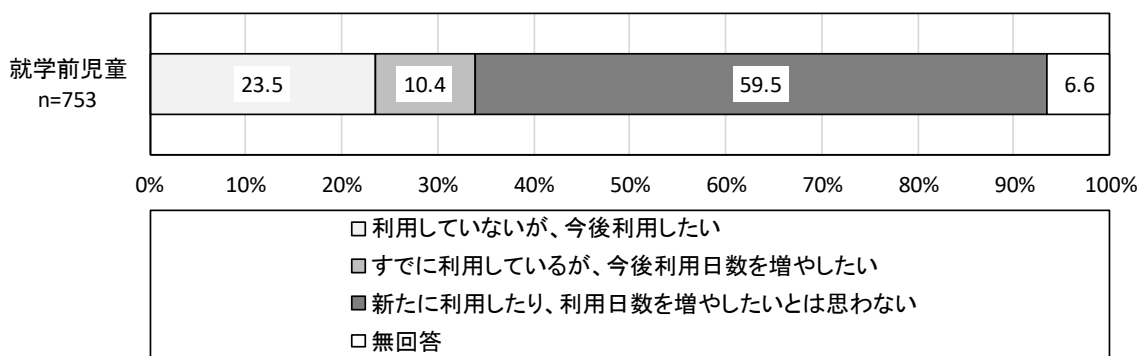
■ 1か月あたりの利用回数



### (2) 子育て支援センターの今後の利用意向〈単数回答〉[就学前児童調査：問 21、小学生児童調査：－]

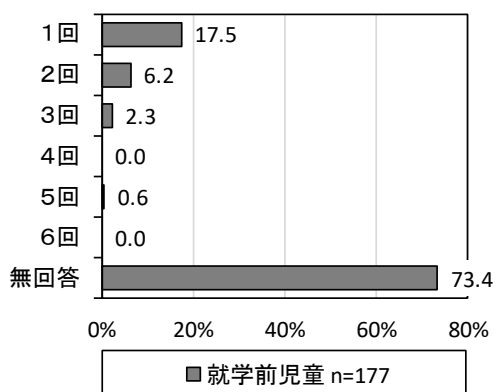
子育て支援センターの今後の利用意向については、「新たに利用したり、利用日数を増やしたいとは思わない」が 59.5%で最も高く、次いで、「利用していないが、今後利用したい」が 23.5%となっています。

また、「利用していないが、今後利用したい」という方の利用希望回数については、1週あたり、1か月あたりともに「1回」が最も高く、「すでに利用しているが、今後利用日数を増やしたい」という方の増やしたい利用回数については、1週あたりは「1回」、1か月あたりは「2回」が最も高くなっています。

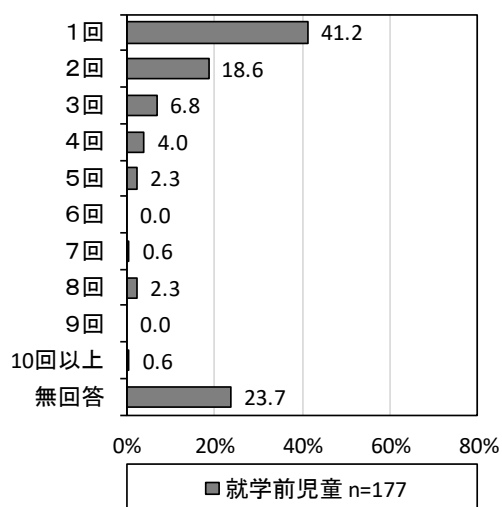


【利用していないが、今後利用したい】

■ 1週あたりの利用希望回数

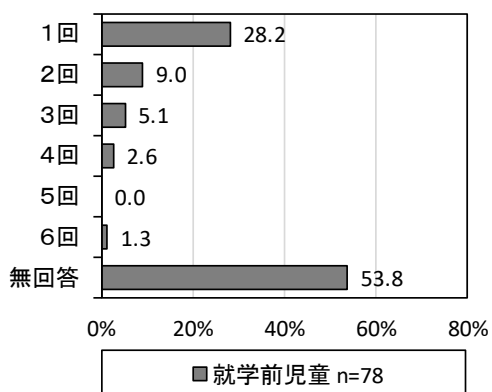


■ 1か月あたりの利用希望回数

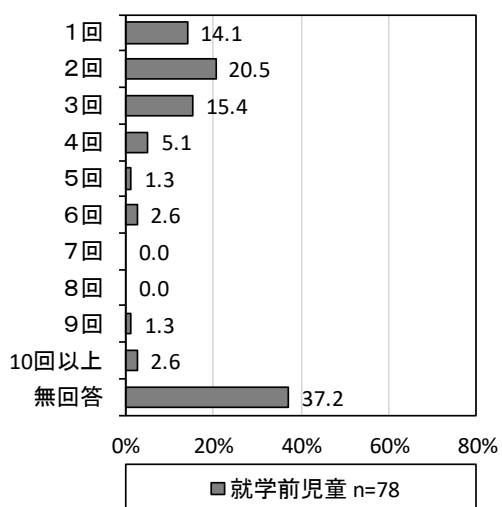


【すでに利用しているが、今後利用日数を増やしたい】

■ 増やしたい1週あたりの利用回数



■ 増やしたい1か月あたりの利用回数



## 6. 宛名のお子さんの土日・休日や長期休暇中の「定期的」な教育・保育事業の利用希望について

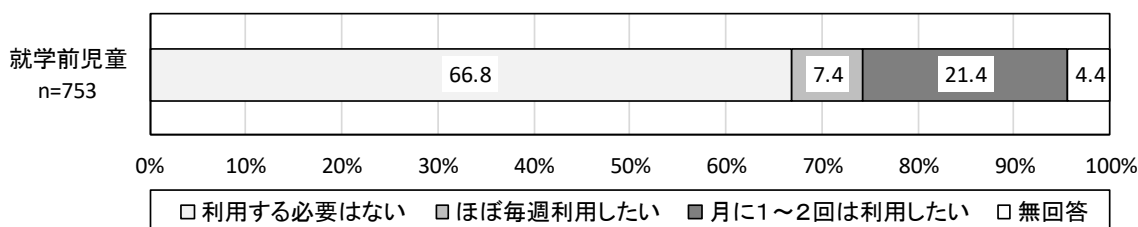
### (1) 土曜日と日曜日・祝日における、「教育・保育の事業」の定期的な利用希望〈単数回答〉

[就学前児童調査：問 22、小学生児童調査：－]

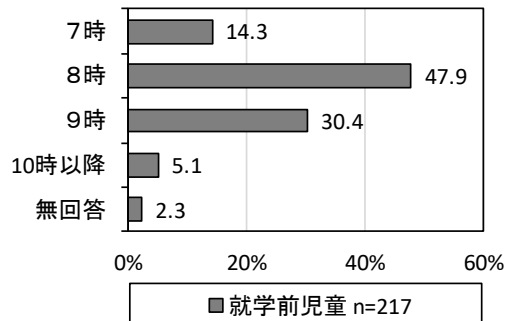
#### ①土曜日

土曜日の利用希望については、「利用する必要はない」が 66.8%で最も高く、次いで、「月に1～2回は利用したい」が 21.4%となっています。

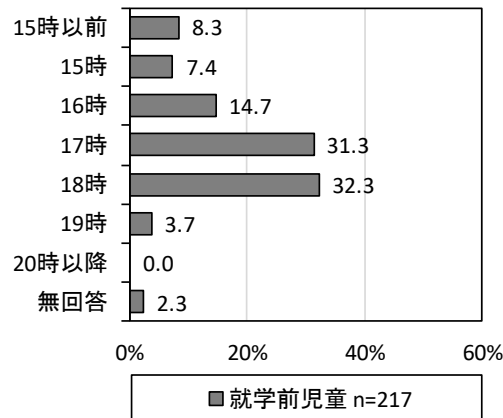
また、利用開始時間については、「8時」が 47.9%で最も高く、次いで、「9時」が 30.4%となっています。利用終了時間については、「18時」が 32.3%で最も高く、次いで、「17時」が 31.3%となっています。



#### ■利用開始時間



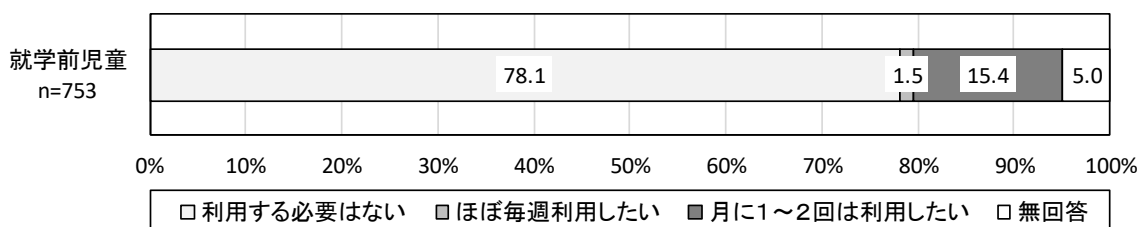
#### ■利用終了時間



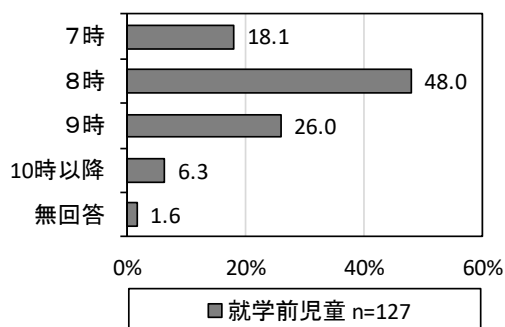
②日曜日・祝日

日曜日・祝日の利用希望については、「利用する必要はない」が78.1%で最も高く、次いで、「月に1～2回は利用したい」が15.4%となっています。

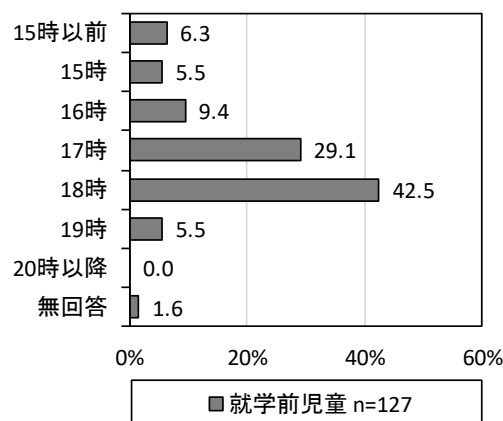
また、利用開始時間については、「8時」が48.0%で最も高く、次いで、「9時」が26.0%となっています。利用終了時間については、「18時」が42.5%で最も高く、次いで、「17時」が29.1%となっています。



■利用開始時間



■利用終了時間



## II 調査結果

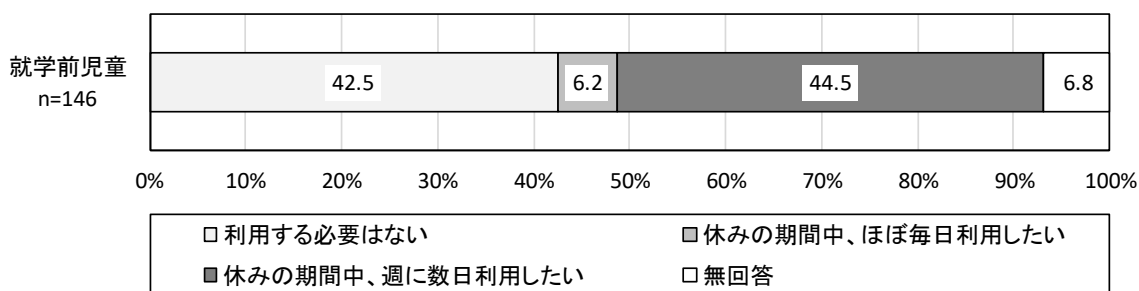
### 幼稚園を利用されている方

#### (2) 夏休み・冬休みなどの長期の休暇期間中における、「教育・保育の事業」の利用希望〈単数回答〉

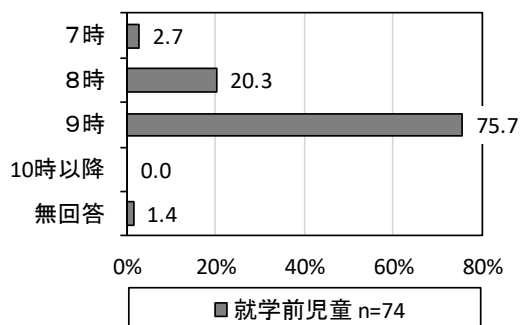
〔就学前児童調査：問 23、小学生児童調査：一〕

夏休み・冬休みなどの長期の休暇期間中における教育・保育の事業の利用希望については、「休みの期間中、週に数日利用したい」が 44.5%で最も高く、次いで、「利用する必要はない」が 42.5%となっています。

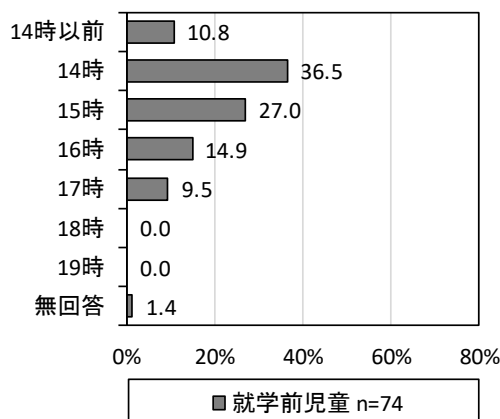
また、利用開始時間については、「9時」が 75.7%で最も高く、次いで、「8時」が 20.3%となっています。利用終了時間については、「14時」が 36.5%で最も高く、次いで、「15時」が 27.0%となっています。



#### ■利用開始時間



#### ■利用終了時間



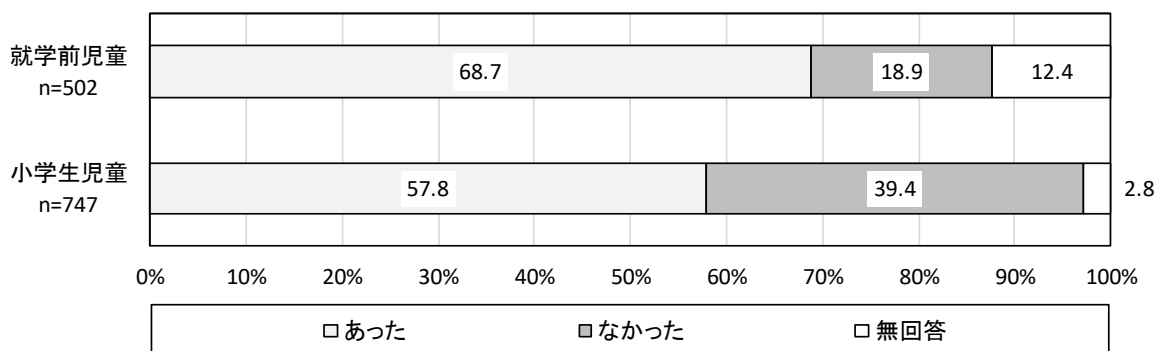


## 7. 宛名のお子さんの病気の際の対応について

就学前児童は、平日に定期的な「教育・保育の事業」を利用されている方

(1) この1年間に、子どもが病気やケガで普段利用している事業が利用できなかった(小学生は学校を休まなければならなかった)ことの有無(単数回答)[就学前児童調査:問24、小学生児童調査:問13]

この1年間に、子どもが病気やケガで普段利用している事業が利用できなかった(小学生は学校を休まなければならなかった)有無については、「あった」が就学前児童で68.7%、小学生児童で57.8%となっており、「なかった」が就学前児童で18.9%、小学生児童で39.4%となっています。



## II 調査結果

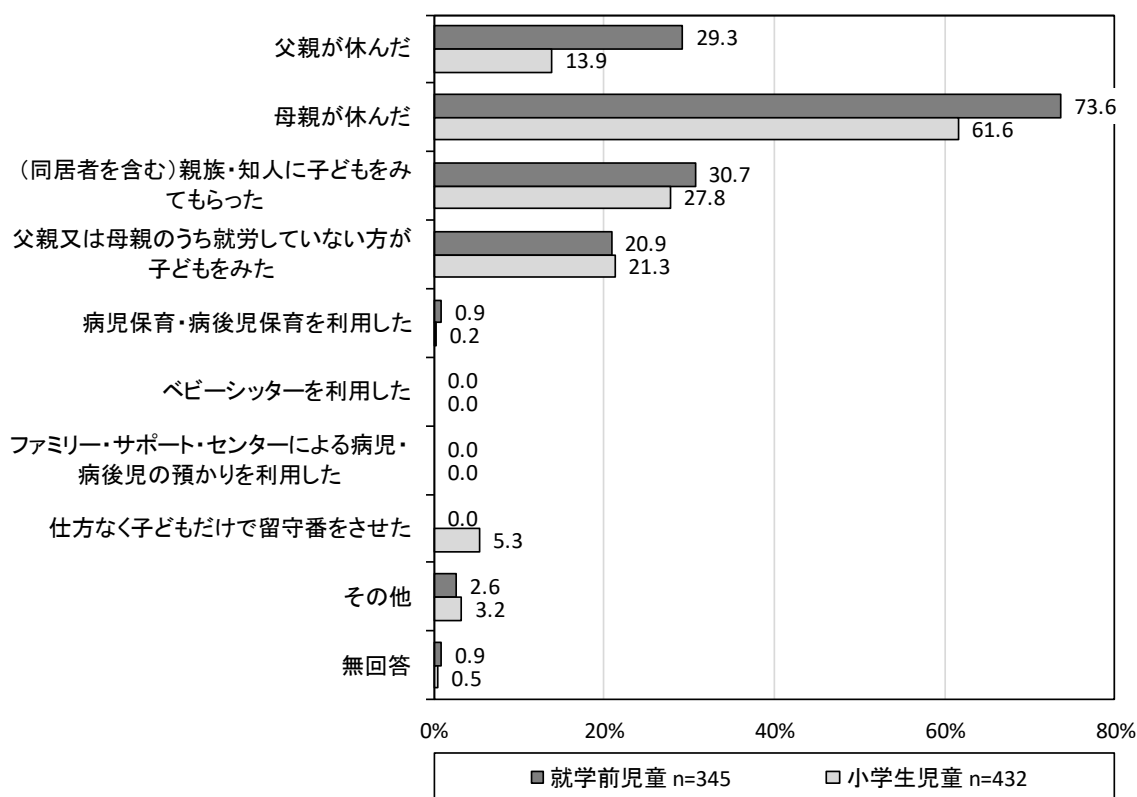
### (1)で「あった」を選択した方

#### (2)子どもが病気やけがで普段利用している教育・保育の事業が利用できなかった(小学生は学校を休まなければならなかった)場合における、この1年間の対処方法〈複数回答〉

〔就学前児童調査：問 24-1、小学生児童調査：問 13-1〕

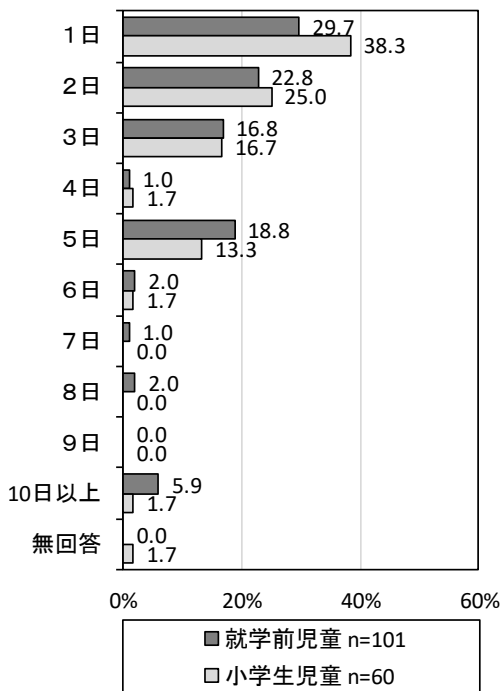
子どもが病気やケガで普段利用している事業が利用できなかった(小学生は学校を休まなければならなかった)場合における、この1年間の対処方法については、「母親が休んだ」が就学前児童で73.6%、小学生児童で61.6%と最も高く、次いで、「(同居者を含む)親族・知人に子どもをみてもらった」が就学前児童で30.7%、小学生児童で27.8%となっています。

対処方法として「母親が休んだ」、「親族・知人に子どもをみてもらった」と回答した方のこの1年間の対処日数について、就学前児童では、ともに「10日以上」が最も高く、小学生児童では、ともに「1日」が最も高くなっています。

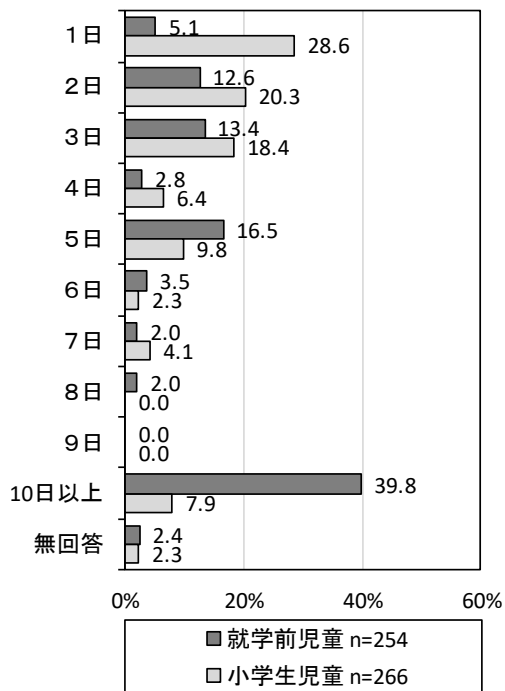


【1年間の対処方法別の日数】

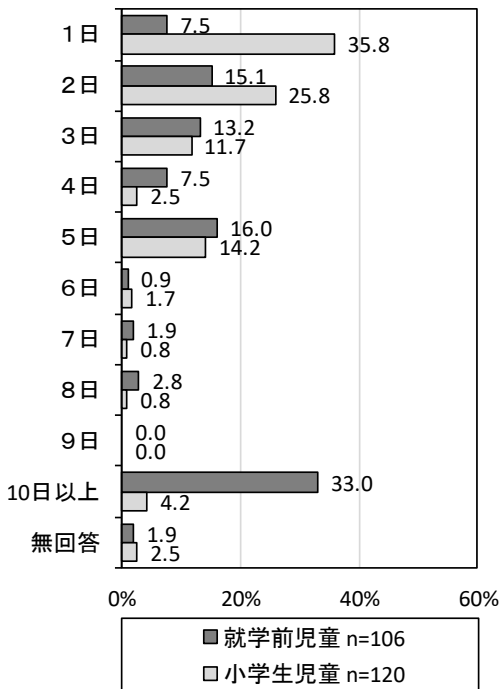
■父親が休んだ



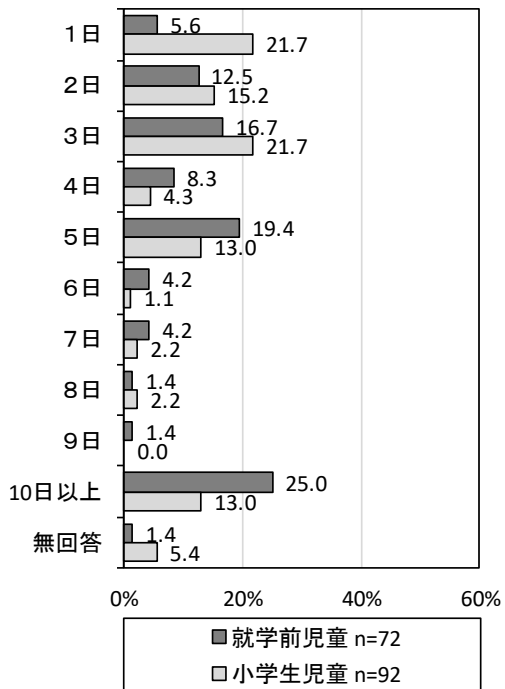
■母親が休んだ



■親族・知人に子どもをみてもらった



■父親又は母親のうち就労していない方が子どもをみた

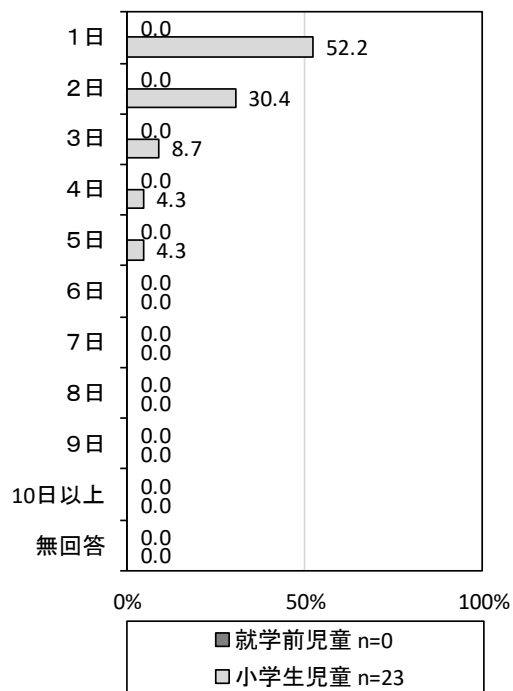


## II 調査結果

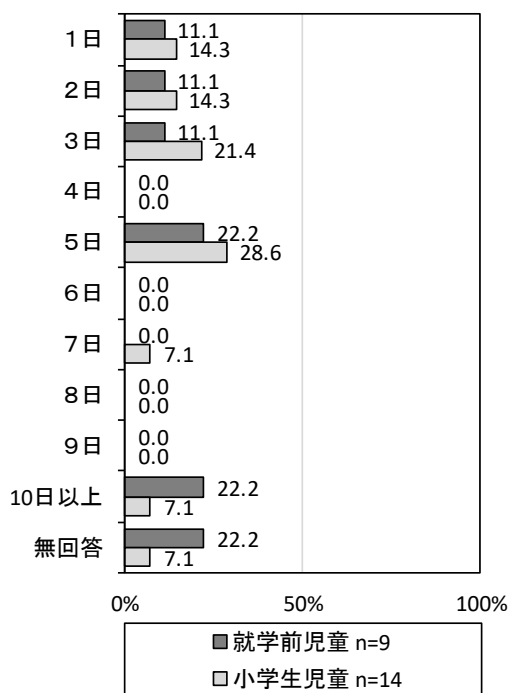
### ■病児保育・病後児保育を利用した

	就学前児童 n=3		小学生児童 n=1	
	件数	%	件数	%
1日	1	33.3	0	0.0
2日	0	0.0	0	0.0
3日	0	0.0	1	100.0
4日	0	0.0	0	0.0
5日	1	33.3	0	0.0
6日	1	33.3	0	0.0
7日	0	0.0	0	0.0
8日	0	0.0	0	0.0
9日	0	0.0	0	0.0
10日以上	0	0.0	0	0.0
無回答	0	0.0	0	0.0

### ■仕方なく子どもだけで留守番をさせた



### ■その他



※「ベビーシッターを利用した」、「ファミリー・サポート・センターによる病児・病後児の預かりを利用した」は該当する回答者がいませんでした。

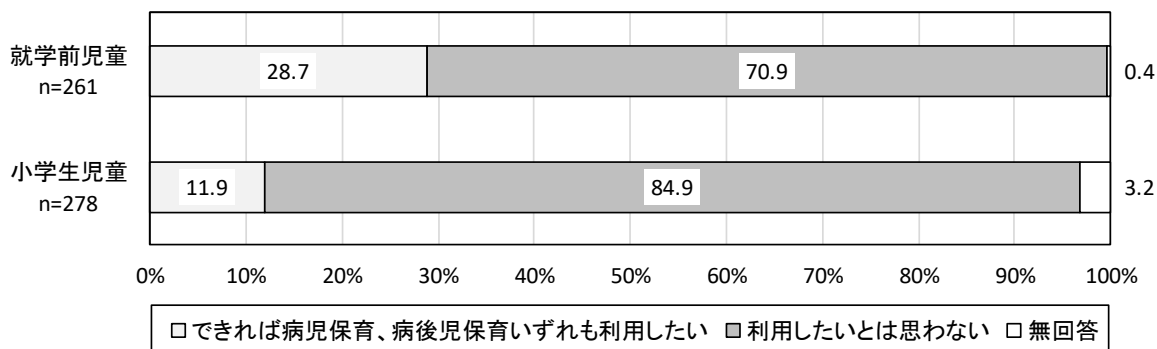
(2)で「父親が休んだ」、「母親が休んだ」を選択した方

(3)その際、「できれば病児・病後児のための保育施設等を利用したい」と思ったか〈単数回答〉

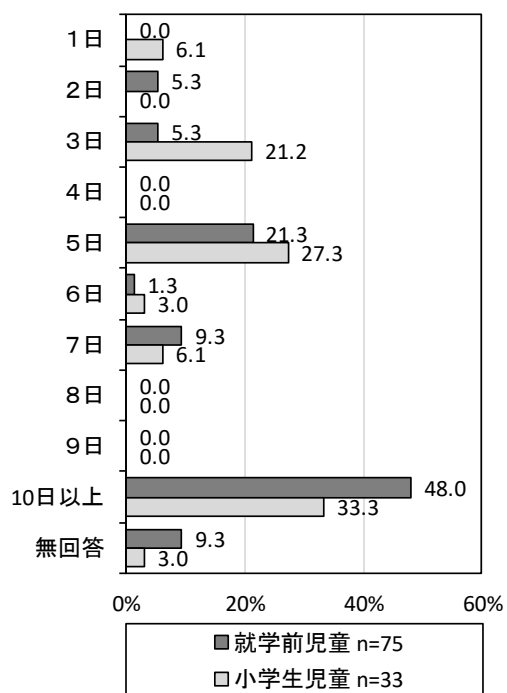
[就学前児童調査：問 24-2、小学生児童調査：問 13-2]

病児・病後児のための保育施設等の利用希望については、「できれば病児保育、病後児保育いずれも利用したい」が就学前児童で28.7%、小学生児童で11.9%となっており、「利用したいとは思わない」が就学前児童で70.9%、小学生児童で84.9%となっています。

また、年間の利用希望日数については、「10日以上」が就学前児童で48.0%、小学生児童で33.3%と最も高くなっています。



■年間の利用希望日数

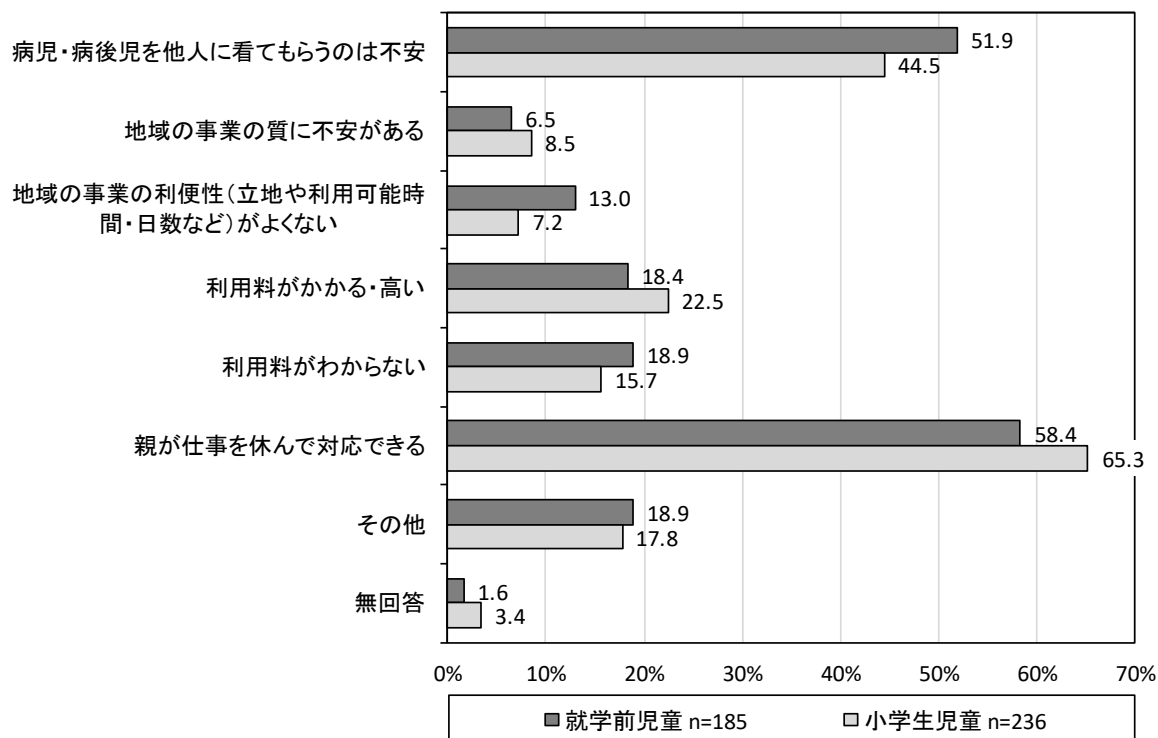


## II 調査結果

### (3)で「利用したいとは思わない」を選択した方

#### (4) 利用したいと思わない理由〈複数回答〉[就学前児童調査：問 24-3、小学生児童調査：問 13-3]

利用したいと思わない理由については、「親が仕事を休んで対応できる」が就学前児童で58.4%、小学生児童で65.3%と最も高く、次いで、「病児・病後児を他人に看てもらうのは不安」が就学前児童で51.9%、小学生児童で44.5%となっています。



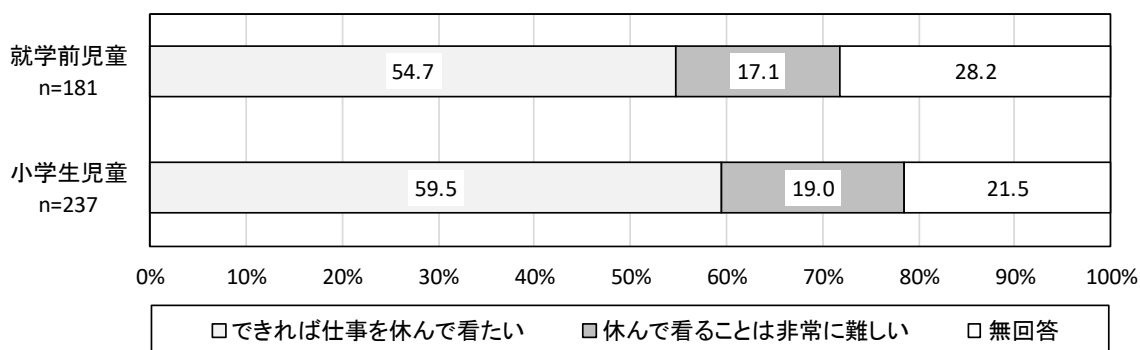
(2)で「(同居者を含む)親族・知人に子どもをみてもらった」～「その他」を選択した方

(5)その際、「できれば父母のいずれかが仕事を休んで看たい」と思ったか〈単数回答〉

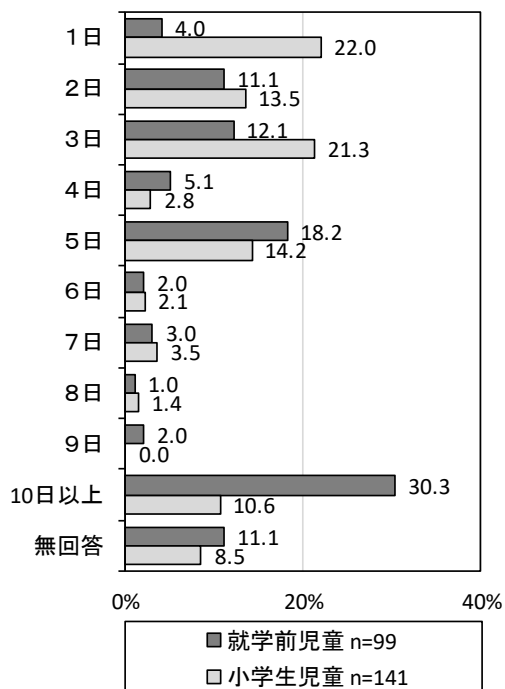
[就学前児童調査：問 24-4、小学生児童調査：問 13-4]

子どもが病気やケガで普段利用している事業が利用できなかった（小学生は学校を休まなければならなかった）際、できれば父母のいずれかが仕事を休んで看たいと思ったかについては、「できれば仕事を休んで看たい」が就学前児童で 54.7%、小学生児童で 59.5%となっており、「休んで看することは非常に難しい」が就学前児童で 17.1%、小学生児童で 19.0%となっています。

また、年間の仕事を休んで見たかった日数について、就学前児童は「10日以上」が 30.3%で最も高く、小学生児童は「3日」が 21.3%で最も高くなっています。



■年間の仕事を休んで見たかった日数



## II 調査結果

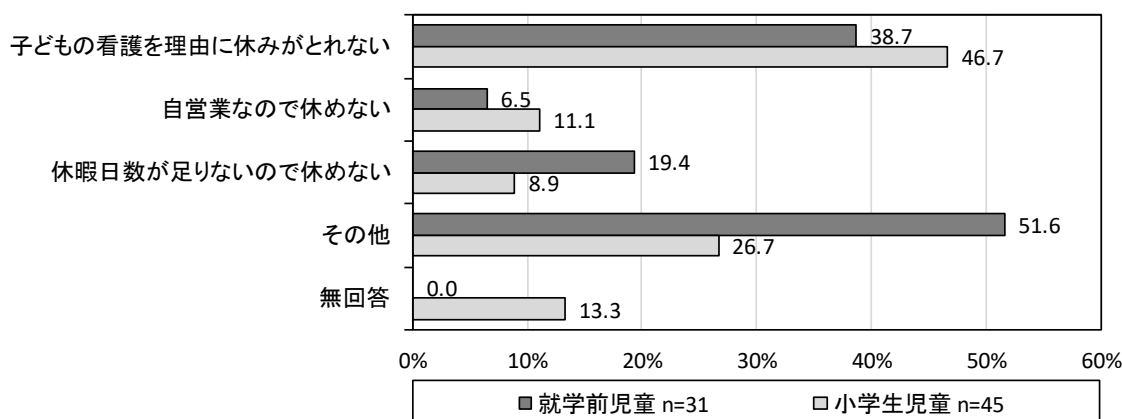
### (5)で「休んで見ることは非常に難しい」を選択した方

#### (6) 休んで見ることは非常に難しい理由〈複数回答〉

〔就学前児童調査：問 24-5、小学生児童調査：問 13-5〕

休んで見ることは非常に難しい理由について、就学前児童は「その他」が51.6%で最も高く、次いで、「子どもの看護を理由に休みがとれない」が38.7%となっています。

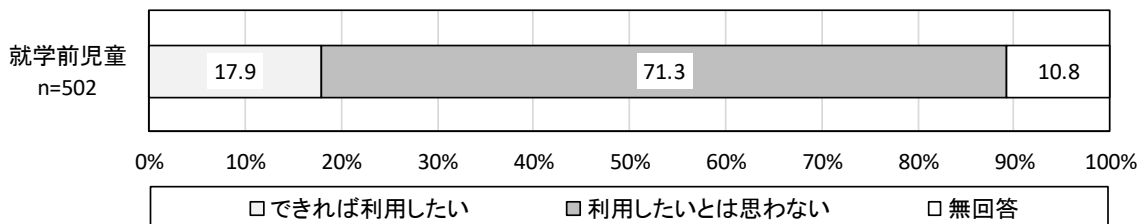
小学生児童は「子どもの看護を理由に休みがとれない」が46.7%で最も高く、次いで、「その他」が26.7%となっています。



#### (7) 子どもが病気やけがで普段利用している教育・保育の事業が利用できなかった場合における、自宅での訪問型病児保育の利用希望〈単数回答〉

〔就学前児童調査：問 25、小学生児童調査：—〕

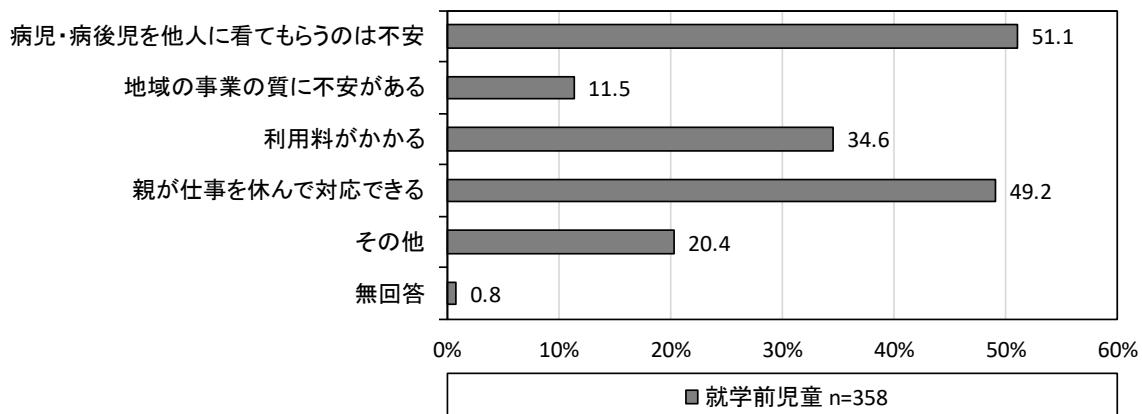
子どもが病気やけがで普段利用している教育・保育の事業が利用できなかった場合における、自宅での訪問型病児保育の利用希望については、「できれば利用したい」が17.9%、「利用したいとは思わない」が71.3%となっています。





**(7)で「利用したいとは思わない」を選択した方****(8) 利用したいと思わない理由〈複数回答〉[就学前児童調査：問 25-1、小学生児童調査：一]**

利用したいと思わない理由については、「病児・病後児を他人に看てもらうのは不安」が51.1%で最も高く、次いで、「親が仕事を休んで対応できる」が49.2%となっています。



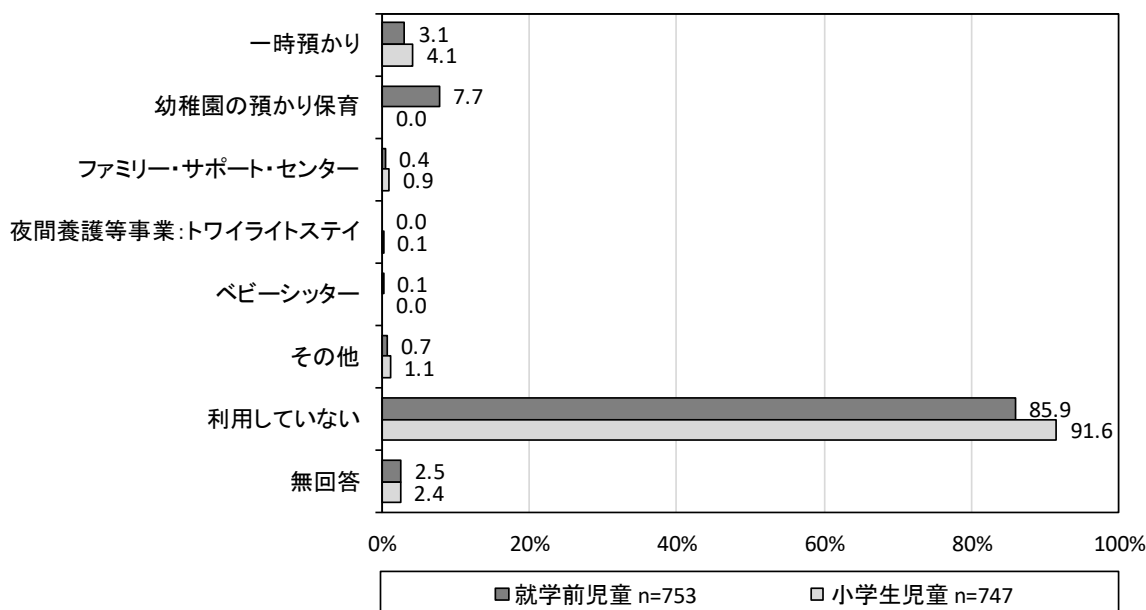
II 調査結果

## 8. 宛名のお子さんの不特定の教育・保育事業や宿泊を伴う一時預かり等の利用について

### (1) 私用、親の通院、不特定の就労等の目的で不特定に利用している事業の有無〈複数回答〉

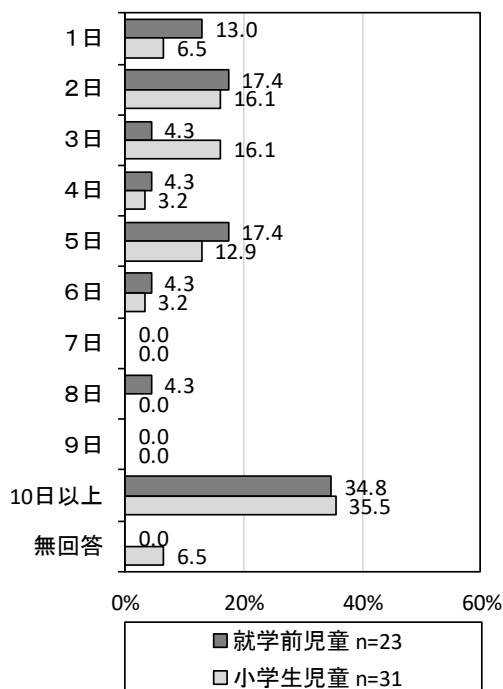
[就学前児童調査：問 26、小学生児童調査：問 14]

この1年間、私用等の目的で不特定に利用している事業については、「利用していない」が就学前児童で85.9%、小学生児童で91.6%と最も高く、その他の項目は就学前児童、小学生児童ともに1割未満となっています。



### 【事業別の利用日数】

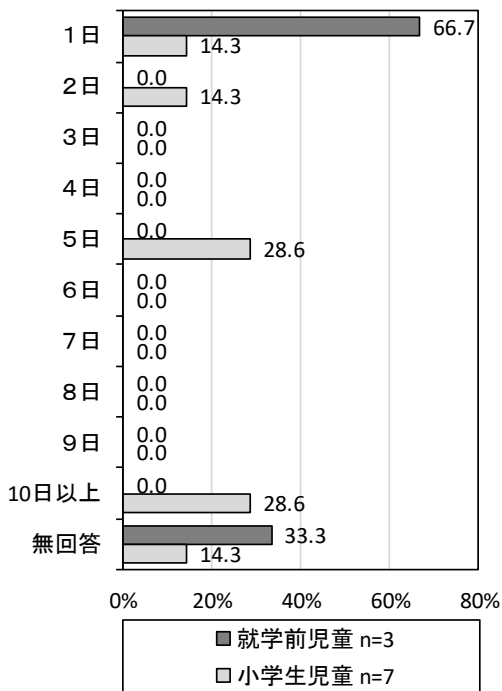
#### ■一時預かり



#### ■幼稚園の預かり保育

	就学前児童 n=1		小学生児童 n=0	
	件数	%	件数	%
1日	0	0.0	0	—
2日	0	0.0	0	—
3日	0	0.0	0	—
4日	0	0.0	0	—
5日	1	100.0	0	—
6日	0	0.0	0	—
7日	0	0.0	0	—
8日	0	0.0	0	—
9日	0	0.0	0	—
10日以上	0	0.0	0	—
無回答	0	0.0	0	—

■ファミリー・サポート・センター



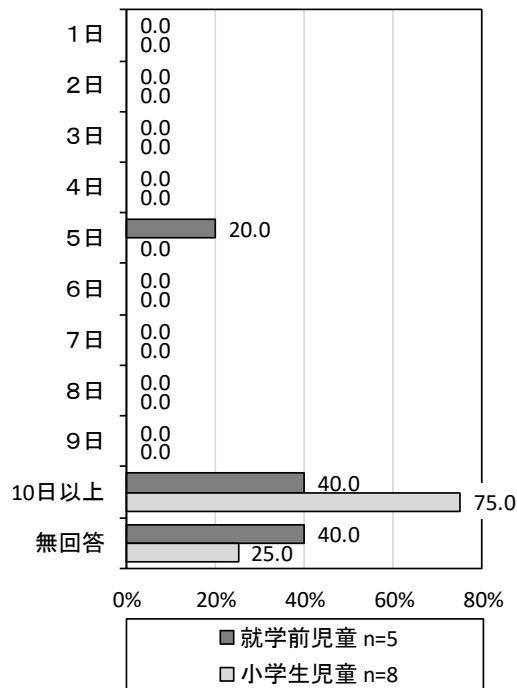
■夜間養護等事業：トワイライトステイ

	就学前児童 n=0		小学生児童 n=1	
	件数	%	件数	%
1日	0	—	0	0.0
2日	0	—	0	0.0
3日	0	—	0	0.0
4日	0	—	0	0.0
5日	0	—	0	0.0
6日	0	—	0	0.0
7日	0	—	0	0.0
8日	0	—	0	0.0
9日	0	—	0	0.0
10日以上	0	—	1	100.0
無回答	0	—	0	0.0

■ベビーシッター

	就学前児童 n=1		小学生児童 n=0	
	件数	%	件数	%
1日	0	0.0	0	—
2日	0	0.0	0	—
3日	0	0.0	0	—
4日	0	0.0	0	—
5日	1	100.0	0	—
6日	0	0.0	0	—
7日	0	0.0	0	—
8日	0	0.0	0	—
9日	0	0.0	0	—
10日以上	0	0.0	0	—
無回答	0	0.0	0	—

■その他

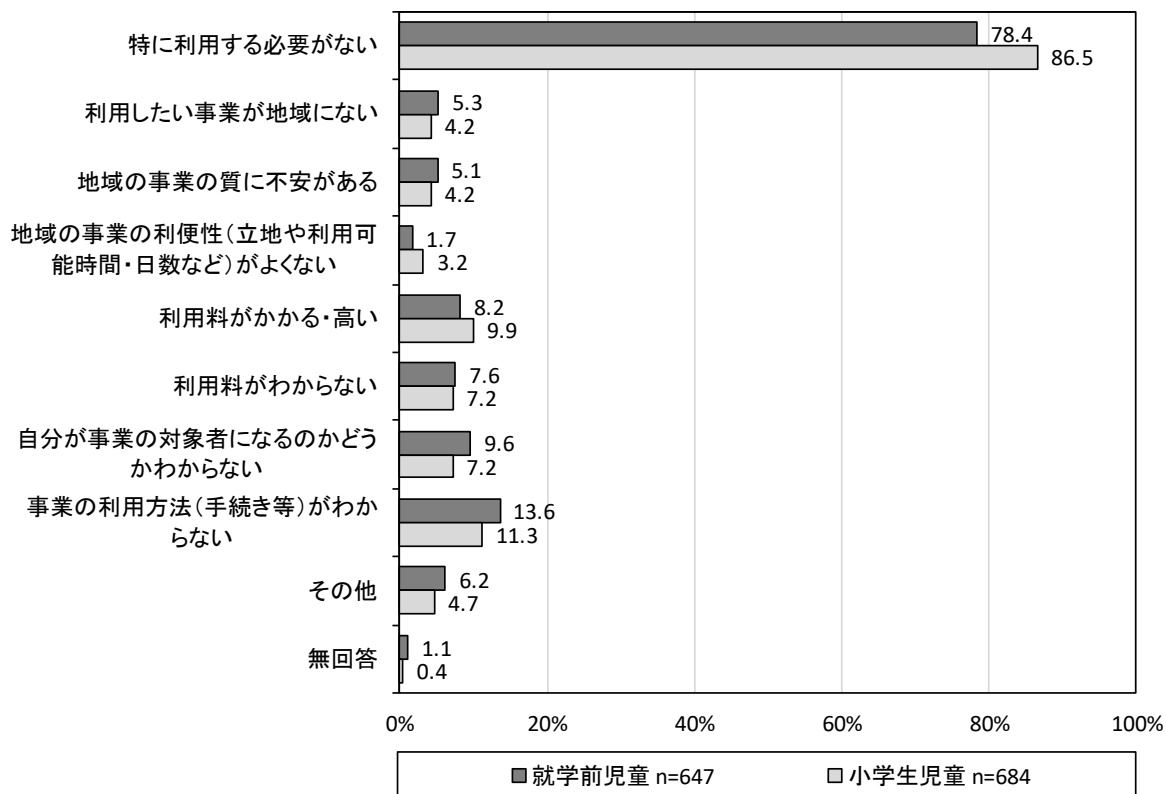


## II 調査結果

### (1)で「利用していない」を選択した方

### (2) 現在利用していない理由〈複数回答〉〔就学前児童調査：問 26-1、小学生児童調査：問 14-1〕

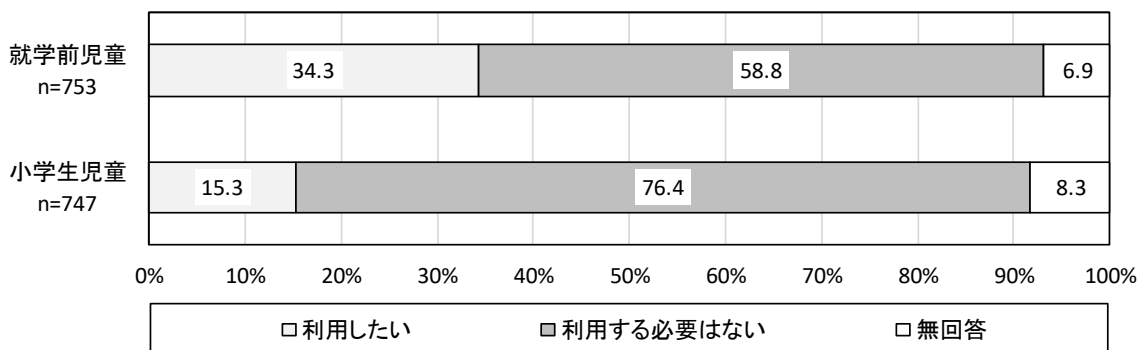
利用していない理由については、「特に利用する必要がない」が就学前児童で78.4%、小学生児童で86.5%と最も高く、次いで、「事業の利用方法(手続き等)がわからない」が就学前児童で13.6%、小学生児童で11.3%となっています。



**(3) 私用、親の通院、不定期の就労等の目的での、一時預かり等の利用希望〈単数回答〉**

[就学前児童調査：問 27、小学生児童調査：問 15]

私用等の目的での事業の利用希望については、「利用したい」が就学前児童で 34.3%、小学生児童で 15.3%となっており、「利用する必要はない」が就学前児童で 58.8%、小学生児童で 76.4%となっています。

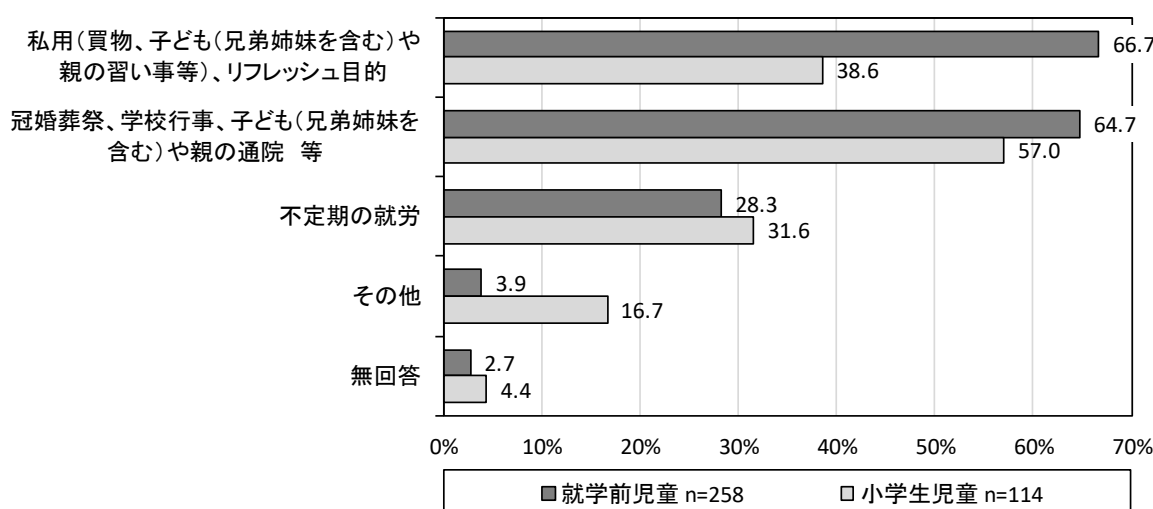


**【利用目的〈複数回答〉】**

利用目的について、就学前児童は「私用（買物、子ども（兄弟姉妹を含む）や親の習い事等）、リフレッシュ目的」が 66.7%で最も高く、次いで、「冠婚葬祭、学校行事、子ども（兄弟姉妹を含む）や親の通院 等」が 64.7%となっています。

小学生児童は「冠婚葬祭、学校行事、子ども（兄弟姉妹を含む）や親の通院 等」が 57.0%で最も高く、次いで、「私用（買物、子ども（兄弟姉妹を含む）や親の習い事等）、リフレッシュ目的」が 38.6%となっています。

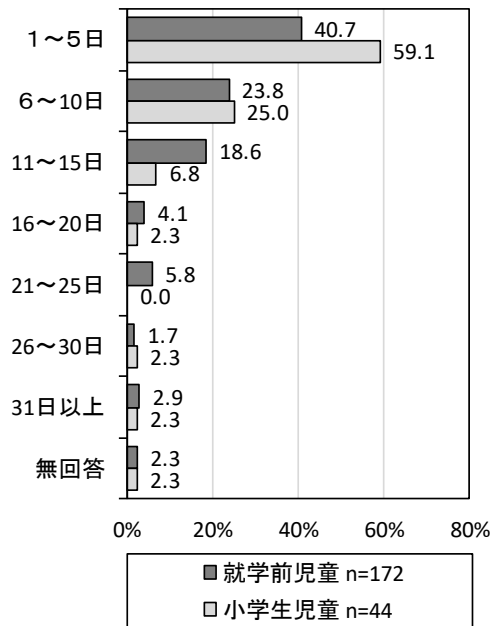
「私用（買物、子ども（兄弟姉妹を含む）や親の習い事等）、リフレッシュ目的」、「冠婚葬祭、学校行事、子ども（兄弟姉妹を含む）や親の通院 等」の利用希望日数をみると、就学前児童、小学生児童ともに「1～5日」が最も高くなっています。



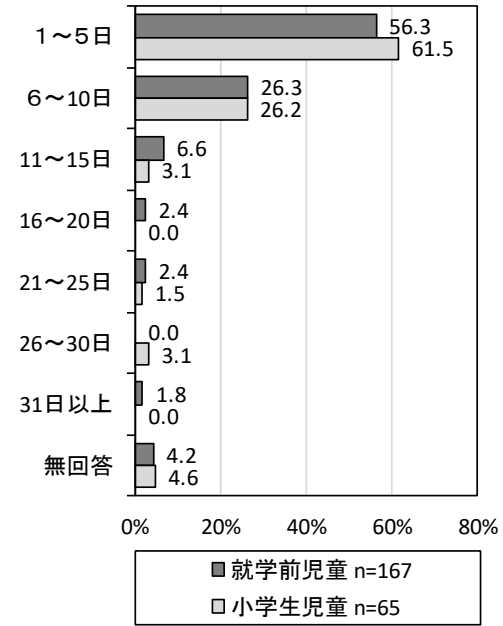
## II 調査結果

### 【目的別の利用希望日数】

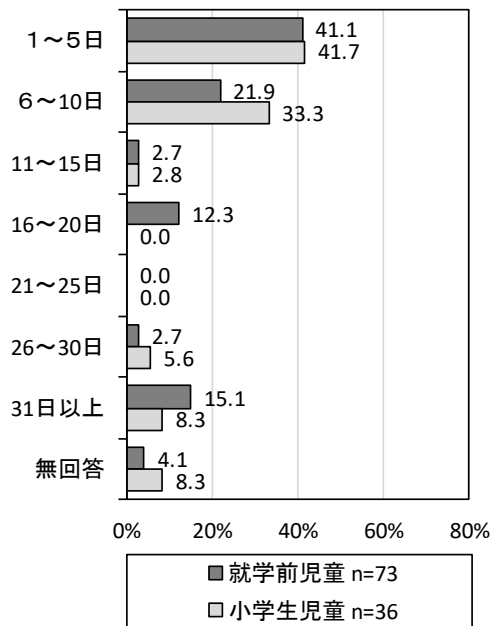
#### ■私用、リフレッシュ目的



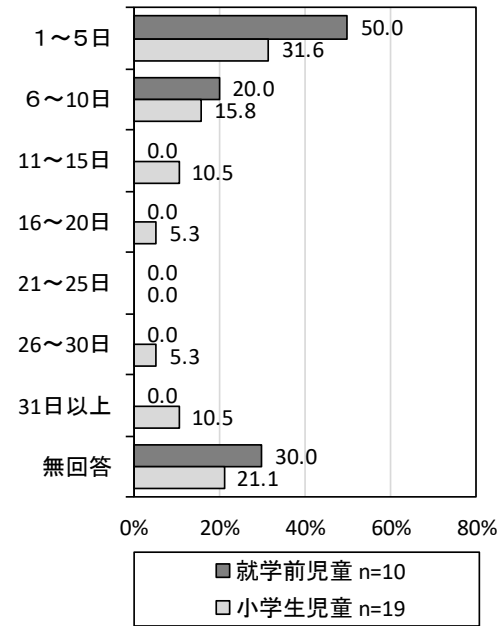
#### ■冠婚葬祭、学校行事、子どもや親の通院 等



#### ■不定期の就労



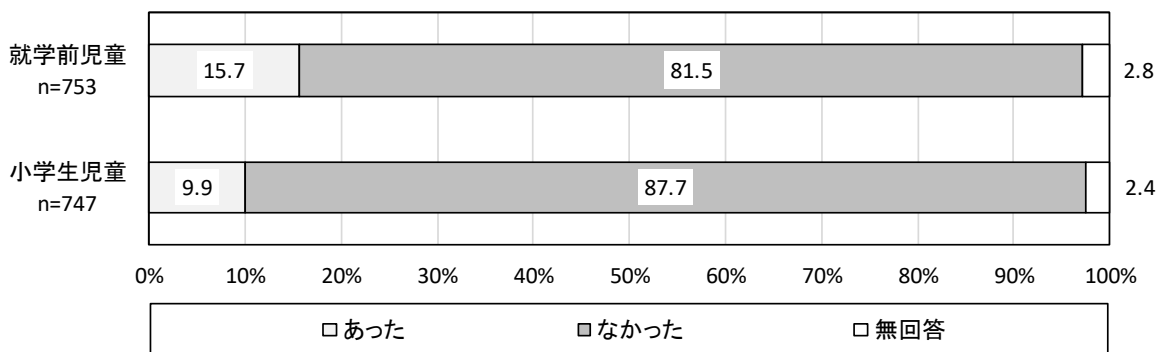
#### ■その他



**(4) この1年間に、保護者の用事により、子どもを泊りがけで家族以外にみてもらわなければならなかったことの有無〈単数回答〉** [就学前児童調査：問 28、小学生児童調査：問 16]

**【家族以外に預けた有無】**

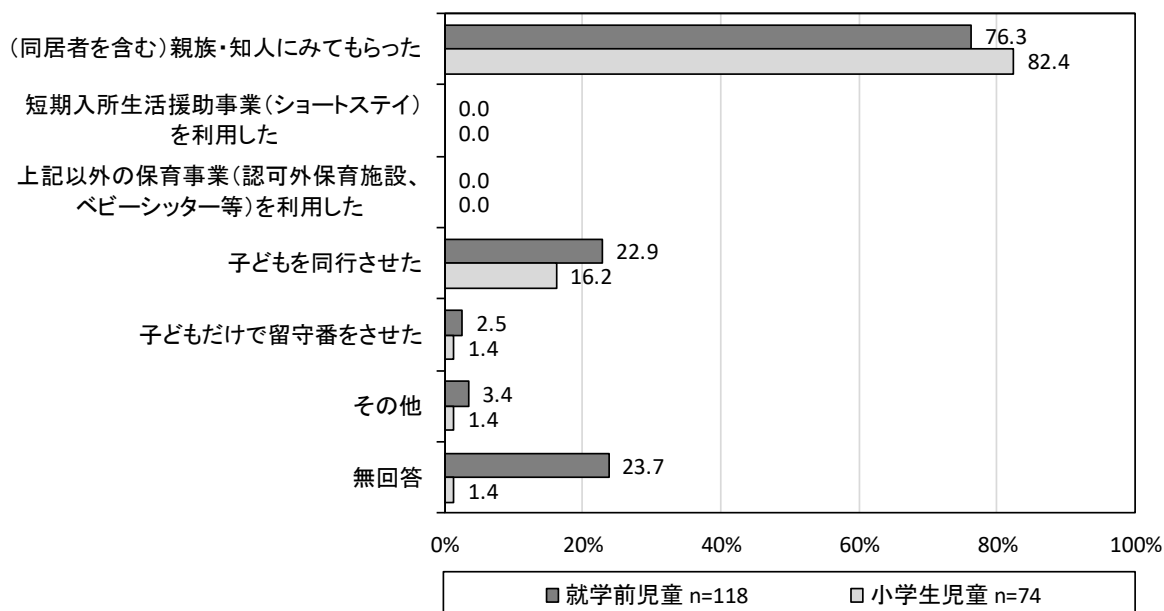
この1年間に、保護者の用事により、子どもを泊りがけで家族以外に預けた有無については、「あった」が就学前児童で15.7%、小学生児童で9.9%となっており、「なかった」が就学前児童で81.5%、小学生児童で87.7%となっています。



**【対処方法〈複数回答〉】**

対処方法については、「(同居者を含む) 親族・知人にみてもらった」が就学前児童で76.3%、小学生児童で82.4%と最も高く、次いで、「子どもを同行させた」が就学前児童で22.9%、小学生児童で16.2%となっています。

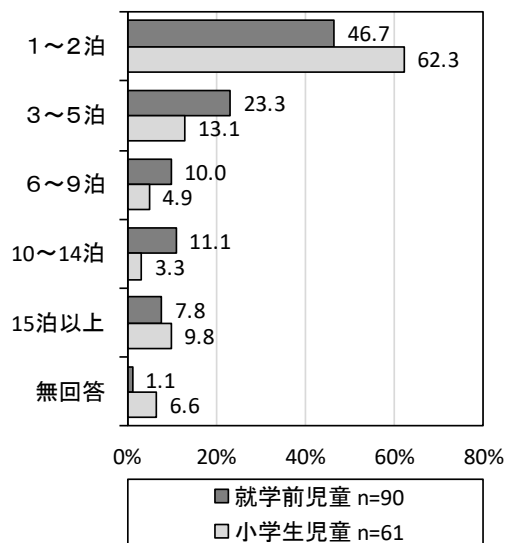
「(同居者を含む) 親族・知人にみてもらった」、「子どもを同行させた」の対処日数をみると、就学前児童、小学生児童ともに「1～2泊」が最も高くなっています。



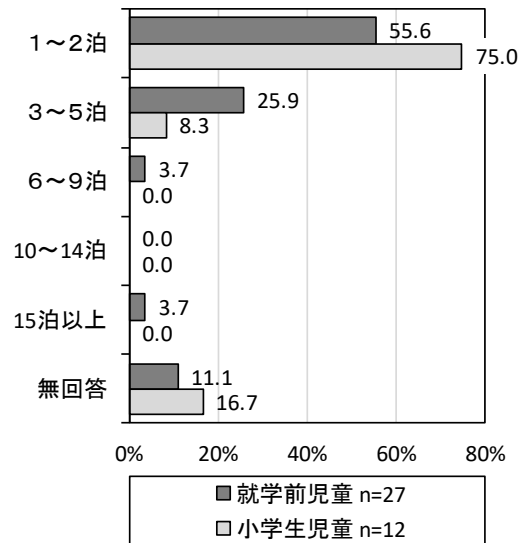
## II 調査結果

### 【1年間の対処方法別の日数】

#### ■親族・知人にみてもらった



#### ■子どもを同行させた



#### ■子どもだけで留守番をさせた

	就学前児童 n=3		小学生児童 n=1	
	件数	%	件数	%
1～2泊	3	100.0	1	100.0
3～5泊	0	0.0	0	0.0
6～9泊	0	0.0	0	0.0
10～14泊	0	0.0	0	0.0
15泊以上	0	0.0	0	0.0
無回答	0	0.0	0	0.0

#### ■その他

	就学前児童 n=4		小学生児童 n=1	
	件数	%	件数	%
1～2泊	1	25.0	0	0.0
3～5泊	2	50.0	0	0.0
6～9泊	1	25.0	1	100.0
10～14泊	0	0.0	0	0.0
15泊以上	0	0.0	0	0.0
無回答	0	0.0	0	0.0

※「短期入所生活援助事業（ショートステイ）を利用した」、「上記以外の保育事業（認可外保育施設、ベビーシッター等）を利用した」は該当する回答者がいませんでした。



## 9. 小学校就学後の放課後の過ごし方について

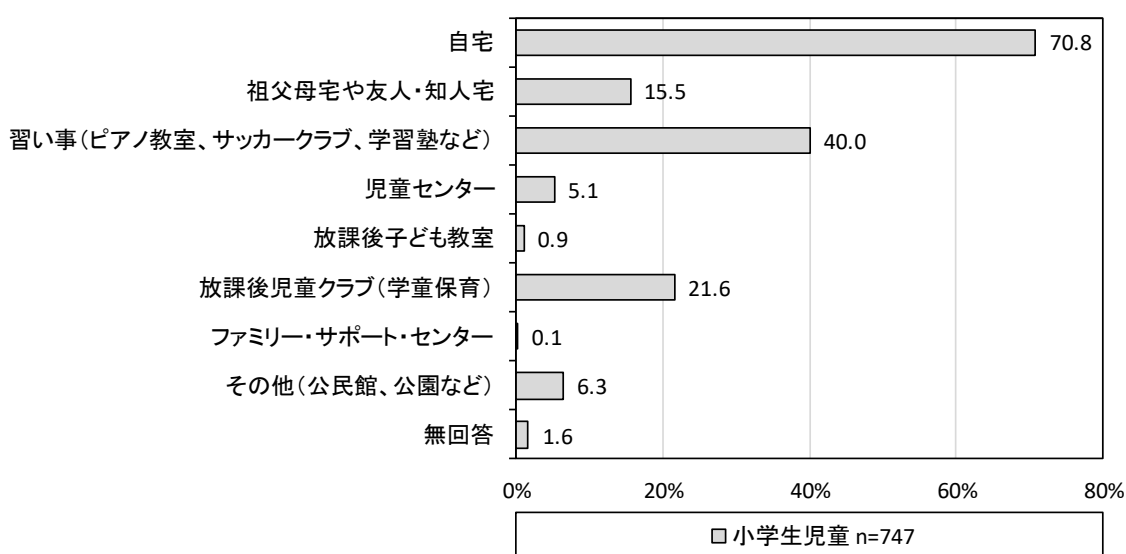
### (1) 現在、放課後（平日の小学校終了後）の時間を過ごしている場所〈複数回答〉

[就学前児童調査：一、小学生児童調査：問 17]

小学生の放課後の過ごし方の状況については、「自宅」が 70.8%で最も高く、次いで、「習い事（ピアノ教室、サッカークラブ、学習塾など）」が 40.0%、「放課後児童クラブ（学童保育）」が 21.6%となっています。

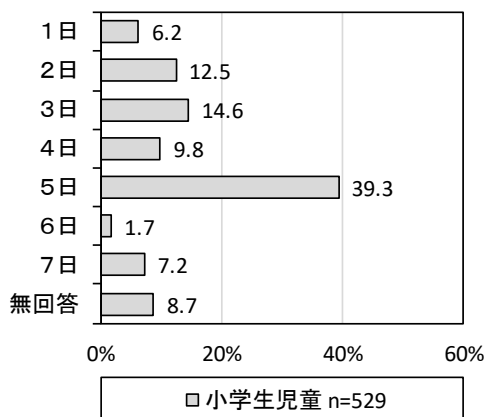
それぞれの1週あたりの利用希望日数については、「自宅」、「放課後児童クラブ」では「5日」が最も高く、「習い事」では「2日」が最も高くなっています。

また、放課後児童クラブを何時まで利用したいかについては、「18時台」が 53.4%で最も高くなっています。

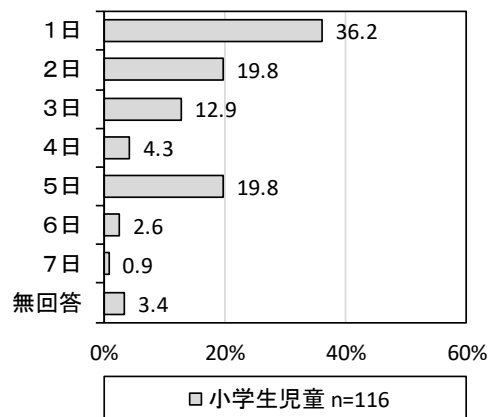


### 【1週あたりの利用日数】

#### ■自宅

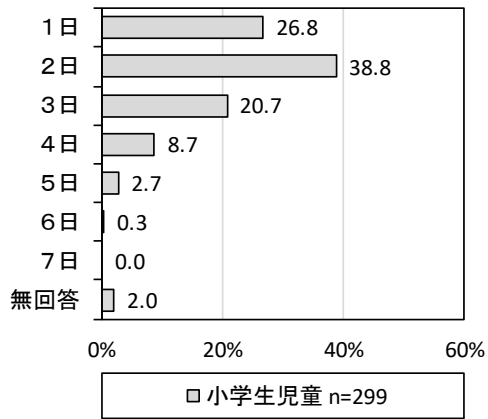


#### ■祖父母宅や友人・知人宅

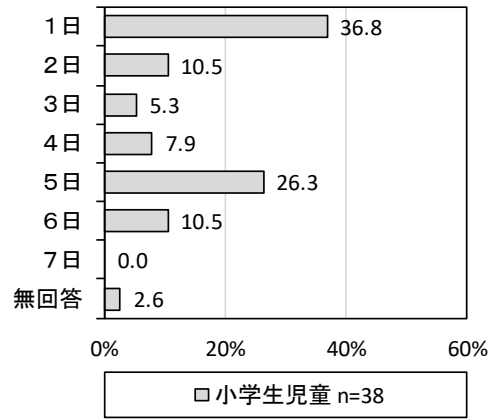


## II 調査結果

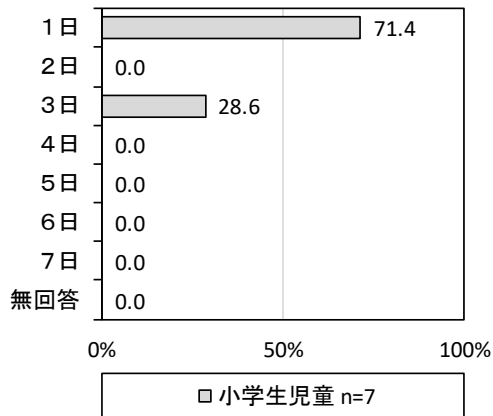
### ■習い事



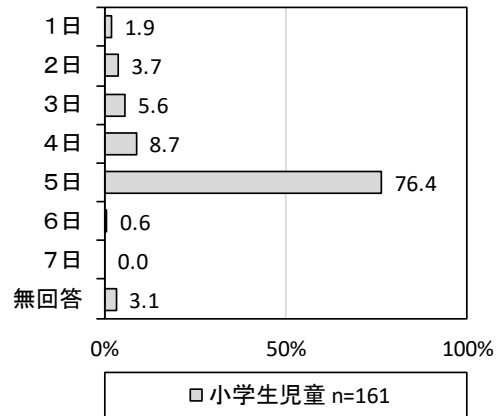
### ■児童センター



### ■放課後子ども教室



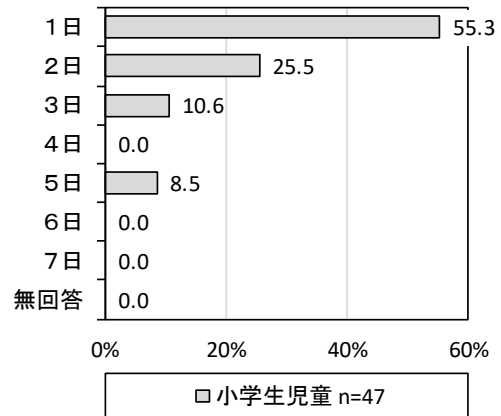
### ■放課後児童クラブ



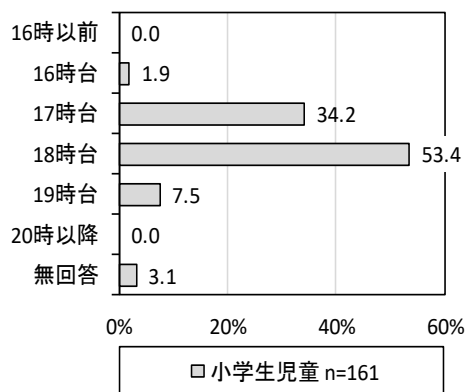
### ■ファミリー・サポート・センター

	小学生児童 n=1	
	件数	%
1日	0	0.0
2日	0	0.0
3日	0	0.0
4日	0	0.0
5日	1	100.0
6日	0	0.0
7日	0	0.0
無回答	0	0.0

### ■その他



【放課後児童クラブの利用時間（何時まで）】



居住地区別にみると、すべての地区で「自宅」が最も高くなっています。その他、「習い事」、「放課後児童クラブ」の割合が高くなっています。

■居住地区別 小学生の放課後の過ごし方の状況（小学生児童）

項目		回答者数 (n値)	自宅	祖父母宅 や友人・知 人宅	習い事(ピ アノ教室、 サッカーク ラブ、学習 塾など)	児童セン ター	放課後子ど も教室	放課後児 童クラブ (学童保 育)	ファミリー サポート センター	その他(公 民館、公園 など)	無回答
居住 地区 別	氏家小学校	265	<b>74.0</b>	18.9	<b>47.5</b>	4.5	0.4	17.7	0.0	7.2	2.3
	押上小学校	52	<b>63.5</b>	11.5	23.1	1.9	7.7	<b>32.7</b>	0.0	3.8	0.0
	熟田小学校	45	<b>68.9</b>	11.1	<b>26.7</b>	0.0	0.0	<b>26.7</b>	0.0	2.2	2.2
	上松山小学校	134	<b>64.9</b>	17.9	<b>33.6</b>	13.4	0.0	22.4	0.7	6.0	0.7
	南小学校	139	<b>69.8</b>	11.5	<b>39.6</b>	1.4	0.7	27.3	0.0	8.6	1.4
	喜連川小学校	109	<b>77.1</b>	12.8	<b>45.0</b>	4.6	0.9	14.7	0.0	4.6	1.8

## II 調査結果

### 就学前児童は来年度小学校入学予定の方、小学生は小学校低学年（1～3年生）の方

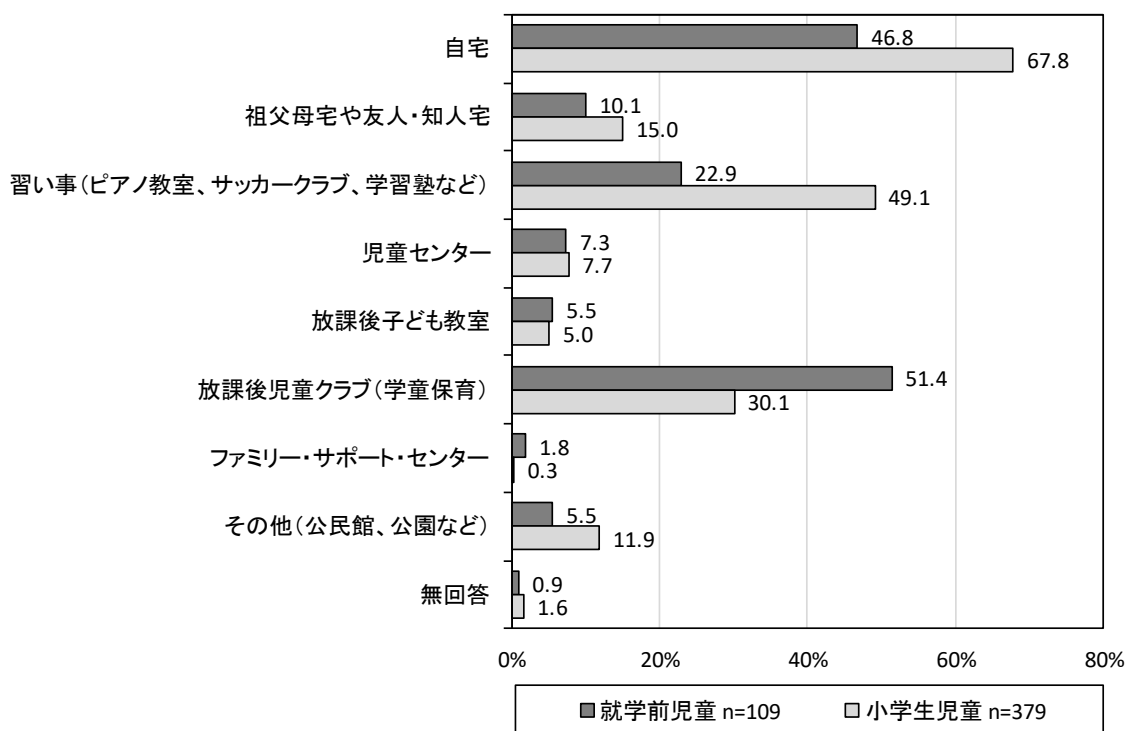
#### （2）小学校低学年（1～3年生）の期間、放課後（平日の小学校終了後）の時間をどのような場所で過ごさせたいかについて〈複数回答〉〔就学前児童調査：問 29、小学生児童調査：問 18（1）〕

低学年（1～3年生）の放課後の過ごさせ方の希望について、就学前児童は「放課後児童クラブ（学童保育）」が51.4%で最も高く、次いで、「自宅」が46.8%、「習い事（ピアノ教室、サッカークラブ、学習塾など）」が22.9%となっています。

小学生児童は「自宅」が67.8%で最も高く、次いで、「習い事」が49.1%、「放課後児童クラブ」が30.1%となっています。

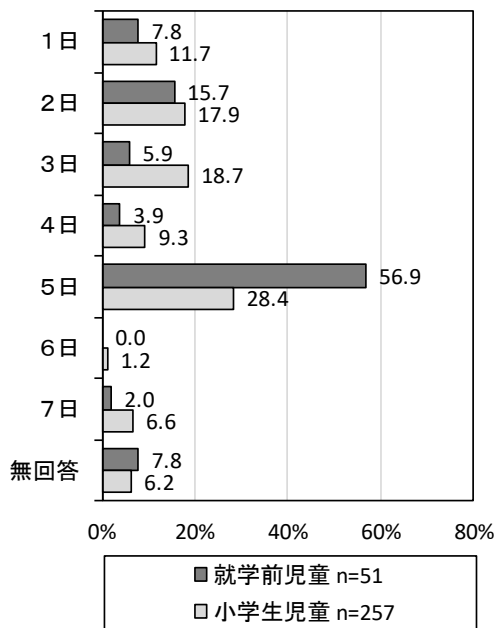
それぞれの1週あたりの利用希望日数については、「自宅」、「放課後児童クラブ」では、就学前児童、小学生児童ともに「5日」が最も高く、「習い事」では、就学前児童は「1日」、小学生児童は「2日」が最も高くなっています。

また、放課後児童クラブを何時まで利用したいかについては、「18時台」が就学前児童で44.6%、小学生児童で42.1%と最も高くなっています。

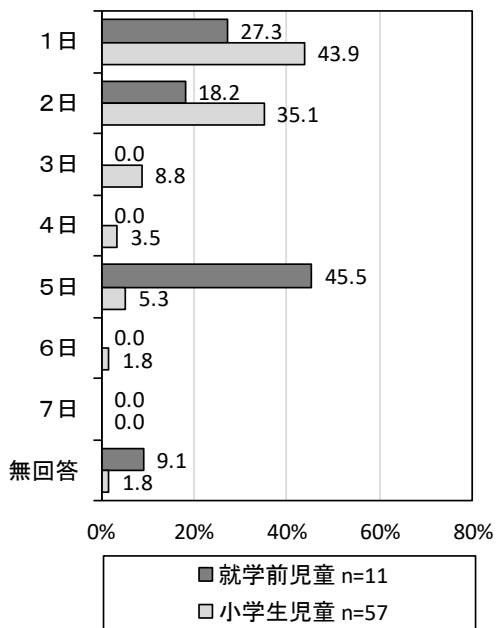


【1週あたりの利用希望日数】

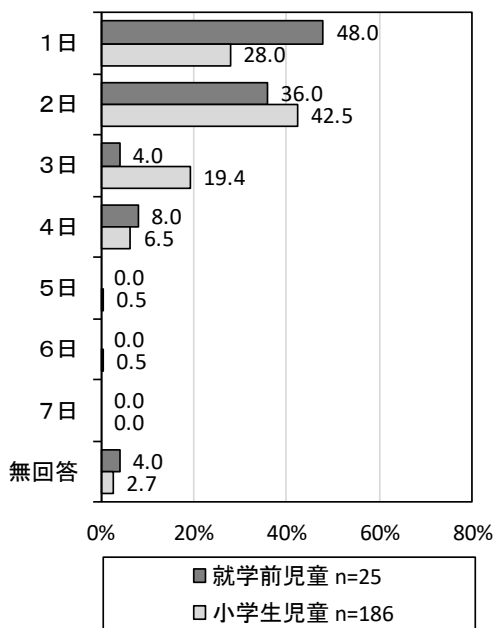
■自宅



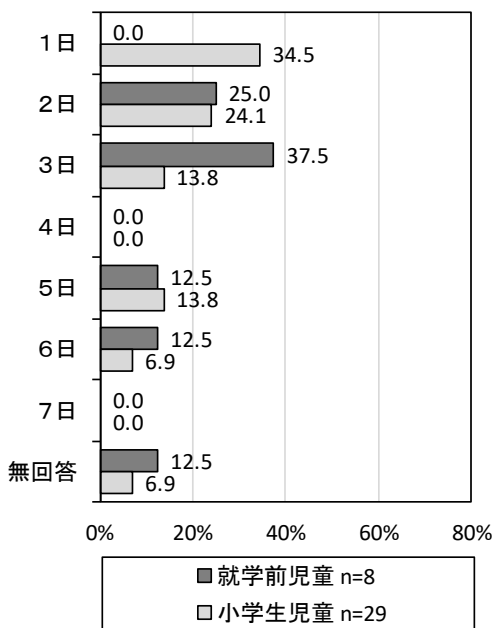
■祖父母宅や友人・知人宅



■習い事

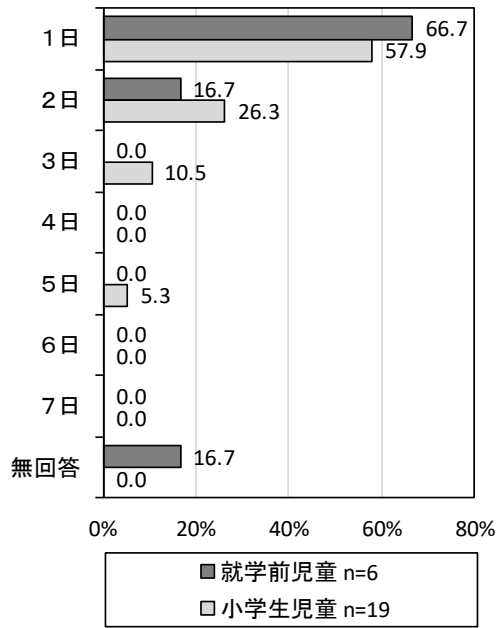


■児童センター

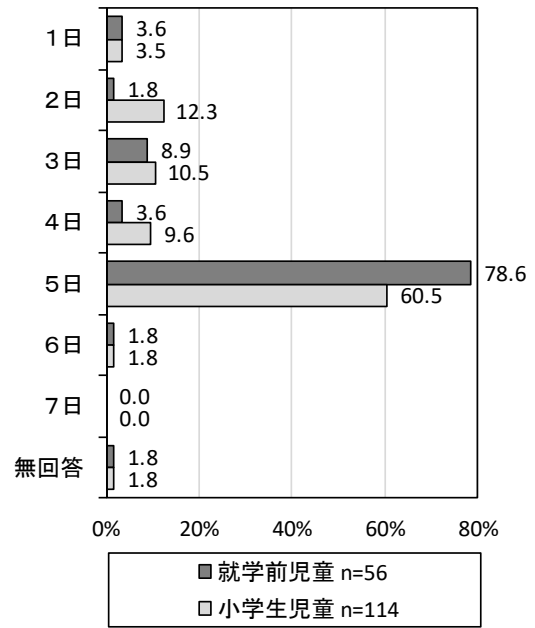


## II 調査結果

### ■放課後子ども教室



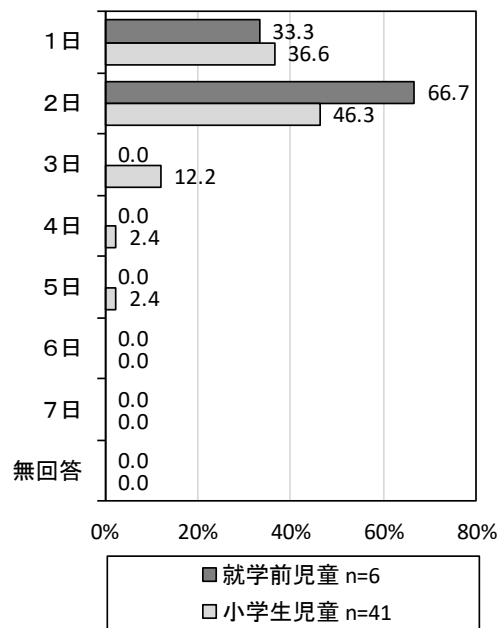
### ■放課後児童クラブ



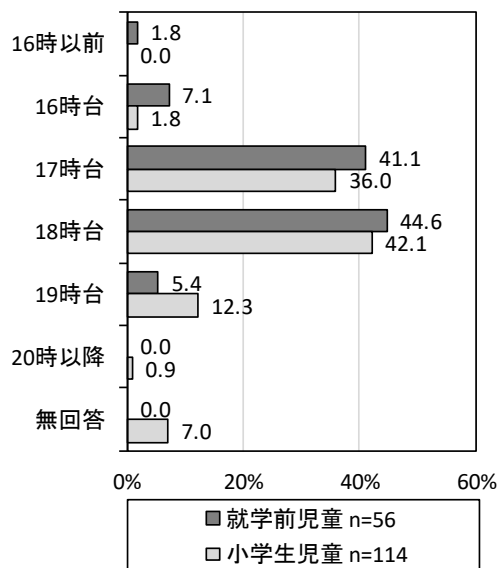
### ■ファミリー・サポート・センター

	就学前児童 n=2		小学生児童 n=1	
	件数	%	件数	%
1日	1	50.0	0	0.0
2日	0	0.0	0	0.0
3日	1	50.0	0	0.0
4日	0	0.0	0	0.0
5日	0	0.0	0	0.0
6日	0	0.0	0	0.0
7日	0	0.0	1	100.0
無回答	0	0.0	0	0.0

### ■その他



【放課後児童クラブを利用したい時間（何時まで）】



居住地区別にみると、就学前児童については、「自宅」、「放課後児童クラブ」の割合が高くなっていますが、地区によって傾向が異なります。小学生児童については、すべての地区で「自宅」が最も高く、その他、「習い事」、「放課後児童クラブ」の割合が高くなっています。

■居住地区別 低学年の放課後の過ごさせ方の希望（就学前児童）

項目		回答者数 (n値)	自宅	祖父母宅 や友人・知 人宅	習い事(ピ アノ教室、 サッカーク ラブ、学習 塾など)	児童セン ター	放課後子ど も教室	放課後児 童クラブ (学童保 育)	ファミリー・ サポート・ センター	その他(公 民館、公園 など)	無回答
居住地区別	氏家小学校	45	40.0	8.0	28.0	12.0	12.0	68.0	4.0	4.0	4.0
	押上小学校	8	25.0	12.5	0.0	0.0	0.0	62.5	0.0	0.0	0.0
	熟田小学校	4	50.0	0.0	0.0	0.0	0.0	50.0	0.0	0.0	0.0
	上松山小学校	35	54.5	4.5	22.7	9.1	4.5	45.5	4.5	13.6	0.0
	南小学校	41	44.8	13.8	20.7	6.9	3.4	48.3	0.0	3.4	0.0
	喜連川小学校	33	57.1	14.3	33.3	4.8	4.8	38.1	0.0	4.8	0.0

■居住地区別 低学年の放課後の過ごさせ方の希望（小学生児童）

項目		回答者数 (n値)	自宅	祖父母宅 や友人・知 人宅	習い事(ピ アノ教室、 サッカーク ラブ、学習 塾など)	児童セン ター	放課後子ど も教室	放課後児 童クラブ (学童保 育)	ファミリー・ サポート・ センター	その他(公 民館、公園 など)	無回答
居住地区別	氏家小学校	131	72.5	14.5	52.7	9.9	3.1	22.1	0.0	11.5	2.3
	押上小学校	19	63.2	5.3	42.1	0.0	10.5	47.4	0.0	10.5	0.0
	熟田小学校	20	65.0	25.0	40.0	0.0	0.0	50.0	0.0	5.0	0.0
	上松山小学校	76	61.8	15.8	42.1	15.8	6.6	27.6	1.3	9.2	1.3
	南小学校	81	65.4	12.3	48.1	2.5	4.9	35.8	0.0	19.8	2.5
	喜連川小学校	51	72.5	19.6	58.8	3.9	7.8	29.4	0.0	7.8	0.0

## II 調査結果

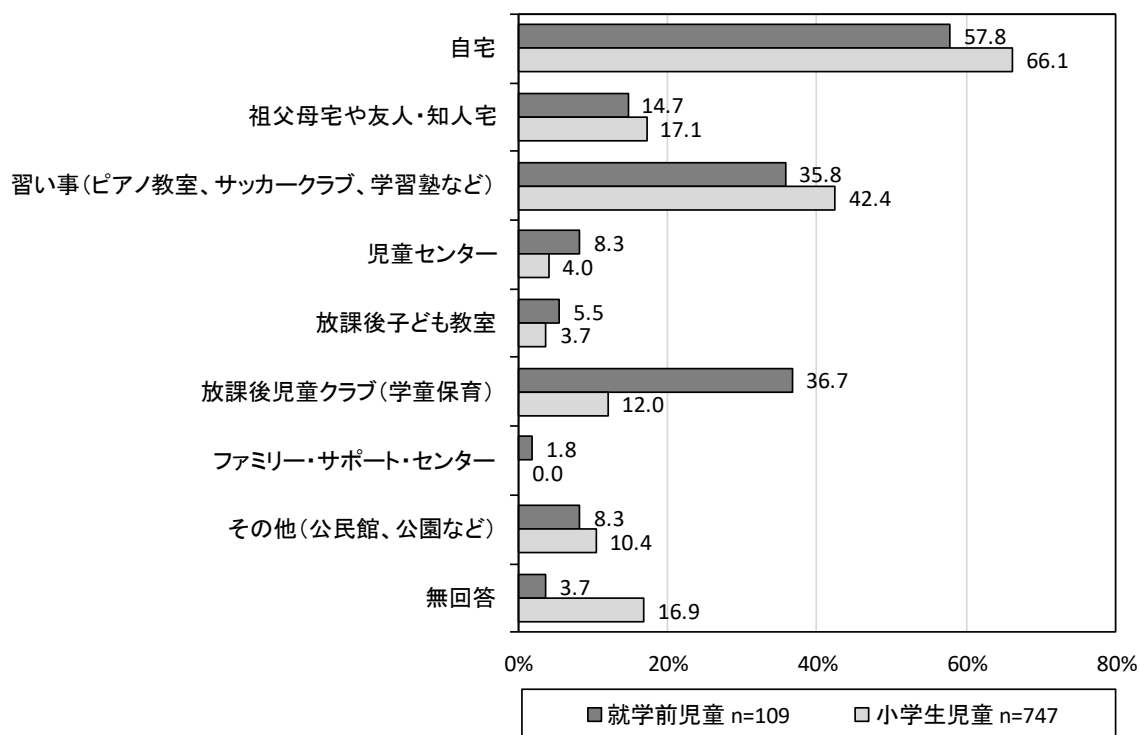
### (3) 小学校高学年(4～6年生)の期間、放課後(平日の小学校終了後)の時間をどのような場所で過ごさせたいかについて〈複数回答〉[就学前児童調査：問30、小学生児童調査：問18](2)

高学年(4～6年生)の放課後の過ごさせ方の希望について、就学前児童は「自宅」が57.8%で最も高く、次いで、「放課後児童クラブ(学童保育)」が36.7%、「習い事(ピアノ教室、サッカークラブ、学習塾など)」が35.8%となっています。

小学生児童は「自宅」が66.1%で最も高く、次いで、「習い事(ピアノ教室、サッカークラブ、学習塾など)」が42.4%、「祖父母宅や友人・知人宅」が17.1%となっています。

それぞれの1週あたりの利用希望日数については、「自宅」、「放課後児童クラブ(学童保育)」では、就学前児童、小学生児童ともに「5日」が最も高く、「習い事(ピアノ教室、サッカークラブ、学習塾など)」では、就学前児童、小学生児童ともに「2日」が最も高くなっています。「祖父母宅や友人・知人宅」では、就学前児童は「1日」、「2日」、小学生児童は「1日」が最も高くなっています。

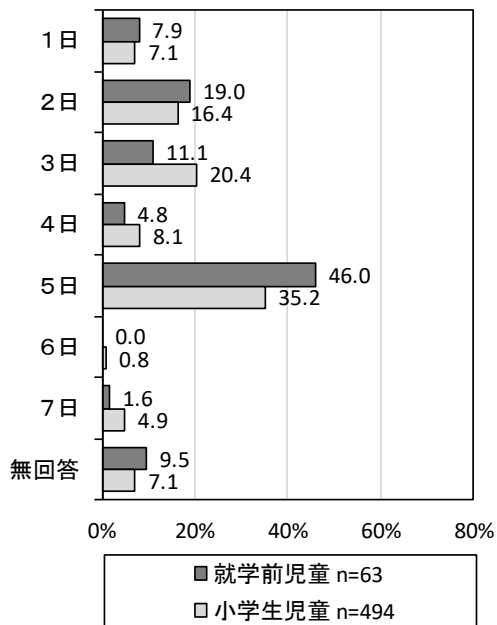
また、放課後児童クラブを何時まで利用したいかについては、「18時台」が就学前児童で52.5%、小学生児童で44.4%と最も高くなっています。



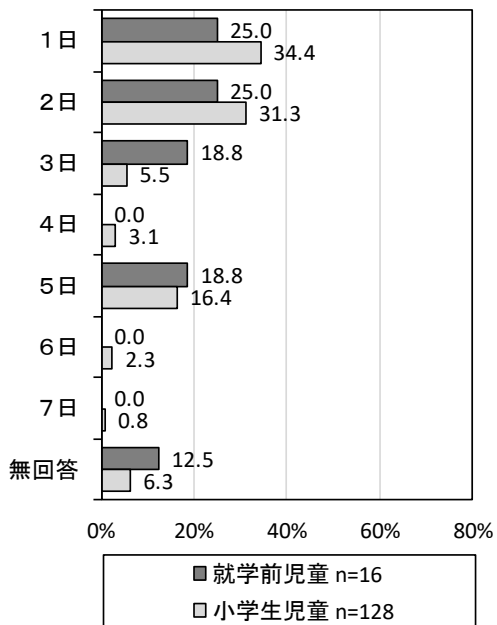


【1週あたりの利用希望日数】

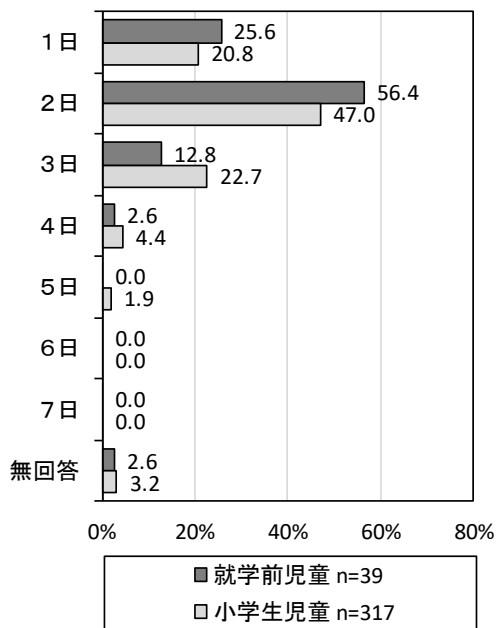
■自宅



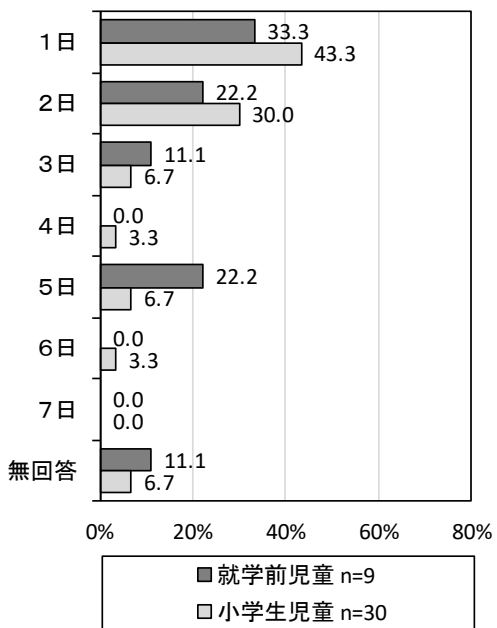
■祖父母宅や友人・知人宅



■習い事

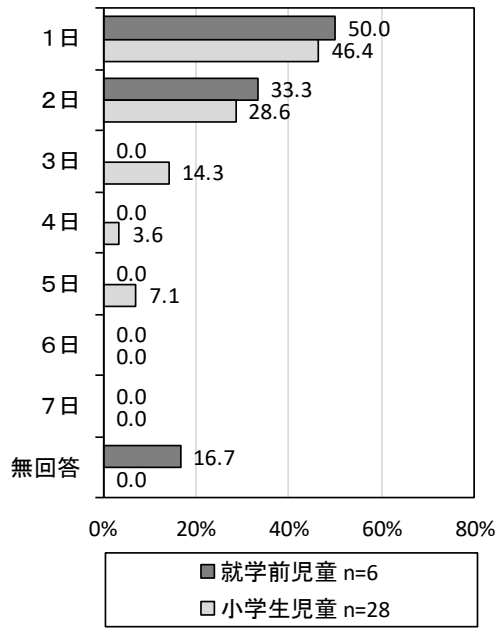


■児童センター

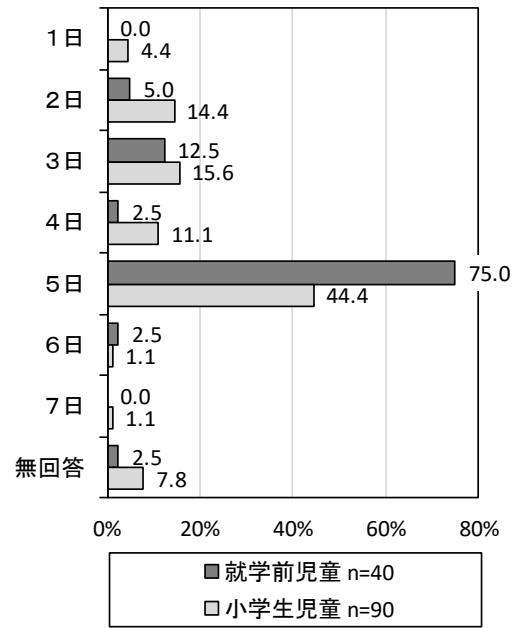


## II 調査結果

### ■放課後子ども教室



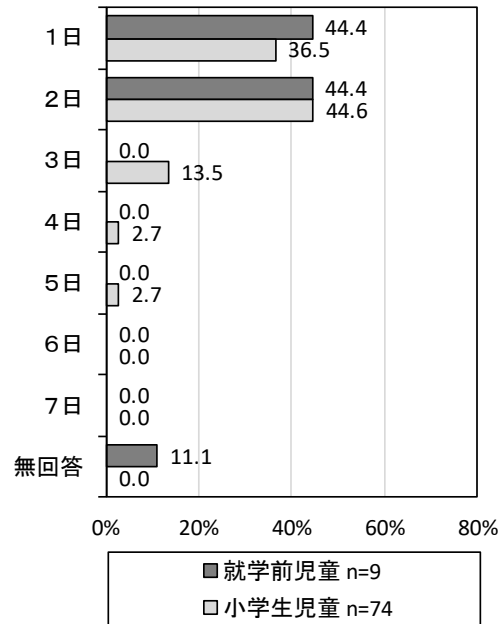
### ■放課後児童クラブ



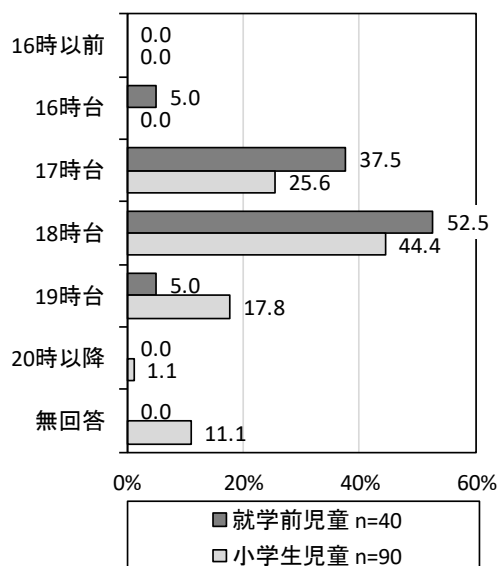
### ■ファミリー・サポート・センター

	就学前児童 n=2		小学生児童 n=0	
	件数	%	件数	%
1日	1	50.0	0	—
2日	0	0.0	0	—
3日	1	50.0	0	—
4日	0	0.0	0	—
5日	0	0.0	0	—
6日	0	0.0	0	—
7日	0	0.0	0	—
無回答	0	0.0	0	—

### ■その他



【放課後児童クラブを利用したい時間（何時まで）】



居住地区別にみると、就学前児童については、「自宅」、「習い事」、「放課後児童クラブ」の割合が高くなっていますが、地区によって傾向が異なります。小学生児童については、すべての地区で「自宅」が最も高く、次いで、「習い事」の割合が高くなっています。

■居住地区別 高学年の放課後の過ごさせ方の希望（就学前児童）

項目		回答者数 (n値)	自宅	祖父母宅 や友人・知 人宅	習い事(ピ アノ教室、 サッカーク ラブ、学習 塾など)	児童セン ター	放課後子ど も教室	放課後児 童クラブ (学童保 育)	ファミリー サポート センター	その他(公 民館、公園 など)	無回答
居住地区別	氏家小学校	25	64.0	8.0	32.0	16.0	12.0	40.0	0.0	12.0	8.0
	押上小学校	8	25.0	12.5	0.0	0.0	0.0	62.5	0.0	0.0	0.0
	熟田小学校	4	25.0	0.0	50.0	0.0	25.0	50.0	25.0	0.0	0.0
	上松山小学校	22	59.1	9.1	31.8	13.6	4.5	36.4	4.5	13.6	9.1
	南小学校	29	65.5	24.1	44.8	0.0	0.0	27.6	0.0	6.9	0.0
	喜連川小学校	21	57.1	19.0	42.9	9.5	4.8	33.3	0.0	4.8	0.0

■居住地区別 高学年の放課後の過ごさせ方の希望（小学生児童）

項目		回答者数 (n値)	自宅	祖父母宅 や友人・知 人宅	習い事(ピ アノ教室、 サッカーク ラブ、学習 塾など)	児童セン ター	放課後子ど も教室	放課後児 童クラブ (学童保 育)	ファミリー サポート センター	その他(公 民館、公園 など)	無回答
居住地区別	氏家小学校	265	70.6	20.8	47.2	4.9	2.6	9.8	0.0	10.9	15.1
	押上小学校	52	69.2	7.7	36.5	0.0	7.7	15.4	0.0	7.7	13.5
	熟田小学校	45	64.4	17.8	37.8	0.0	2.2	20.0	0.0	6.7	17.8
	上松山小学校	134	59.0	16.4	38.1	7.5	2.2	13.4	0.0	9.7	17.2
	南小学校	139	60.4	15.8	42.4	0.7	5.0	15.1	0.0	10.8	23.0
	喜連川小学校	109	71.6	14.7	40.4	5.5	5.5	6.4	0.0	11.9	14.7

## II 調査結果

### (2)、(3)で「放課後児童クラブ(学童保育)」を選択した方

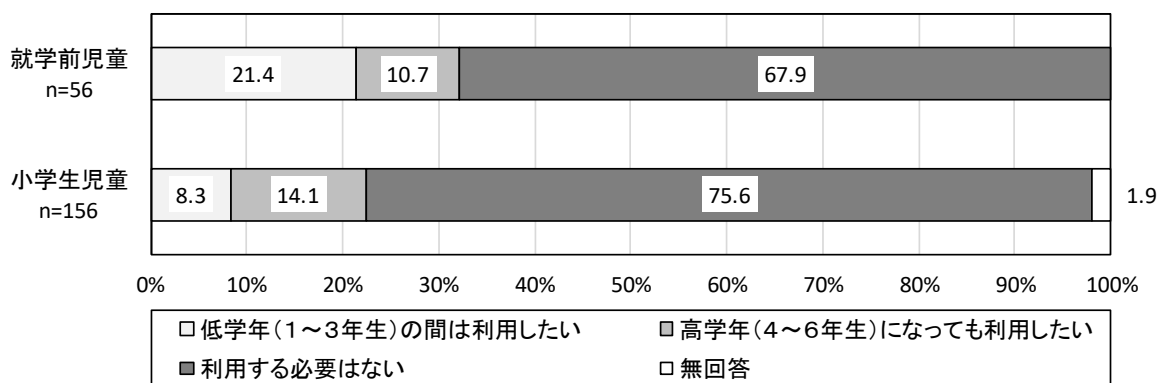
#### (4) 土曜日と日曜日・祝日における放課後児童クラブの利用希望〈単数回答〉

[就学前児童調査：問 31、小学生児童調査：18-1]

##### ①土曜日

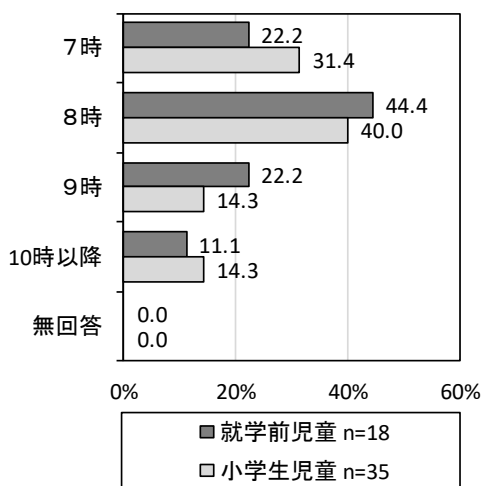
土曜日の利用希望については、「利用する必要はない」が就学前児童で67.9%、小学生児童で75.6%と最も高く、次いで、就学前児童は「低学年(1~3年生)の間は利用したい」が21.4%、小学生児童は「高学年(4~6年生)になっても利用したい」が14.1%となっています。

また、利用したい時間帯について、希望の利用開始時間は「8時」が就学前児童で44.4%、小学生児童で40.0%と最も高く、希望の利用終了時間は「18時」が就学前児童で44.4%、小学生児童で48.6%と最も高くなっています。

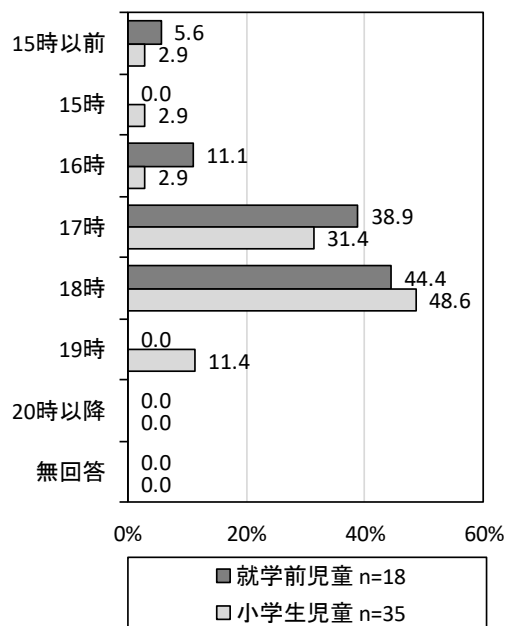


#### 【利用したい時間帯】

##### ■希望利用開始時間



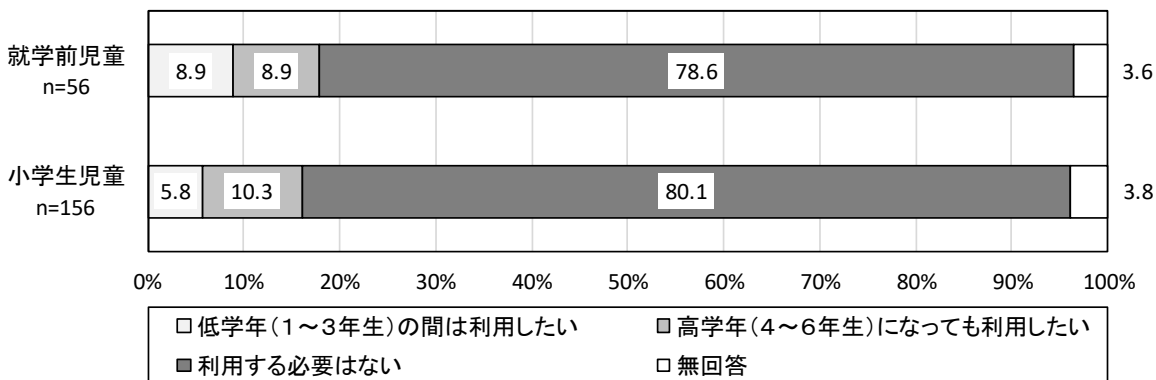
##### ■希望利用終了時間



②日曜日・祝日

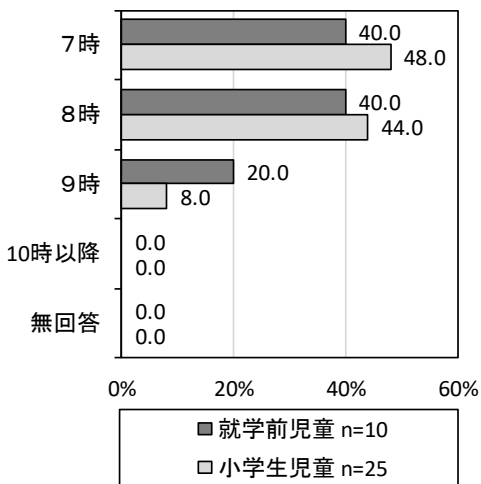
日曜日・祝日の利用希望については、「利用する必要はない」が就学前児童で78.6%、小学生児童で80.1%と最も高く、次いで、就学前児童は「低学年（1～3年生）の間は利用したい」、「高学年（4～6年生）になっても利用したい」が8.9%、小学生児童は「高学年（4～6年生）になっても利用したい」が10.3%となっています。

また、利用したい時間帯について、希望の利用開始時間は、就学前児童では「7時」、「8時」が40.0%で最も高く、小学生児童では「7時」が48.0%で最も高くなっています。希望の利用終了時間は「18時」が就学前児童で50.0%、小学生児童で40.0%と最も高くなっています。

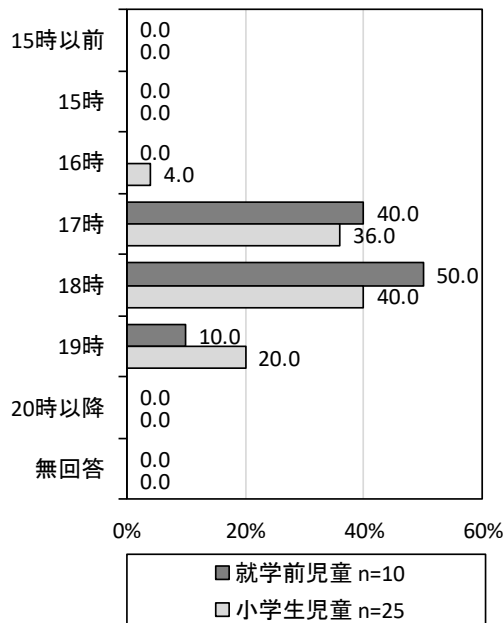


【利用したい時間帯】

■希望利用開始時間



■希望利用終了時間



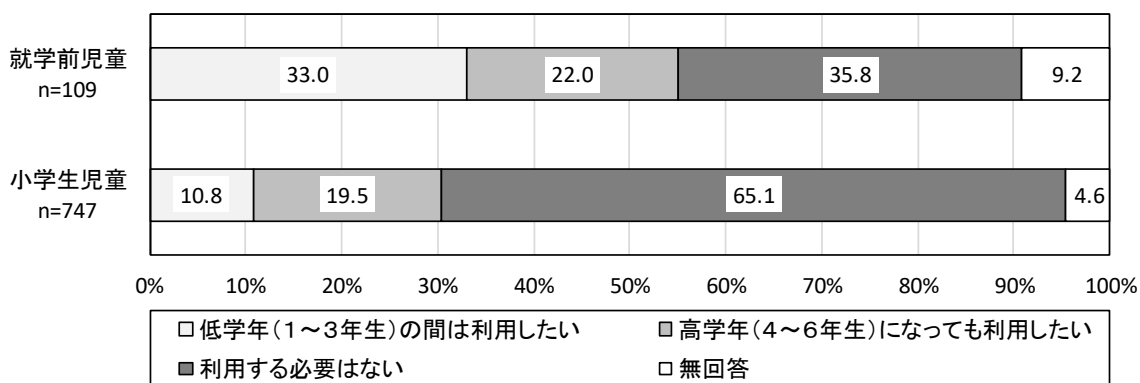
## II 調査結果

### (5) 子どもの夏休み・冬休みなどの長期の休暇中の学童保育の利用希望〈単数回答〉

〔就学前児童調査：問 32、小学生児童調査：問 19〕

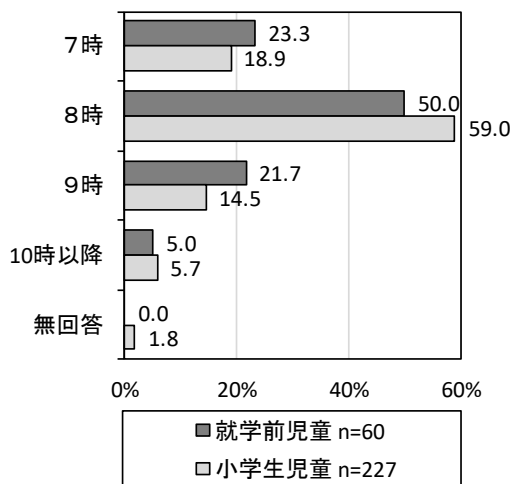
夏休み・冬休みなどの長期休暇中の利用希望については、「利用する必要はない」が就学前児童で 35.8%、小学生児童で 65.1%と最も高く、次いで、就学前児童は「低学年（1～3年生）の間は利用したい」が 33.0%、小学生児童は「高学年（4～6年生）になっても利用したい」が 19.5%となっています。

また、利用したい時間帯について、希望の利用開始時間は「8時」が就学前児童で 50.0%、小学生児童で 59.0%と最も高く、希望の利用終了時間は「18時」が就学前児童で 46.7%、小学生児童で 43.2%と最も高くなっています。

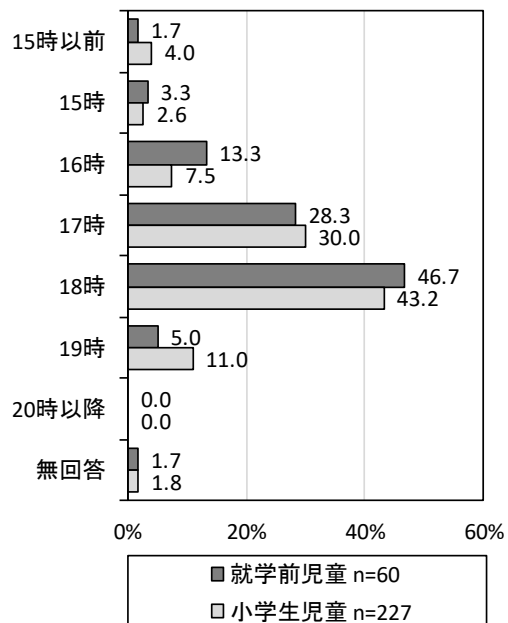


### 【利用したい時間帯】

#### ■希望利用開始時間

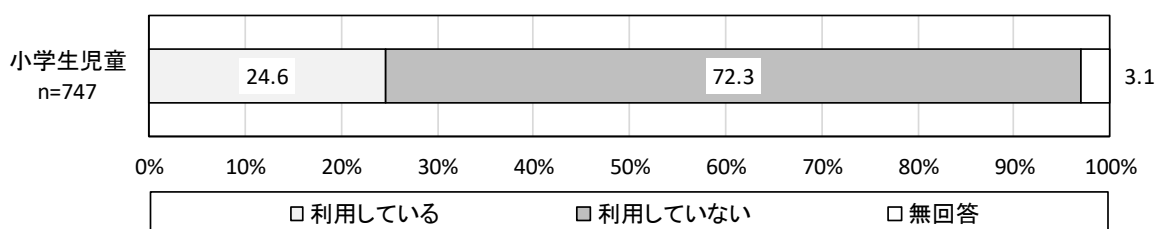


#### ■希望利用終了時間



**(6) 児童センターの利用状況〈単数回答〉[就学前児童調査：一、小学生児童調査：問 20]**

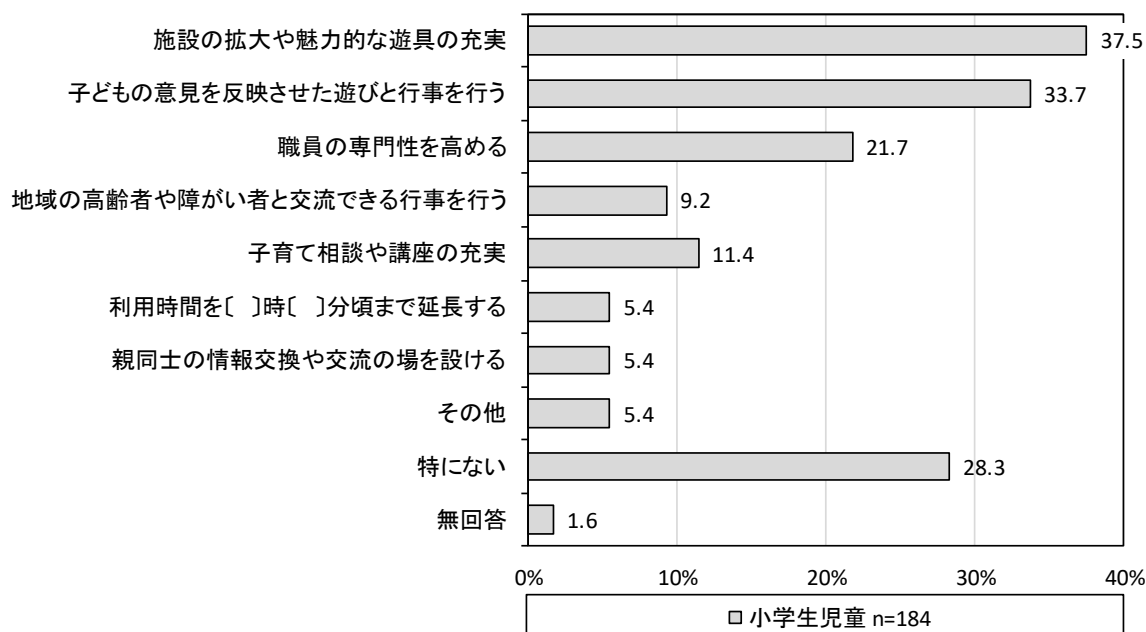
児童センターの利用状況については、「利用している」が 24.6%、「利用していない」が 72.3% となっています。



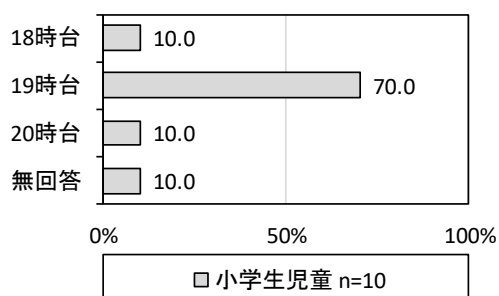
**(6) で「利用している」を選択した方**

**(7) 児童センターに対する要望〈複数回答〉[就学前児童調査：一、小学生児童調査：問 20-1]**

児童センターに対する要望については、「施設の拡大や魅力的な遊具の充実」が 37.5% で最も高く、次いで、「子どもの意見を反映させた遊びと行事を行う」が 33.7%、「特にない」が 28.3% となっています。



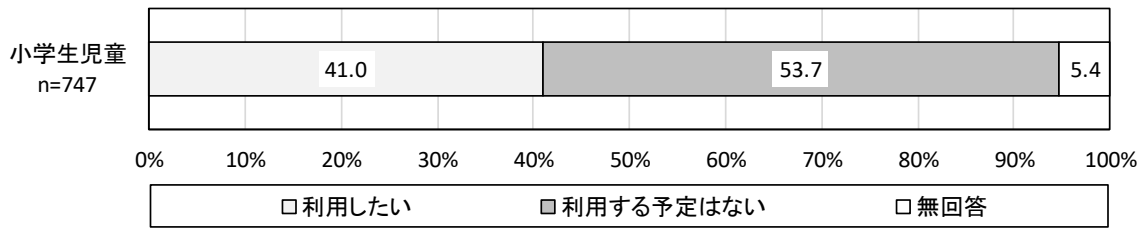
**■利用時間を〔 〕時〔 〕分頃まで延長する**



## II 調査結果

### (8) 児童センターの今後の利用希望〈単数回答〉〔就学前児童調査：一、小学生児童調査：問 21〕

児童センターの利用希望については、「利用したい」が41.0%、「利用する予定はない」が53.7%となっています。





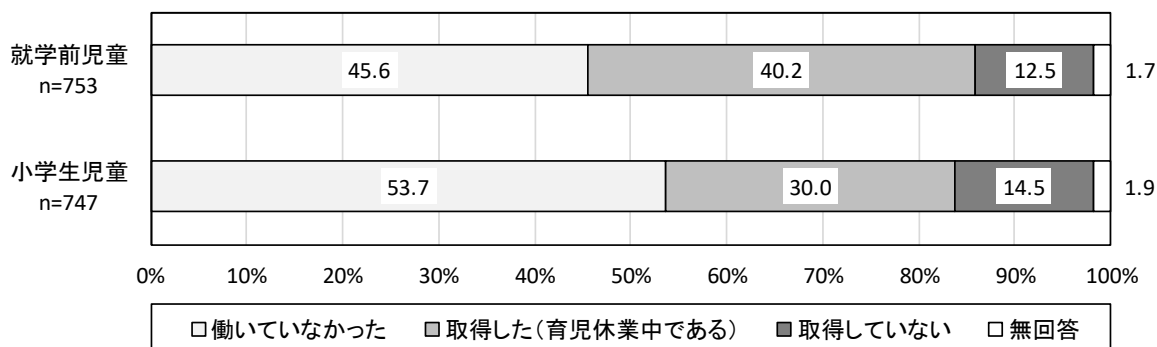
## 10. 育児休業や短時間勤務制度など 職場の両立支援制度について

### (1) 子どもが生まれた時、育児休業を取得したかについて〈単数回答〉

[就学前児童調査：問 33、小学生児童調査：問 22]

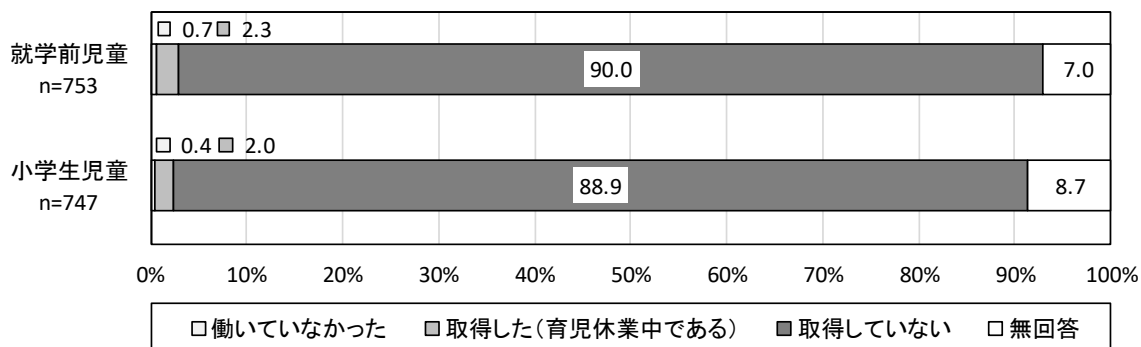
#### ①母親

母親の育児休業の取得状況については、「働いていなかった」が就学前児童で 45.6%、小学生児童で 53.7%と最も高く、次いで、「取得した（育児休業中である）」が就学前児童で 40.2%、小学生児童で 30.0%となっています。



#### ②父親

父親の育児休業の取得状況については、「取得していない」が就学前児童で 90.0%、小学生児童で 88.9%と最も高く、次いで、「取得した（育児休業中である）」が就学前児童で 2.3%、小学生児童で 2.0%となっています。

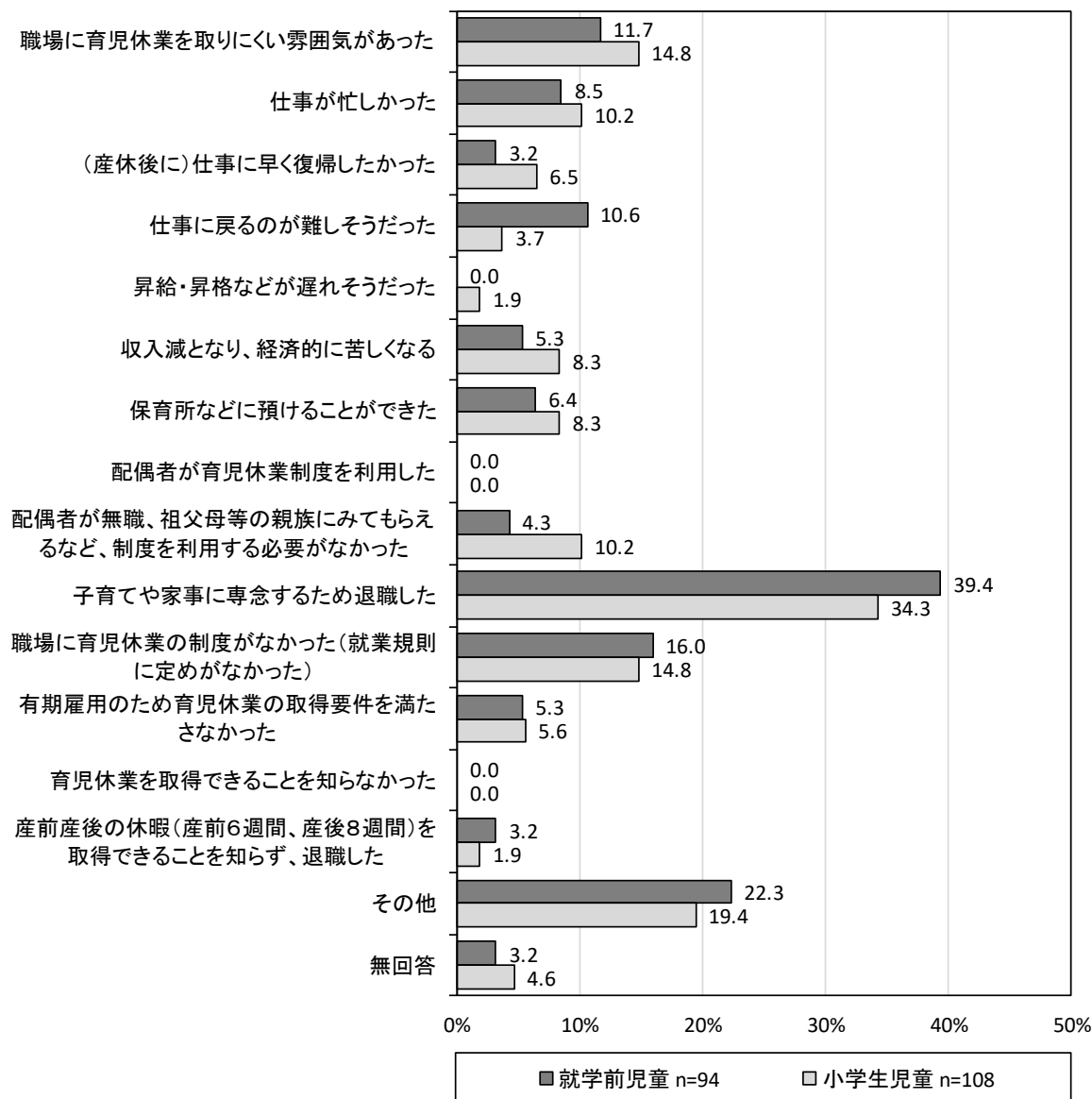


## II 調査結果

### 【育児休業を取得していない理由〈複数回答〉】

#### ①母親

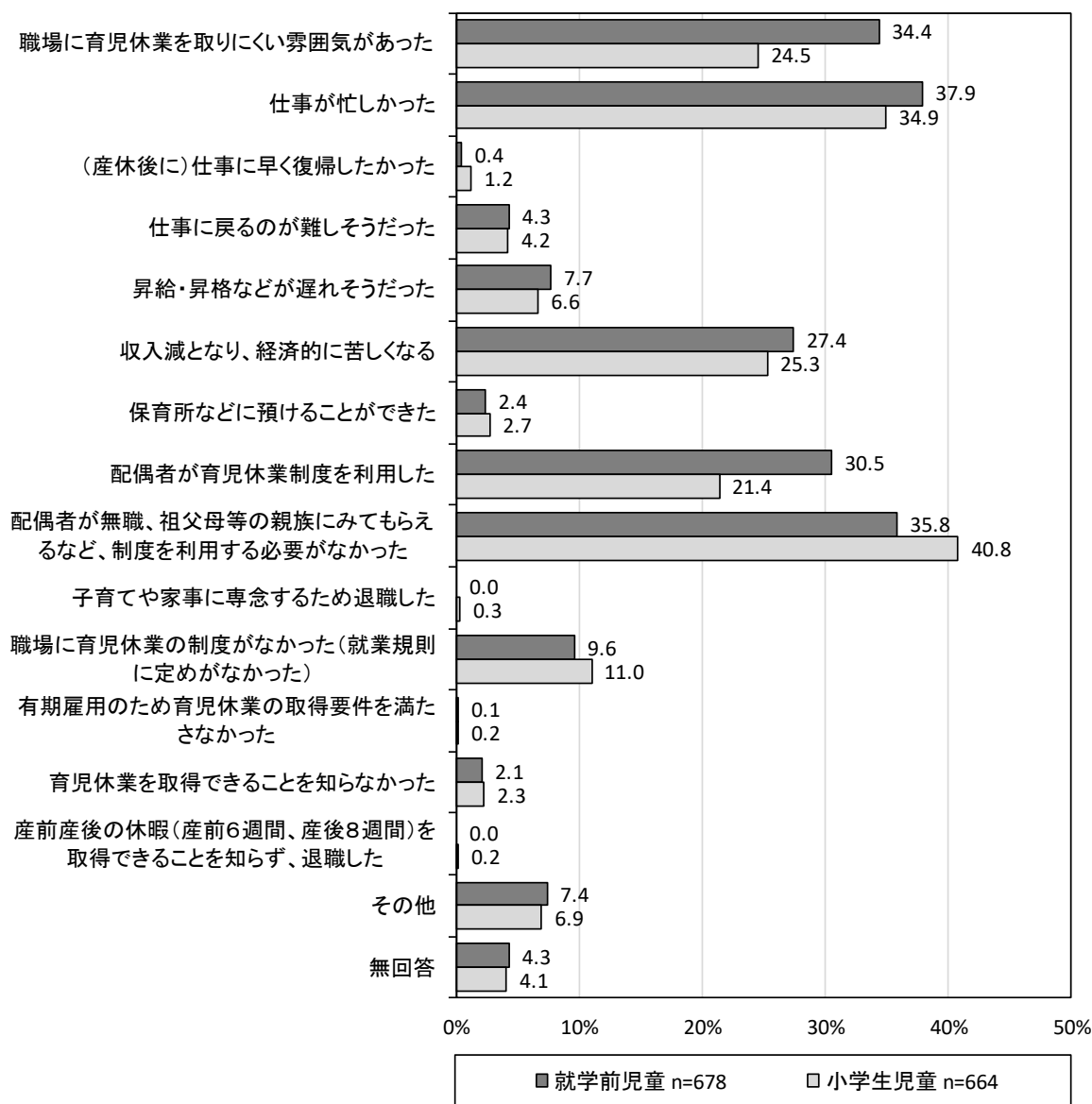
母親の育児休業を取得していない理由については、「子育てや家事に専念するため退職した」が就学前児童で 39.4%、小学生児童で 34.3%と最も高く、次いで、「その他」が就学前児童で 22.3%、小学生児童で 19.4%となっています。



②父親

父親の育児休業を取得していない理由について、就学前児童は「仕事が忙しかった」が37.9%で最も高く、次いで、「配偶者が無職、祖父母等の親族にみてもらえるなど、制度を利用する必要がなかった」が35.8%となっています。

小学生児童は「配偶者が無職、祖父母等の親族にみてもらえるなど、制度を利用する必要がなかった」が40.8%で最も高く、次いで、「仕事が忙しかった」が34.9%となっています。



## II 調査結果

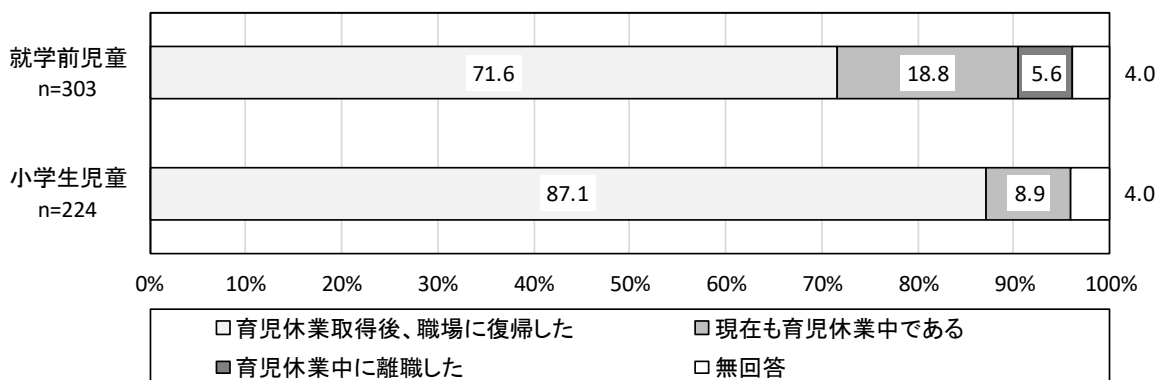
### (1)で「取得した(育児休業中である)」を選択した方

#### (2) 育児休業取得後、職場に復帰したか〈単数回答〉

[就学前児童調査：問 33-1、小学生児童調査：問 22-1]

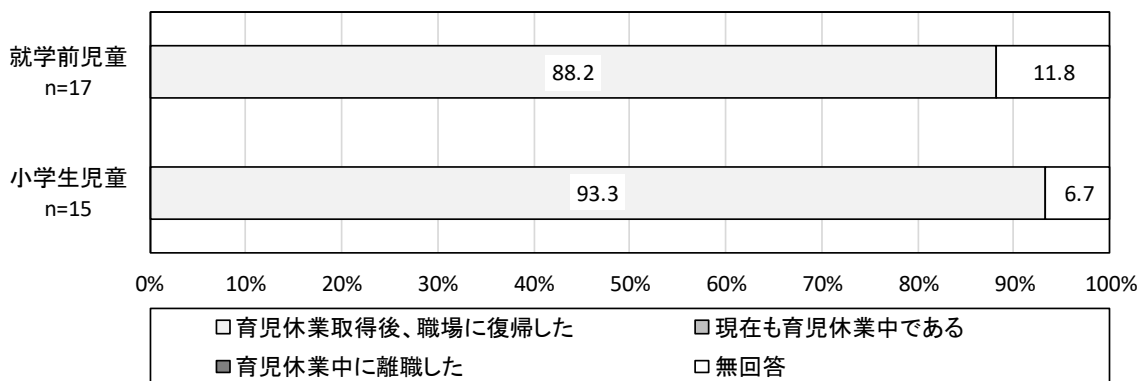
#### ①母親

母親の育児休業取得後の職場復帰については、「育児休業取得後、職場に復帰した」が就学前児童で71.6%、小学生児童で87.1%と最も高く、次いで、「現在も育児休業中である」が就学前児童で18.8%、小学生児童で8.9%となっています。



#### ②父親

父親の育児休業取得後の職場復帰については、「育児休業取得後、職場に復帰した」が就学前児童で88.2%、小学生児童で93.3%となっています。



(2)で「育児休業取得後、職場に復帰した」を選択した方

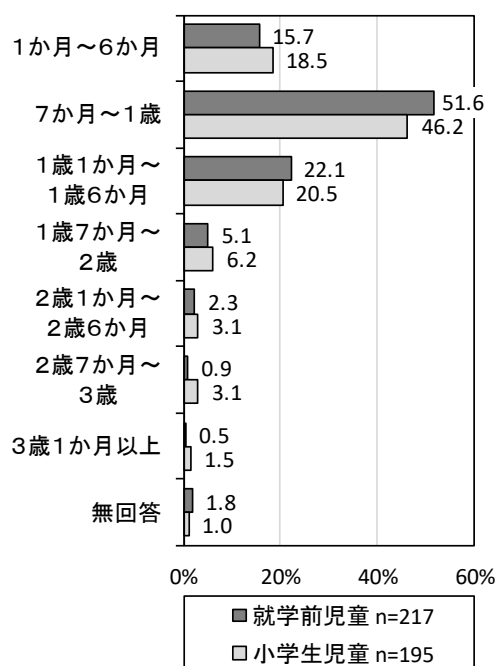
(3) 実際と希望の職場復帰時期〈数量回答〉[就学前児童調査：問 33-2、小学生児童調査：問 22-2]

①母親

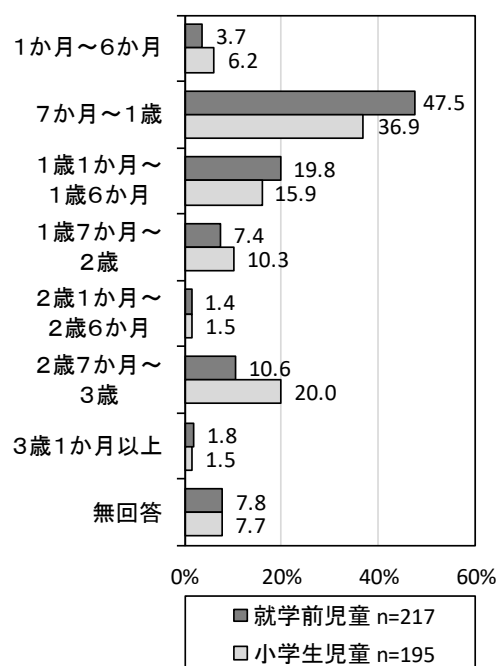
母親の育児休業取得後の復帰時期については、実際の復帰時期は「7か月～1歳」が就学前児童で51.6%、小学生児童で46.2%と最も高く、次いで、「1歳1か月～1歳6か月」が就学前児童で22.1%、小学生児童で20.5%となっています。

希望の復帰時期は「7か月～1歳」が就学前児童で47.5%、小学生児童で36.9%と最も高く、次いで、就学前児童は「1歳1か月～1歳6か月」が19.8%、小学生児童は「2歳7か月～3歳」が20.0%となっています。

■実際の復帰時期



■希望の復帰時期

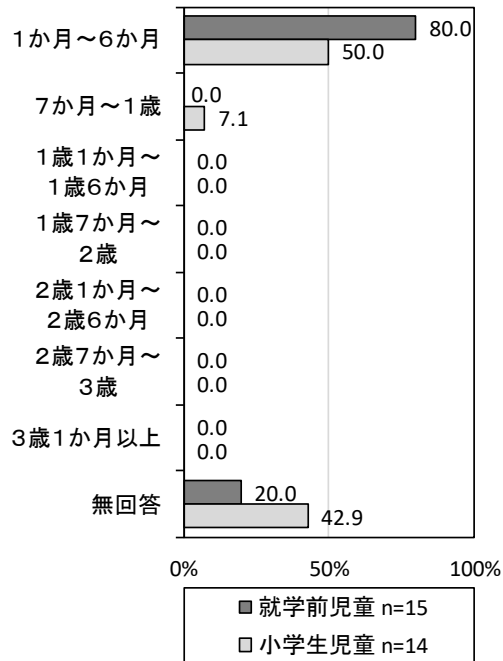


## II 調査結果

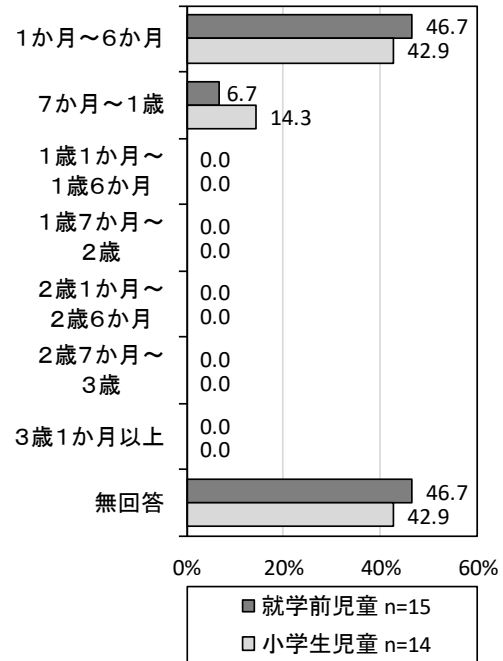
### ②父親

父親の育児休業取得後の復帰時期については、就学前児童と小学生児童の実際の復帰時期と希望の復帰時期はともに「1か月～6か月」が最も高くなっています。

#### ■実際の復帰時期



#### ■希望の復帰時期



**(3)で「実際の復帰時期」と「希望の復帰時期」が異なる方**

**(4)「希望」より早く復帰した理由・「希望」より遅く復帰した理由〈複数回答〉**

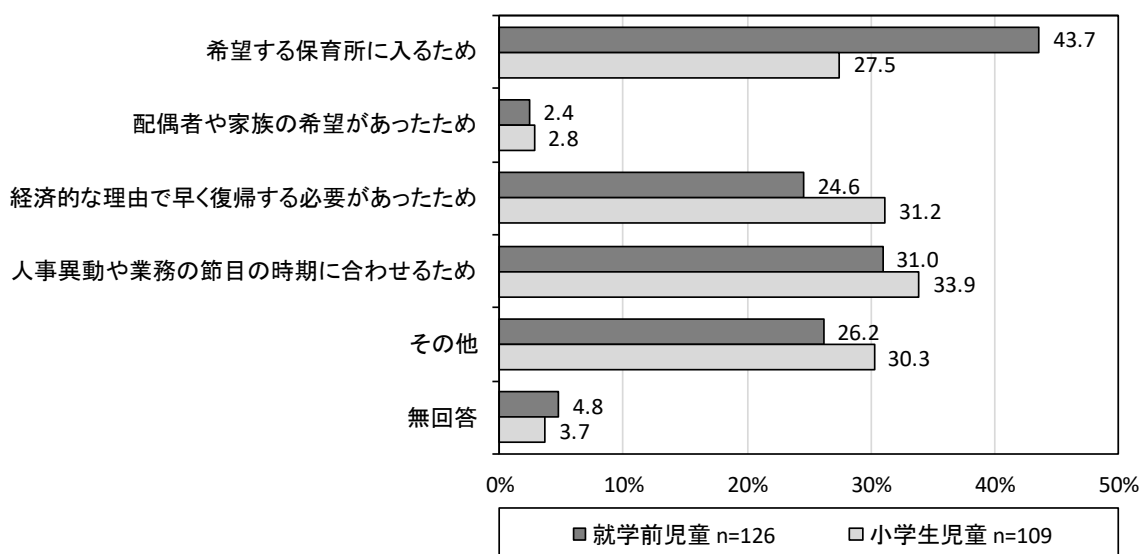
[就学前児童調査：問 33-3、小学生児童調査：問 22-3]

**【希望より早く復帰した理由】**

**①母親**

母親が希望より早く職場復帰した理由について、就学前児童は「希望する保育所に入るため」が43.7%で最も高く、次いで、「人事異動や業務の節目の時期に合わせるため」が31.0%となっています。

小学生児童は「人事異動や業務の節目の時期に合わせるため」が33.9%で最も高く、次いで、「経済的な理由で早く復帰する必要があるため」が31.2%となっています。



**②父親**

父親が希望より早く職場復帰した理由について、就学前児童は該当する回答者2人のうち、有効な回答はありませんでした。

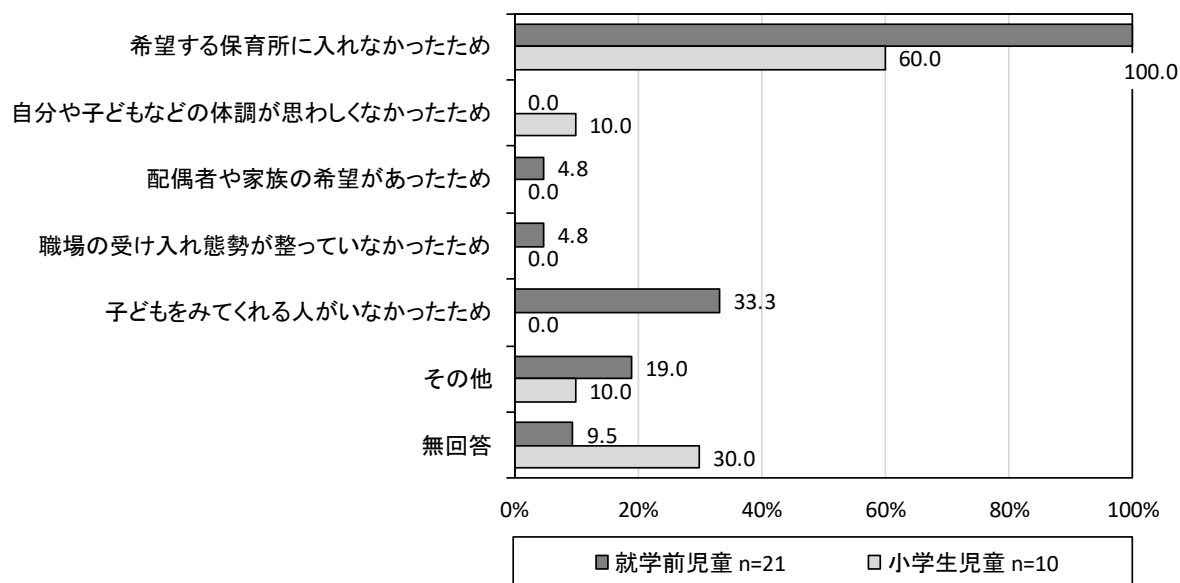
小学生児童は該当する回答者4人のうち、「人事異動や業務の節目の時期に合わせるため」、「その他」がそれぞれ2人となっています。

## II 調査結果

### 【希望より遅く復帰した理由】

#### ①母親

母親が希望より遅く職場復帰した理由については、「希望する保育所に入れなかったため」が就学前児童で100.0%、小学生児童で60.0%と最も高く、次いで、就学前児童は「子どもをみてくれる人がいなかったため」が33.3%、小学生児童は「自分や子どもなどの体調が思わしくなかったため」、「その他」が10.0%となっています。



#### ②父親

父親が希望より遅く職場復帰した理由については、就学前児童、小学生児童ともに該当する回答者はいませんでした。

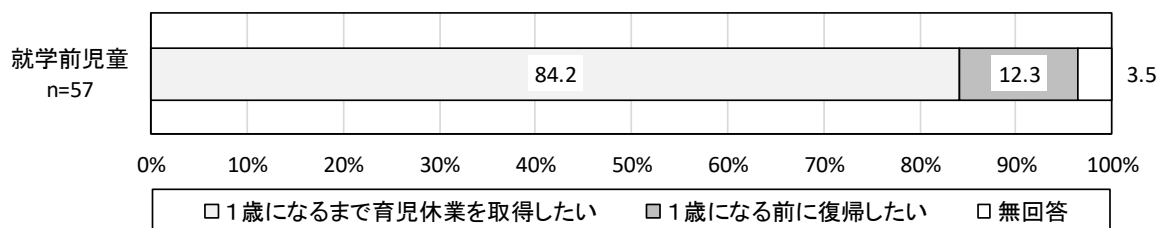


**(2)で「現在も育児休業中である」を選択した方**

**(5)子どもが1歳になったときに必ず利用できる事業があれば、1歳になるまで育児休業を取得するか  
〈単数回答〉[就学前児童調査：問 33-4、小学生児童調査：一]**

**①母親**

母親が、子どもが1歳になったときに必ず利用できる事業があれば、1歳になるまで育児休業を取得するかについては、「1歳になるまで育児休業を取得したい」が84.2%、「1歳になる前に復帰したい」が12.3%となっています。



**②父親**

父親が、子どもが1歳になったときに必ず利用できる事業があれば、1歳になるまで育児休業を取得するかについては、該当する回答者はいませんでした。

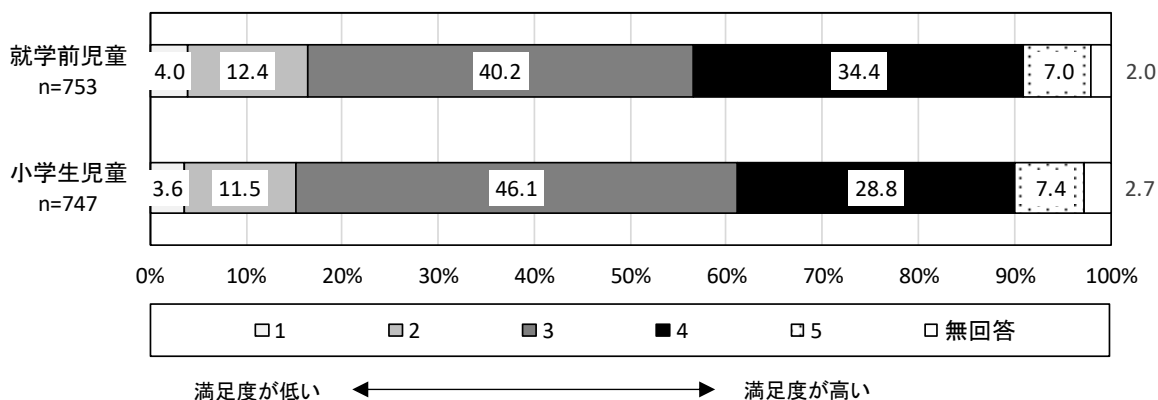
## 11. 子育て全般について

### (1) 居住地域における子育ての環境や支援への満足度〈単数回答〉

〔就学前児童調査：問 34、小学生児童調査：問 23〕

お住まいの地域における子育ての環境や支援への満足度については、「3」が就学前児童で40.2%、小学生児童で46.1%と最も高く、次いで、「4」が就学前児童で34.4%、小学生児童で28.8%となっています。

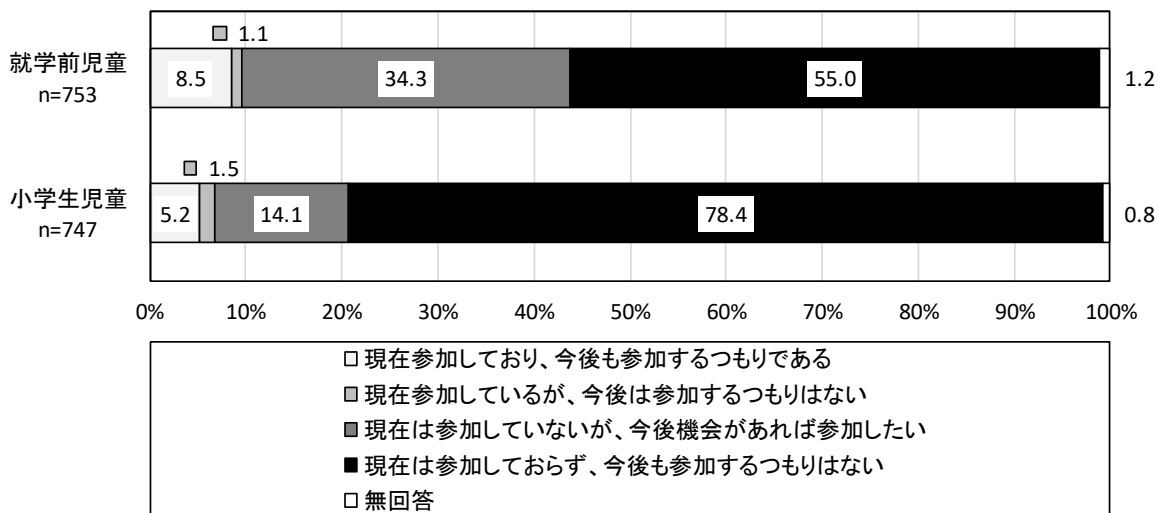
「4」と「5」を合わせた『満足度が高い』は就学前児童で41.4%、小学生児童で36.2%となっており、「1」と「2」を合わせた『満足度が低い』は就学前児童で16.4%、小学生児童で15.1%となっています。



### (2) 子育てサークルなどの自主的なグループ活動などへの参加状況〈単数回答〉

〔就学前児童調査：問 35、小学生児童調査：問 24〕

自主的なグループ活動などへの参加状況については、「現在は参加しておらず、今後も参加するつもりはない」が就学前児童で55.0%、小学生児童で78.4%と最も高く、次いで、「現在は参加していないが、今後機会があれば参加したい」が就学前児童で34.3%、小学生児童で14.1%となっています。



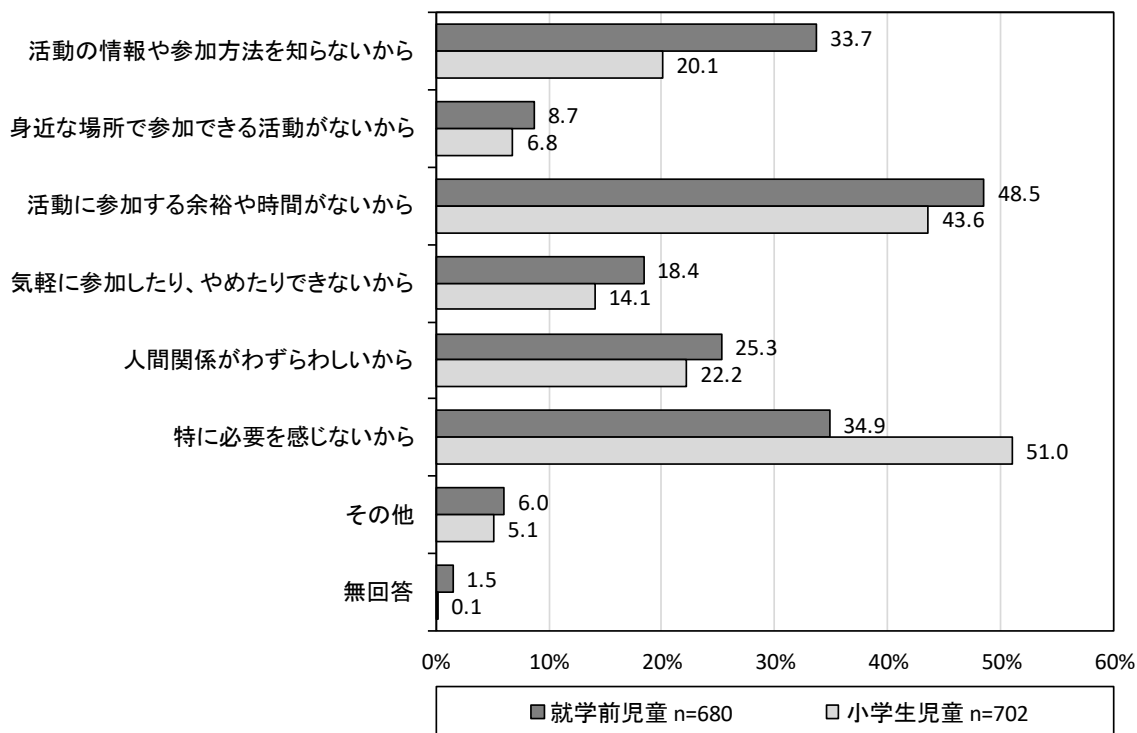
(2)で「現在参加しており、今後も参加するつもりである」以外を選択した方

(3) 参加していない理由、または今後参加しない理由〈複数回答〉

[就学前児童調査：問 35-1、小学生児童調査：問 24-1]

自主的なグループ活動などへ参加していない、または、今後参加しない理由について、就学前児童は「活動に参加する余裕や時間がないから」が48.5%で最も高く、次いで、「特に必要を感じないから」が34.9%となっています。

小学生児童は「特に必要を感じないから」が51.0%で最も高く、次いで、「活動に参加する余裕や時間がないから」が43.6%となっています。

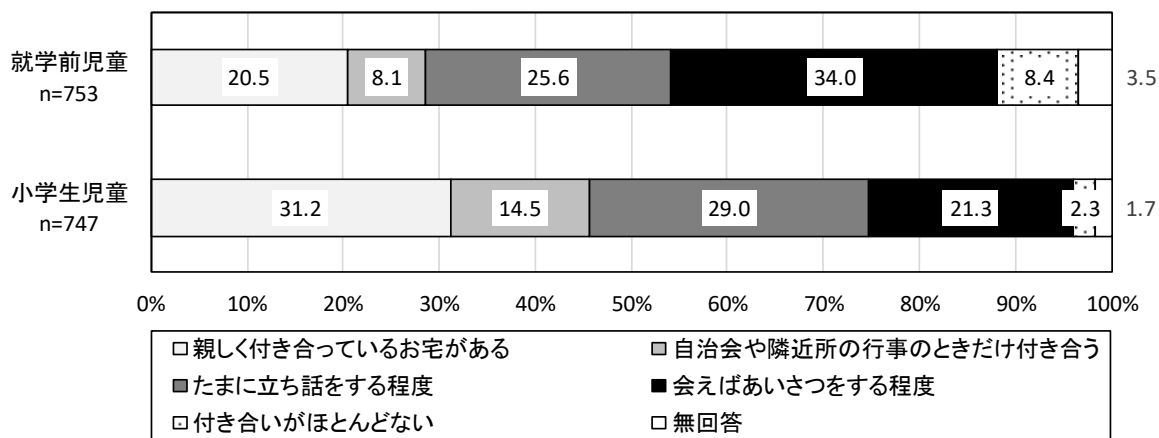


## II 調査結果

### (4) どの程度の近所付き合いをしているか〈単数回答〉〔就学前児童調査：問 36、小学生児童調査：問 25〕

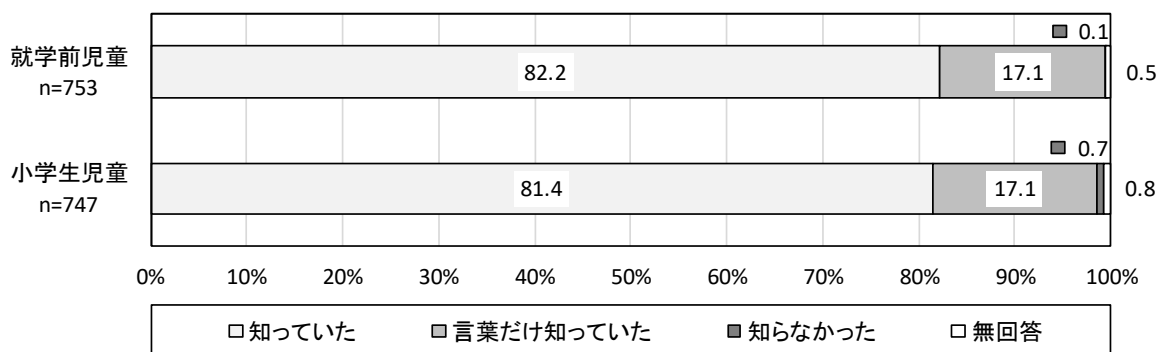
近所付き合いの程度について、就学前児童は「会えばあいさつをする程度」が 34.0%で最も高く、次いで、「たまに立ち話をする程度」が 25.6%となっています。

小学生児童は「親しく付き合っているお宅がある」が 31.2%で最も高く、次いで、「たまに立ち話をする程度」が 29.0%となっています。



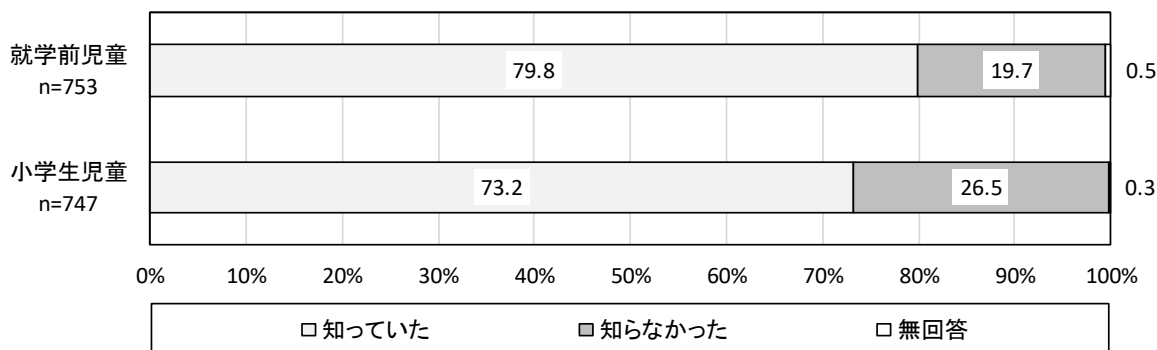
### (5) 発達障害についての認知度〈単数回答〉〔就学前児童調査：問 37、小学生児童調査：問 26〕

発達障害についての認知度については、「知っていた」が就学前児童で 82.2%、小学生児童で 81.4%と最も高く、次いで、「言葉だけ知っていた」が就学前児童、小学生児童ともに 17.1%となっています。



**(6) 虐待を受けたと思われる、または疑いのある児童を発見した際、市役所や児童相談所へ知らせる義務に関する認知度〈単数回答〉[就学前児童調査：問 38、小学生児童調査：問 27]**

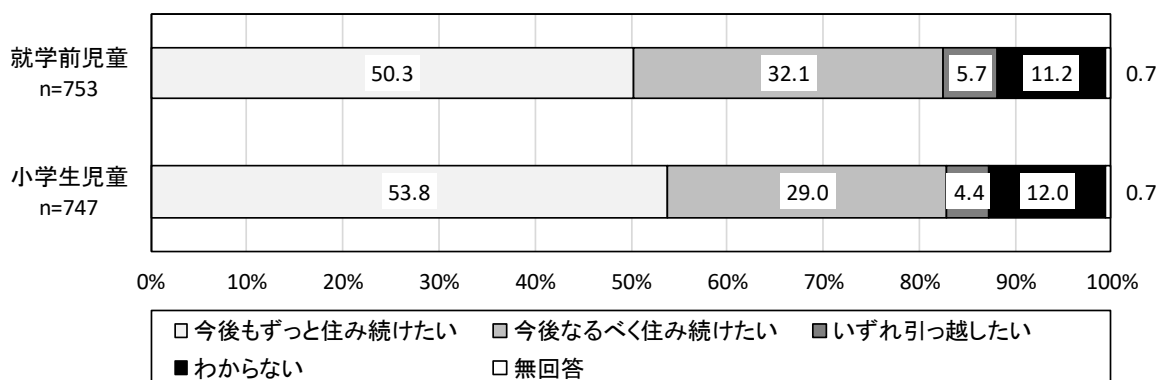
虐待を受けたと思われる、または疑いのある児童を発見した際、市役所や児童相談所へ知らせる義務に関する認知度については、「知っていた」が就学前児童で 79.8%、小学生児童で 73.2%となっており、「知らなかった」が就学前児童で 19.7%、小学生児童で 26.5%となっています。



**(7) 今後もさくら市に住み続けたいか〈単数回答〉[就学前児童調査：問 39、小学生児童調査：問 28]**

今後もさくら市に住み続けたいと思うかについては、「今後もずっと住み続けたい」が就学前児童で 50.3%、小学生児童で 53.8%と最も高く、次いで、「今後なるべく住み続けたい」が就学前児童で 32.1%、小学生児童で 29.0%となっています。

なお、「今後もずっと住み続けたい」と「今後なるべく住み続けたい」を合わせた『住み続けたい』は就学前児童で 82.4%、小学生児童で 82.8%となっており、「いずれ引っ越したい」は就学前児童で 5.7%、小学生児童で 4.4%となっています。



## II 調査結果

### (8) さくら市の子育て環境について感じる現在の満足度と今後の重要度〈単数回答〉

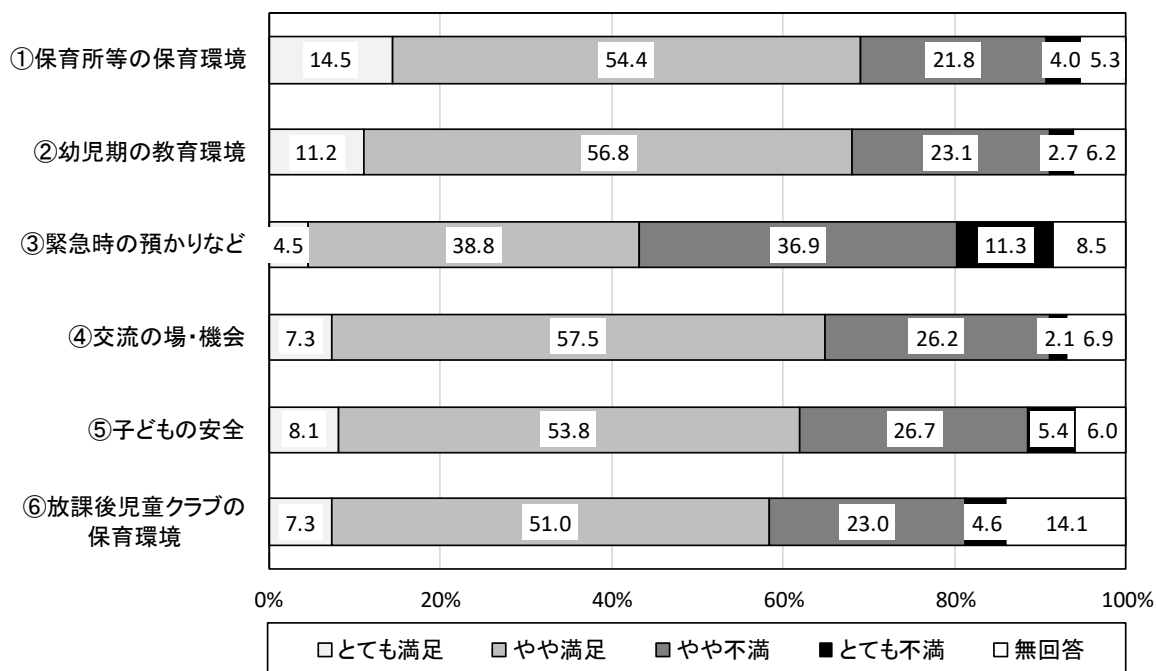
[就学前児童調査：問 40、小学生児童調査：問 29]

#### 【満足度】

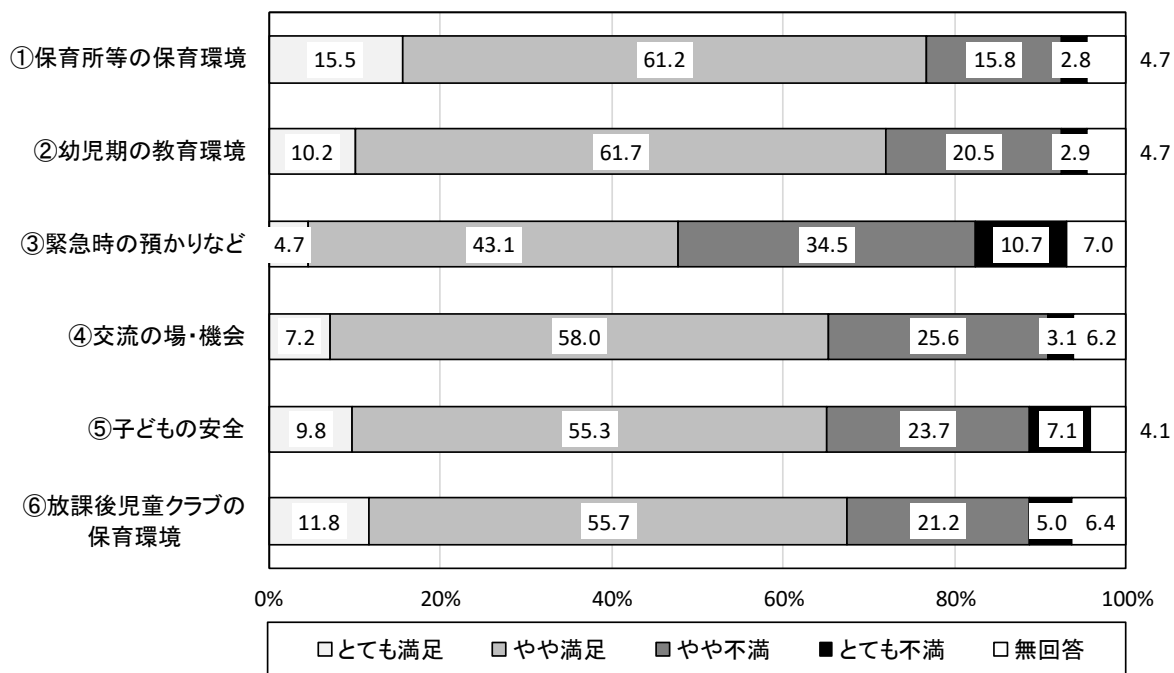
さくら市の子育て環境の満足度について、就学前児童の「とても満足」と「やや満足」を合わせた『満足』の割合をみると、「①保育所等の保育環境」が 68.9%で最も高く、次いで、「②幼児期の教育環境」が 68.0%となっています。「とても不満」と「やや不満」を合わせた『不満』の割合をみると、「③緊急時の預かりなど」が 48.2%で最も高く、次いで、「⑤子どもの安全」が 32.1%となっています。

小学生児童の「とても満足」と「やや満足」を合わせた『満足』の割合をみると、「①保育所等の保育環境」が 76.7%で最も高く、次いで、「②幼児期の教育環境」が 71.9%となっています。「とても不満」と「やや不満」を合わせた『不満』の割合をみると、「③緊急時の預かりなど」が 45.2%で最も高く、次いで、「⑤子どもの安全」が 30.8%となっています。

#### ■就学前児童



■小学生児童



## II 調査結果

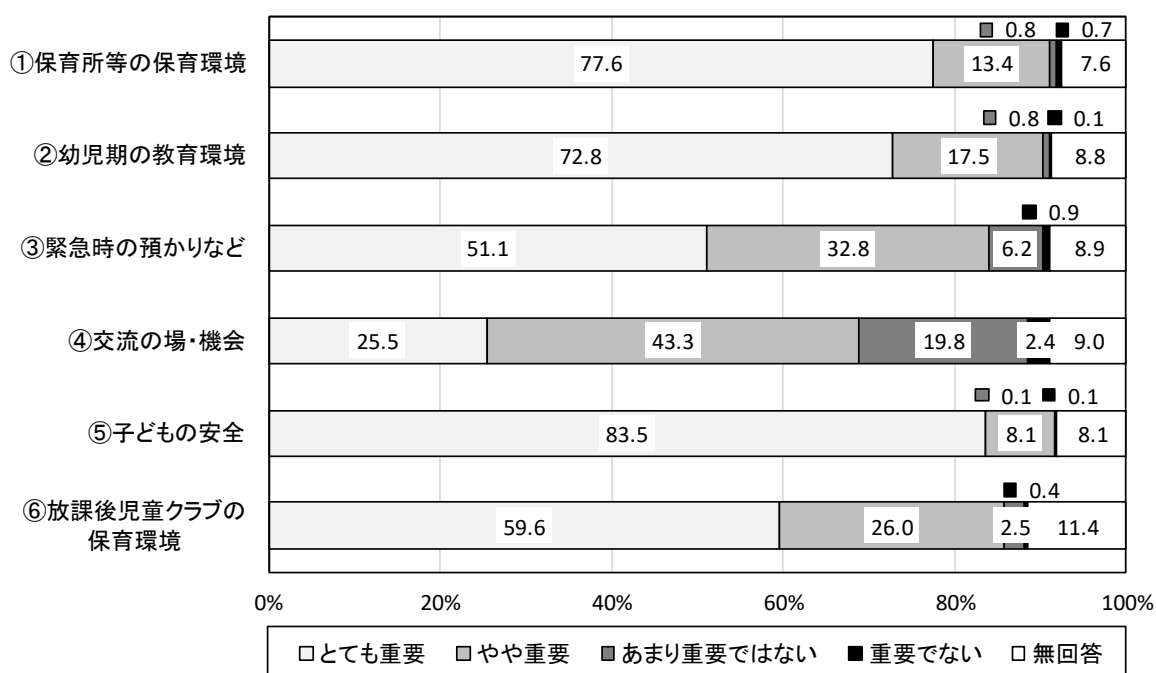
### 【重要度】

さくら市の子育て環境の重要度について、就学前児童の「とても重要」と「やや重要」を合わせた『重要』の割合をみると、「⑤子どもの安全」が91.6%で最も高く、次いで、「①保育所等の保育環境」が91.0%となっています。「あまり重要ではない」と「重要でない」を合わせた『重要でない』の割合をみると、「④交流の場・機会」が22.2%で最も高く、次いで、「③緊急時の預かりなど」が7.1%となっています。

小学生児童の「とても重要」と「やや重要」を合わせた『重要』の割合をみると、「⑤子どもの安全」が88.9%で最も高く、次いで、「①保育所等の保育環境」が85.1%となっています。

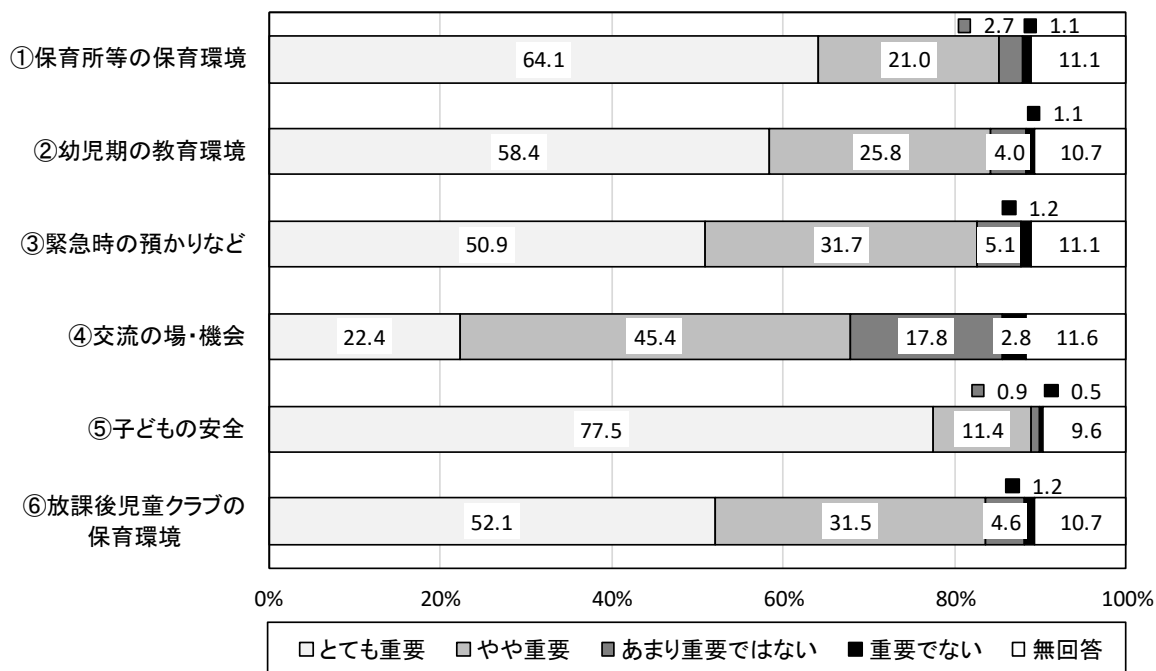
「あまり重要ではない」と「重要でない」を合わせた『重要でない』の割合をみると、「④交流の場・機会」が20.6%で最も高く、次いで、「③緊急時の預かりなど」が6.3%となっています。

### ■就学前児童





■小学生児童

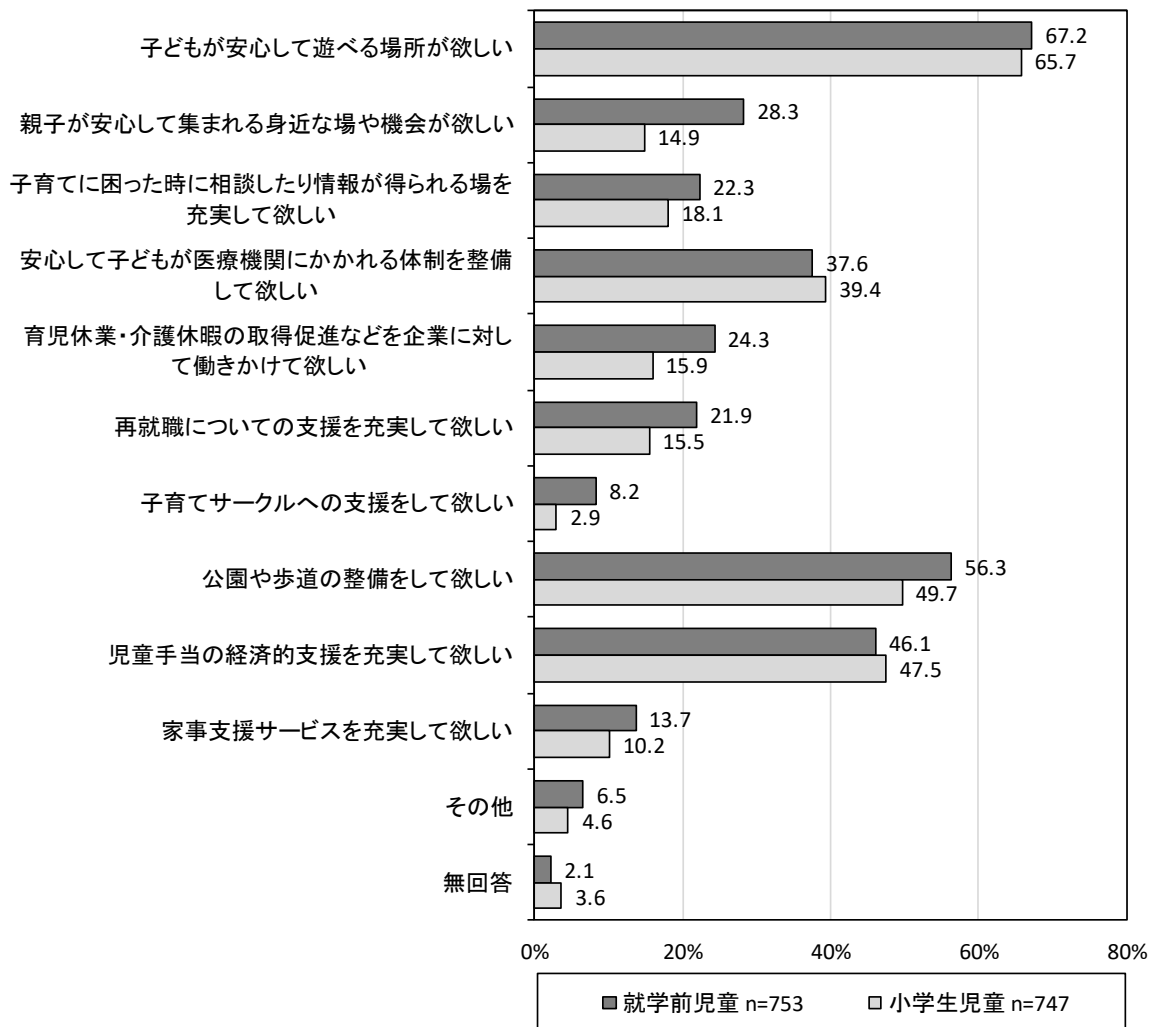


## II 調査結果

### (9) 子育て支援で、もっと力をいれてほしいものは何か〈複数回答〉

[就学前児童調査：問 41、小学生児童調査：問 30]

子育て支援で、もっと力をいれてほしいものについては、「子どもが安心して遊べる場所が欲しい」が就学前児童で67.2%、小学生児童で65.7%と最も高く、次いで、「公園や歩道の整備をして欲しい」が就学前児童で56.3%、小学生児童で49.7%、「児童手当の経済的支援を充実して欲しい」が就学前児童で46.1%、小学生児童で47.5%となっています。



さくら市 子育て支援についてのアンケート調査  
【就学前児童保護者用】

市民の皆さまには、日ごろから市政発展のため、ご理解と協力をいただき、深く感謝申し上げます。さて、本市では、子ども・子育て支援新制度により平成27年3月に策定した「第1期さくら市子ども・子育て支援事業計画」に基づき、「子どもの笑顔がふれる未来へ」を基本理念に、子どもの健やかな育ちと保護者の子育て環境の支援に努めています。

このたび、計画の期間が平成31年度に終了することから、「第2期さくら市子ども・子育て支援事業計画（平成32年度～平成36年度）」を策定します。

そこで、市民の皆さまの子育てに関する実態や、ご意見・ご要望等を押握するためアンケート調査を実施します。

この調査は、住民基本台帳から就学前のお子さん 1,500 人を無作為に抽出し、保護者の皆さんにご協力をお願いするものです。ご回答いただいた調査内容は、統計的に処理し個人が特定されないよう配慮し、調査の目的以外に使用することはありません。

つきましては、ご多忙のこととは存じますが、本調査の趣旨をご理解いただき、ご協力くださいますようお願い申し上げます。

平成30年12月

さくら市長 花塚 隆志

＜ご記入にあたってのお願い＞

1. 本調査の対象者は、平成30年11月1日現在で抽出しています。
2. ご記入は、**宛名のお子さんの保護者の方**をお願いいたします。
3. ご回答は、**選択順の番号に○をつけていただく場合と、数字をご記入いただく場合**がございます。また、「その他」を選択した場合、( ) 内に具体的な内容をご記入ください。
4. 時間を数字でご記入いただく場合、**24 時間制(例:9:00～18:00)**でご記入ください。
5. 設問によっては、**ご回答いただく方が限られる場合がございます**。注意書きや矢印に従ってご回答ください。特に注意書きのない場合は次の設問へお進みください。
6. 幼稚園・保育所・放課後児童クラブなどの教育・保育・子育て支援を計画的に整備するために、市民の皆さまの利用状況・希望を押握することが目的であり、本調査の回答により、施設や事業の利用の可否を決定することはありません。
7. ご記入いただいたアンケート用紙は、お手数ですが、**12月28日(金)まで**に**同封の返信用封筒**に入れて、郵便ポストにご投函ください。**切手の貼付やお名前記入は不要ありません**。

ご回答いただく上で**ご不明な点、調査に関するお問い合わせは、下記までお願いいたします**。

さくら市 市民福祉部 児童課  
電話:028-681-1125  
FAX:028-681-1482

子ども・子育て支援新制度とは

幼児期の学校教育・保育や、地域の子ども・子育て支援を総合的に推進するため、平成27年度からスタートした制度です。

一人ひとりの子どもが健やかに成長することができる社会を実現することを目的に、待機児童の解消、教育・保育の質的改善、認定こども園制度の改善、地域における子ども・子育て支援事業の充実などに取り組んでいきます。

2019年10月より、幼児教育・保育無償化の制度が開始することが予定されています。

2019年10月より、3歳から5歳までのすべての子ども及び0歳から2歳までの住民税非課税世帯の子どもについての幼児教育・保育の費用が無償化となることと予定されています。

下表は、幼児教育・保育無償化の具体的なイメージ(例)となります。

区分	利用	教育・保育事業	無償化の内容
3～5歳児 (保育の必要性の認定事由に該当する子ども) ・共働き家庭 ・シングルで働いている家庭など	利用	幼稚園、保育所、認定こども園	無償 (幼稚園は月2.57万円まで) 幼稚園保育料の無償上限額(月2.57万円)に加え、月1.13万円(月3.7万円との差額)まで無償
	複数利用	認可外保育施設、ベビースイッチャーなど(一般効にいう認可外保育施設、自治体の認証保育施設など) 幼稚園 保育所 認定こども園	月3.7万円まで無償
	複数利用	幼稚園、認定こども園 障害児通園施設 + 障害児通園施設	ともに無償 (幼稚園は月2.57万円まで)
3～5歳児 (保育の必要性の認定事由に該当しない子ども) ・専業主婦(夫)家庭 など	利用	幼稚園、認定こども園 障害児通園施設	無償 (幼稚園は月2.57万円まで)
	複数利用	幼稚園 認定こども園 + 障害児通園施設	ともに無償 (幼稚園は月2.57万円まで)

※幼稚園の預かり保育施設や認可外保育施設を利用している場合、無償化の対象となるためには、保育の必要性の認定事由に該当する必要があります。

※住民税非課税世帯については、0～2歳児についても上記と同様の考え方で、無償化の対象となります。この場合、月4.2万円まで無償となります。

※上記のうち認可外保育施設及びベビースイッチャーについては、認可外保育施設の届出をし、指導監督の基準を満たすものに限り、また、5年間の経過措置として、指導監督の基準を満たしていない場合でも無償化の対象とする措置期間を設ける。

-----【用語の定義】この調査票における用語の定義は以下のとおりです。-----

用語	定義
幼稚園	学校教育法に定める、3～5歳児に対して学校教育を行う施設。(学校教育法第22条)
保育所	児童福祉法に定める、保育を必要とする0～5歳児に対して保育を行う施設。(児童福祉法第39条)
認定こども園	幼稚園と保育所の機能を併せ持つ施設。(就学前の子どもに関する教育、保育等の総合的な推進に關する法律第2条第6項)
子育て支援	教育・保育その他の子どもや保護者のために行われる支援。
教育	問11までにおいては家庭での教育を含めた広い意味、問12以降においては幼児期の学校における教育の意味で用いています。

**1. 封筒の宛名のお子さんご家族の状況について**

問 1 宛名のお子さんの生年月月をご記入ください。(口内に数字をご記入ください。)

平成	<input type="text"/>	<input type="text"/>	年	<input type="text"/>	<input type="text"/>	月	<input type="text"/>	<input type="text"/>	生まれ
----	----------------------	----------------------	---	----------------------	----------------------	---	----------------------	----------------------	-----

問 2 宛名のお子さんを含め、お子さんは全員で何人いらっしゃいますか。お2人以上のお子さんがい  
らっしゃる場合は、一番下のお子さん(末子)の生年月月をご記入ください。  
(口内に数字をご記入ください。)

お子さんの数	<input type="text"/>	人(宛名のお子さん含む)	末子の生年月	<input type="text"/>	<input type="text"/>	年	<input type="text"/>	<input type="text"/>	月	生まれ
--------	----------------------	--------------	--------	----------------------	----------------------	---	----------------------	----------------------	---	-----

問 3 この調査票にご回答いただく方はどなたですか。宛名のお子さんから見た関係でお答えください。  
(○は1つ)

1. 母親                      2. 父親                      3. その他 (                      )

問 4 この調査票にご回答いただいている方の配偶関係についてお答えください。(○は1つ)

1. 配偶者がいる                      2. 配偶者がいない

問 5 宛名のお子さんの子育て(教育を含む)を主にしているのはどなたですか。お子さんから見た  
関係でお答えください。(○は1つ)

1. 父母ともに                      2. 主に母親                      3. 主に父親                      4. 主に祖父母                      5. その他 (                      )

問 6 お住まいの小学校区はどちらですか。(○は1つ)

※「6. 豊連川小学校」の方は、①～⑤の旧小学校区もあわせてお答えください。

1. 氏家小学校                      2. 押上小学校                      3. 熱田小学校                      4. 上松山小学校                      5. 南小学校  
6. 豊連川小学校 → ① 旧豊連川小                      ② 旧金蔵小                      ③ 旧柳屋小                      ④ 旧蔵庭小                      ⑤ 旧河戸小

**2. 子どもの育ちをめぐる環境について**

問 7 宛名のお子さんの子育て(教育を含む)に日常的に関わっている方はどなた(施設)ですか。宛  
名のお子さんから見た関係でお答えください。(あてはまるものすべてに○)

1. 父母ともに                      2. 母親                      3. 父親                      4. 祖父母  
5. 幼稚園                      6. 保育所                      7. 認定こども園                      8. その他 (                      )

問 8 日頃、宛名のお子さんをみてもらえる親族・知人はいませんか。(あてはまるものすべてに○)

1. 日常的に祖父母等の親族にみてもらえる  
2. 緊急時もしくは用事の際には祖父母等の親族にみてもらえる  
3. 日常的に子どもをみてもらえる友人・知人がいる  
4. 緊急時もしくは用事の際には子どもをみてもらえる友人・知人がいる  
5. いずれもない

問 9 宛名のお子さんの子育て(教育を含む)をす上で、気軽に相談できる人はいますか。  
また、相談できる場所がありますか。(○は1つ)

1. いる・ある → 問9-1へ                      2. いない・ない → 問10へ

問9-1 問9で「1. いる・ある・ある」と回答した方にうかがいます。  
お子さんの子育て(教育を含む)に関して、気軽に相談できる先は、誰(どこ)ですか。  
(あてはまるものすべてに○)

1. 祖父母等の親族                      2. 友人や知人  
3. 近所の人                      4. 子育て支援施設(子育て支援センター等)・NPO  
5. 保健所・保健センター                      6. 保育士  
7. 幼稚園教諭                      8. 民生委員・児童委員  
9. かかりつけの医師                      10. 自治体の子育て関連担当窓口  
11. その他 (                      )

**3. 宛名のお子さんの保護者の就労状況について**

《母親の状況について》【父子家庭の場合は、問11へ】  
宛名のお子さんの母親の現在の就労状況(自営業、家族従事者含む)をうかがいます。

問10 現在の就労状況は以下のどれにあたりますか。(○は1つ)

1. フルタイム<sup>※1</sup>で就労しており、産休・育休・介護休業中ではない                      ⇒ 問11へ  
2. フルタイムで就労しているが、産休・育休・介護休業中である                      ⇒ 問10-1へ  
3. パート・アルバイト等<sup>※2</sup>で就労しており、産休・育休・介護休業中ではない                      ⇒ 問10-1へ  
4. パート・アルバイト等で就労しているが、産休・育休・介護休業中である                      ⇒ 問10-1へ  
5. 以前は就労していたが、現在は就労していない                      ⇒ 問10-2へ  
6. これまで就労したことがない                      ⇒ 問10-2へ

母親

※1 フルタイム：1週5日程度・1日8時間程度の就労  
※2 パート・アルバイト等：フルタイム以外の就労

問10-1 問10で「3」、「4」(パート・アルバイト等で就労)と回答した方にうかがいます。  
フルタイムへの転換希望はありますか。(○は1つ)

1. フルタイムへの転換希望があり、実現できる見込みがある  
2. フルタイムへの転換希望はあるが、実現できる見込みはない  
3. パート・アルバイト等(フルタイム以外)の就労を願うことを希望  
4. パート・アルバイト等(フルタイム以外)をやめて子育てや家事に専念したい

母親



問 10-2

問 10 で「5」、「6」(就労していない)と回答した方にかがいます。就労したいという希望はありますか。(○は1つ、該当する記号に○、該当する口内に数字をご記入ください。)

1. 子育てや家事などに専念したい (就労の予定はない)

2. 1年より先、一番下の子どもが  歳になったところに就労したい

3. すぐにも、もしくは1年以内に就労したい

母親

希望する (就労形態) ア. フルタイム  
イ. パート・アルバイト等

(1週あたり  日 / 1日あたり  時間)

《父親の状況について》 【母子家庭の場合は、問 12 へ】

宛名のお子さんの父親の現在の就労状況 (自営業、家族従事者含む) をうかがいます。

問 11 現在の就労状況は以下のどれにあたりますか。(○は1つ)

1. フルタイム\*1で就労しており、育児・介護休業中ではない  ⇒ 問 12 へ

2. フルタイムで就労しているが、育児・介護休業中である  ⇒ 問 11-1 へ

3. パート・アルバイト等\*2で就労しており、育児・介護休業中ではない  ⇒ 問 11-1 へ

4. パート・アルバイト等で就労しているが、育児・介護休業中である  ⇒ 問 11-2 へ

5. 以前は就労していたが、現在は就労していない

6. これまで就労したことがない

\*1 フルタイム：1週5日程度・1日8時間程度の就労  
\*2 パート・アルバイト等：フルタイム以外の就労

問 11-1

フルタイムへの転換希望はありますか。(○は1つ)

1. フルタイムへの転換希望があり、実現できる見込みがある

2. フルタイムへの転換希望はあるが、実現できる見込みはない

3. パート・アルバイト等 (フルタイム以外) の就労を続けることを希望

4. パート・アルバイト等 (フルタイム以外) をやめて子育てや家事に専念したい

父親

問 11-2

問 11 で「5」、「6」(就労していない)と回答した方にかがいます。就労したいという希望はありますか。(○は1つ、該当する記号に○、該当する口内に数字をご記入ください。)

1. 子育てや家事などに専念したい (就労の予定はない)

2. 1年より先、一番下の子どもが  歳になったところに就労したい

3. すぐにも、もしくは1年以内に就労したい

父親

希望する (就労形態) ア. フルタイム  
イ. パート・アルバイト等

(1週あたり  日 / 1日あたり  時間)

4. 宛名のお子さんの平日の定期的な教育・保育事業の利用状況について

※ここでは「定期的な教育・保育事業」とは、月単位で定期的に利用している事業を指します。具体的には、認定こども園や幼稚園、保育所など、問 12-1、問 14 に示した事業が含まれます。

問 12 宛名のお子さんは平日、幼稚園や保育所などの「定期的な教育・保育の事業」を利用されていますか。(○は1つ)

1. 利用している ⇒ 問 12-1 へ

2. 利用していない ⇒ 問 12-5 へ

問 12-1

問 12 で「1. 利用している」と回答した方にかがいます。宛名のお子さんは、平日どのような教育・保育の事業を利用していますか。年間を通じて「定期的に」利用している事業をお答えください。(あてはまるものすべてに○)

1. 幼稚園 (通常の就園時間の利用)
2. 幼稚園の預かり保育 (通常の就園時間を延長して預かる事業のうち定期的な利用のみ)
3. 認可保育所 (国が定める最低基準に適合した施設で都道府県等の認可を受けた定員 20 人以上のもの)
4. 認定こども園 (幼稚園と保育所の機能を併せ持つ施設)
5. 小規模保育施設 (国が定める最低基準に適合した施設で市町村の認可を受けた定員概ね 6~19 人のもの)
6. 家庭的保育 (保育者の家族等で 5 人以下の子どもを保育する事業 (保育ママ))
7. 事業所内保育施設 (企業が主に従業員用に運営する施設)
8. 自治体の認証・認定保育施設 (認可保育所ではないが、自治体が認証・認定した施設)
9. その他の認可外の保育施設 (都道府県等の認可を受けた保育所以外の子どもを預かる事業)
10. 居宅訪問型保育 (ハビリーターのような保育者が子どもを家庭を訪問し保育する事業)
11. ファミリー・サポート・センター (保育所への送迎や学童保育終了後に一時的に子どもを預かる事業)
12. その他 ( )



**問 12-2** 問 12 で「1. 利用している」と回答した方にかがいます。

平日に定期的に利用している教育・保育の事業について、(1) 現在のどのくらい利用していますか。また、(2) 希望としてはどのくらい利用したいですか。(口内に数字をご記入ください。)

※時間は24時間制(例: 9:00~18:00)

問 12-1 で選択した番号

(1) 現在	1 週あたり	日 / 1 日あたり	時間( ) : ( ) : ( ) ~ ( ) : ( ) : ( )
(2) 希望	1 週あたり	日 / 1 日あたり	時間( ) : ( ) : ( ) ~ ( ) : ( ) : ( )

問 12-1 で選択した番号

(1) 現在	1 週あたり	日 / 1 日あたり	時間( ) : ( ) : ( ) ~ ( ) : ( ) : ( )
(2) 希望	1 週あたり	日 / 1 日あたり	時間( ) : ( ) : ( ) ~ ( ) : ( ) : ( )

問 12-1 で選択した番号

(1) 現在	1 週あたり	日 / 1 日あたり	時間( ) : ( ) : ( ) ~ ( ) : ( ) : ( )
(2) 希望	1 週あたり	日 / 1 日あたり	時間( ) : ( ) : ( ) ~ ( ) : ( ) : ( )

**問 12-3** 問 12 で「1. 利用している」と回答した方にかがいます。

現在、利用している「教育・保育の事業」(幼稚園や保育所など)の実施場所についてうかがいます。

(実施場所の市町村名もご記入ください。)(Oは1つ)

1. さくら市内の公立 氏家地区
2. さくら市内の公立 喜連川地区
3. さくら市内の私立 氏家地区
4. さくら市内の私立 喜連川地区
5. 栃木県内他市町(市・町)
6. その他(市・町・村)

**問 12-4** 問 12 で「1. 利用している」と回答した方にかがいます。

平日に定期的に教育・保育の事業を利用されている理由は何ですか。(あてはまるものすべてにO)

1. 子どもの教育や発達のため
2. 現在就労しているため
3. 就労予定があるため、求職中であるため
4. 家族・親族などを介護しているため
5. 子育てをしている方が病氣や障害があるため
6. 学生であるため
7. その他( )

**問 12-5** 問 12 で「2. 利用していない」と回答した方にかがいます。

平日に定期的に教育・保育の事業を利用していない理由は何ですか。(あてはまるものすべてにO、口内に数字をご記入ください。)

1. 利用する必要がない(子どもの教育や発達のため、子どもの母親が就労していないため等)
2. 子どもの祖父母や親戚の人がかかっている
3. 近所の人や父母の友人・知人がかかっている
4. 利用したいが、教育・保育の事業に空きがない
5. 利用したいが、経済的な理由で事業を利用できない
6. 利用したいが、延長・夜間等の時間帯の条件が合わない
7. 利用したいが、事業の質や場所など、納得できる事業がない
8. 子どもがまだ小さいため( )
9. その他( )

**問 13** すべての方にかがいます。

2019年10月より、幼児教育・保育無償化の制度が開始される予定であることをご存知でしたか。(Oは1つ)

※2ページの案内をご参照ください。

1. 知っていた
2. 知らなかった

**問 14** 現在の利用状況にかかわらず、宛名のお子さんの平日の教育・保育の事業として、「定期的に」

利用したいと考える事業をお答えください。なお、これらの事業の利用には、一定の利用者負担が発生します。認可保育所の場合、世帯収入に応じた利用料が設定されています。(ただし2019年10月より一部無償となる予定です。)(あてはまるものすべてにO)

1. 幼稚園(通常の就園時間の利用)
2. 幼稚園の預かり保育(通常の就園時間を延長して解かる事業のうち定期的な利用のみ)
3. 認可保育所(国が定める最低基準に適合した施設で都道府県等の認可を受けた定員20人以上のもの)
4. 認定こども園(幼稚園と保育所の機能を併せ持つ施設)
5. 小規模保育施設(国が定める最低基準に適合した施設で市町村の認可を受けた定員6~19人のもの)
6. 家庭的保育(保育者の家庭等で子どもを保育する事業)
7. 事業所内保育施設(企業が主に従業員用に運営する施設)
8. 自治体の認証・認定保育施設(認可保育所ではないが、自治体が認証・認定した施設)
9. その他の認証・認定保育施設(都道府県等の認可を受けた保育所以外の子どもを預かる施設)
10. 居宅訪問型保育(保育者が子どもたちの家庭で保育する事業)
11. ファミリー・サポート・センター(地域住民が子どもを預かる事業)
12. その他( )

**問 14-1** 問 14 で「1」~「12」のいずれかを回答した方にかがいます。

利用したい教育・保育事業の場所はどちらですか。(Oは1つ)

1. さくら市内 氏家地区
2. さくら市内 喜連川地区
3. 栃木県内他市町(市・町)
4. その他(市・町・村)

問 14-2 問 14 で「1」～「12」のいずれかを回答した方にかがいます。

利用したい教育・保育事業は公立、私立のどちらですか。(○は1つ)

- 1. 公立
- 2. 私立
- 3. どちらでも

問 14-3 問 14 で「1」、「2」を回答し、かつ「3」～「12」を回答した方にかがいます。

特に幼稚園(幼稚園の預かり保育をあわせて利用する場合を含む)の利用を強く希望しますか。(○は1つ)

- 1. はい
- 2. いいえ

問 15 現在の利用状況にかかわらず、お子さんの平日の「教育・保育の事業」(幼稚園や保育所など)を  
選ぶ際に、重視する点はどのようなことですか。(あてはまるものすべてに○)

- 1. 自宅の近く
- 2. 子どもが将来通う小学校のある居住地区内にある
- 3. 職場の近く
- 4. 駅の近く
- 5. 兄弟姉妹が通っている
- 6. 夜間や休日、延長保育に対応している
- 7. 乳児保育を実施している
- 8. 病児や病後児の対応を行っている
- 9. 施設・設備が清潔で整っている
- 10. 送迎サービスを行っている
- 11. 地域の評判がよい
- 12. スタッフの対応や園の印象がよい
- 13. 行事が充実している
- 14. さまざまな教育プログラムを提供している
- 15. その他 ( )

問 16 公立保育所の民営化をどう思いますか。(○は1つ)

- 1. 賛成
- 2. どちらかという賛成
- 3. 反対
- 4. どちらかという反対
- 5. どちらでもない

現在、市内には市が運営する公立保育所3か所のほか、私立の施設として保育所、認定こども園、小規模保  
育施設が8施設あります。  
公立保育所を、社会福祉法人などが園舎等を譲り受け、法人により運営する公立保育所の民営化が増加傾向  
にあります。

問 16-1 問 16 で「1. 賛成」、「2. どちらかという賛成」と回答した方にかがいます。

賛成とする理由は何ですか。(あてはまるものすべてに○)

- 1. 延長・休日・病児保育などの保育サービスの向上
- 2. 保育士の人員確保による受入れ規模の拡大
- 3. 市など自治体の運営経費の削減
- 4. その他 ( )

問 16-2 問 16 で「3. 反対」、「4. どちらかという反対」と回答した方にかがいます。

反対とする理由は何ですか。(あてはまるものすべてに○)

- 1. 保育士の入れ替え等、環境変化による子どもへの負担
- 2. 保育料以外の保護者負担の心配
- 3. 保育士の若年化等による保育の質の低下
- 4. その他 ( )

問 17 公立保育所の民営化に関してご意見がございましたら、ご自由にご記入ください。

\_\_\_\_\_

問 18 公立保育所における給食業務を外郭業者に委託することをどう思いますか。(○は1つ)

- 1. 賛成
- 2. どちらかという賛成
- 3. 反対
- 4. どちらかという反対
- 5. どちらでもない

問 18-1 問 18 で「1. 賛成」、「2. どちらかという賛成」と回答した方にかがいます。  
賛成とする理由は何ですか。(あてはまるものすべてに○)

- 1. メニューの多様化など給食の質の向上
- 2. 調理員等の人員確保による業務の安定
- 3. 市など自治体の運営経費の削減
- 4. その他 ( )

問 18-2 問 18 で「3. 反対」、「4. どちらかという反対」と回答した方にかがいます。  
反対とする理由は何ですか。(あてはまるものすべてに○)

- 1. トラブル発生時の責任所在の複雑化
- 2. 委託業者によって業務のバラつきが発生する不安
- 3. 園との連携に関する不安
- 4. その他 ( )

問 19 給食業務の外郭業者委託に関してご意見がございましたら、ご自由にご記入ください。

\_\_\_\_\_

5. 宛名のお子さんの子育て支援センターの利用状況について

問 20 宛名のお子さんは、現在、子育て支援センター\*を利用していますか。  
(あてはまるものすべてに○。該当する口内におおよその利用回数(頻度)をご記入ください。)

- 1. 子育て支援センター(親子が集まって過ごしたり、相談をする場)
  - 1週あたり  回 もしくは 1か月あたり  回程度
- 2. その他、当該自治体で実施している類似の事業  
(具体名: ) 1週あたり  回 もしくは 1か月あたり  回程度
- 3. 利用していない

\* 子育て支援センター: 親子が集まって過ごしたり、相談をしたり、情報提供を受けたりする場です。

問 21 問 20 のような子育て支援センターについて、今は利用していないが、できれば今後利用したい、あるいは、利用日数を増やしたいと思いませんか。なお、これらの事業の利用には、一定の利用者負担が発生する場合があります。

(○は1つ、該当する口内におおよその利用回数(頻度)をご記入ください。)

1. 利用していないが、今後利用したい  
 1週あたり  回 もしくは 1か月あたり  回程度

2. すでに利用しているが、今後利用日数を増やしたい  
 1週あたり  回 もしくは 1か月あたり  回程度

3. 新たに利用したり、利用日数を増やしたいとは思わない

**6. 宛名のお子さんの土日・休日や長期休暇中の「定期的」な教育・保育事業の利用希望について**

※「教育・保育事業」とは、幼稚園、保育所、認可外保育施設などの事業で、親族・知人による預かりは含みません。

問 22 宛名のお子さんについて、土曜日と日曜日・祝日に、定期的な教育・保育事業の利用希望(一時的な利用は除く)はありますか。希望がある場合は、利用したい時間を口内にご記入ください。  
 (それぞれ○は1つ、口内に数字をご記入ください。)

※時間は24時間制(例: 9:00~18:00)

(1) 土曜日

1. 利用する必要はない

2. ほぼ毎週利用したい  :  :  ~  :  :

3. 月に1~2回は利用したい  ⇒ 利用したい時間帯  :  :  ~  :  :

(2) 日曜日・祝日

1. 利用する必要はない

2. ほぼ毎週利用したい  :  :  ~  :  :

3. 月に1~2回は利用したい  ⇒ 利用したい時間帯  :  :  ~  :  :

問 23 現在、宛名のお子さんが「幼稚園」を利用されている方にかがいます。  
 夏休み・冬休みなどの長期の休暇期間中に「教育・保育事業」(幼稚園や保育所など)の利用希望はありますか。希望がある場合は、利用したい時間を口内にご記入ください。

(○は1つ、口内に数字をご記入ください。)

※時間は24時間制(例: 9:00~18:00)

1. 利用する必要はない

2. 休みの期間中、ほぼ毎日利用したい  ⇒ 利用したい  :  :  ~  :  :

3. 休みの期間中、週に数日利用したい  時間帯  :  :  ~  :  :

**7. [問12で]「利用している」と回答された方) 宛名のお子さんの病気の療育の対応について**

※問12で「2. 利用していない」と回答された方⇒問26(14ページ)へ、お進みください。

問 24 平日の定期的な「教育・保育事業」(幼稚園や保育所など)を「利用している」と回答された方にかがいます。

この1年間に、宛名のお子さんが病气やケガで普段利用している「教育・保育事業」(幼稚園や保育所など)が利用できなかったことはありますか。(○は1つ)

1. あった ⇒ 問24-1へ 2. なかった ⇒ 問25 (13ページ)へ

問 24-1 問24で「1. あった」と回答した方にかがいます。

宛名のお子さんが病气やケガで普段利用している「教育・保育事業」(幼稚園や保育所など)が利用できなかった場合に、この1年間に行った対処方法をお答えください。  
 (あてはまるものすべてに○、口内に数字をご記入ください。)

※半日程度の利用も1日としてください。

1年間の対処方法	日数(年間)
1. 父親が休んだ	<input type="text"/> 日 ⇒ 問24-2へ
2. 母親が休んだ	<input type="text"/> 日
3. (同居者を含む) 親族・知人に子どもをみてもらった	<input type="text"/> 日
4. 父親又は母親のうち就労していない方が子どもをみた	<input type="text"/> 日
5. 育児保育*1・病後児保育*2を利用した	<input type="text"/> 日
6. ベビーシッターを利用した	<input type="text"/> 日 ⇒ 問24-4へ
7. ファミリー・サポート・センターによる育児・病後児の預かりを利用した	<input type="text"/> 日
8. 仕方なく子どもだけで留守番させた	<input type="text"/> 日
9. その他( )	<input type="text"/> 日

\*1 「育児保育」とは、お子さんが病気になったとき、仕事を休めない保護者に代わって一時的に預かる事業です。  
 \*2 「病後児保育」とは、お子さんが、病気の回復期にあるものの、集団保育が困難な期間、一時的に預かる事業です。





**8. 宛名のお子さんの不定期の教育・保育事業や宿泊を伴う一時預かり等の利用について**

問 26 宛名のお子さんについて、日中の定期的な保育や病気のため以外に、私用、親の通院、不定期の就労等の目的で不定期に利用している事業はありますか。（あてはまるものすべてに○、口内に1年間のおよその利用日数をご記入ください。）

利用している事業	日数（年間）
1. 一時預かり （私用など理由を問わずに保育所などで一時的に子どもを保育する事業）	□□ 日
2. 幼稚園の預かり保育 （通常の就園時間を延長して預かる事業のうち不定期に利用する場合のみ）	□□ 日
3. ファミリー・サポート・センター （保育所への送迎や学童保育終了後に一時的に子どもを預かる事業）	□□ 日 ⇒ 問 27 (15ページ)へ
4. 夜間保育等事業：トワイライトステイ （児童養護施設等で休日・夜間、子どもを保護する事業）	□□ 日
5. ベビーシッター	□□ 日
6. その他（ ）	□□ 日
7. 利用していない	⇒ 問 26-1へ

問 26-1 問 26 で「7. 利用していない」と回答した方にうかがいます。  
現在利用していない理由は何ですか。（あてはまるものすべてに○）

1. 特に利用する必要がない
2. 利用したい事業が地域にない
3. 地域の事業の質に不安がある
4. 地域の事業の利便性（立地や利用可能時間・日数など）がよくない
5. 利用料がかかると高い
6. 利用料がわからない
7. 自分が事業の対象者になるのかわからない
8. 事業の利用方法（手続き等）がわからない
9. その他（ ）

問 24-2 問 24-1 で「1. 父親が休んだ」、「2. 母親が休んだ」と回答した方にうかがいます。  
その際、「できれば病児・病後児のための保育施設等を利用したい」と思われましたか。なお、病児・病後児のための事業等の利用には、一定の利用料がかかります。利用前にかかりつけ医の受診が必要となります。（○は1つ、口内に日数をご記入ください。）

1. できれば病児保育、病後児保育いずれも利用したい ⇒ 年間 □□ 日 ⇒ 問 25へ

2. 利用したいとは思わない ⇒ 問 24-3へ

問 24-3 問 24-2 で「2. 利用したいとは思わない」と回答した方にうかがいます。  
そう思われる理由についてお答えください。（あてはまるものすべてに○）

1. 病児・病後児を他人に看ってもらうのは不安
2. 地域の事業の質に不安がある
3. 地域の事業の利便性（立地や利用可能時間・日数など）がよくない
4. 利用料がかかる・高い
5. 利用料がわからない
6. 親が仕事を休んで対応できる
7. その他（ ）

問 24-4 問 24-1 で「3」～「9」を回答した方にうかがいます。

宛名のお子さんが病気やケガが普段利用している「教育・保育の事業」（幼稚園や保育所など）が利用できなくなった際、「できれば父母のいずれかが仕事を休んで看たい」と思われましたか。問 24-1 の「3」～「9」の日数のうち、仕事を休んで看たかった日数についてもご記入ください。

（○は1つ、口内に日数をご記入ください。）

1. できれば仕事を休んで看たい ⇒ 年間 □□ 日 ⇒ 問 25へ

2. 休んで看ることは非常に難しい ⇒ 問 24-5へ

問 24-5 問 24-4 で「2. 休んで看ることは非常に難しい」と回答した方にうかがいます。

- そう思われる理由についてお答えください。（あてはまるものすべてに○）
1. 子どもの看護を理由に休みがとれない
  2. 自営業なので休めない
  3. 休暇日数が足りないので休めない
  4. その他（ ）

問 25 すべての方にうかがいます。

宛名のお子さんが病気やケガで通常の事業が利用できない際、自宅で訪問型病児保育が利用できるとしたら、費用負担があっても利用したいと思われますか。（○は1つ）

1. できれば利用したい ⇒ 問 26へ

2. 利用したいとは思わない ⇒ 問 25-1へ

問 25-1 問 25 で「2. 利用したいとは思わない」と回答した方にうかがいます。

- そう思われる理由についてお答えください。（あてはまるものすべてに○）
1. 病児・病後児を他人に看ってもらうのは不安
  2. 地域の事業の質に不安がある
  3. 利用料がかかる
  4. 親が仕事を休んで対応できる
  5. その他（ ）

問 27 宛名のお子さんについて、私用、親の通院、不定期の就労等の目的で、年間何日くらい事業を利用する必要があると思いますか。なお、これらの事業の利用には、一定の利用者負担が発生します。(あてはまるものすべてに○、該当する口内に利用したい日数とその合計をご記入ください。)

利用したい	年間計	日
ア. 私用(買物、子ども(兄弟姉妹を含む)や親の習い事等)、リフレッシュ目的	年間	日
イ. 冠婚葬祭、学校行事、子ども(兄弟姉妹を含む)や親の通院 等	年間	日
ウ. 不定期の就労	年間	日
エ. その他( )	年間	日
2. 利用する必要はない		

問 28 この1年間に、保護者の用事(冠婚葬祭、保護者・家族の病気など)により、宛名のお子さんを泊りがけで家族以外にみてもらわなければならないことはありませんか(預け先が異つたらならない場合も含みます)。あった場合は、この1年間の対処方法を選択し、それぞれの日数もご記入ください。(あてはまるものすべてに○、該当する口内に利用日数をご記入ください。)

預けた有無	1年間の対処方法	日数(年間)
	ア. (同居者を含む) 親族・知人にみてもらった	泊
	イ. 短期入所生活援助事業(ショートステイ)を利用した	泊
	ウ. 上記以外の保育事業(認可外保育施設、ファミリー等)を利用した	泊
1. あった⇒	エ. 子どもを同行させた	泊
	オ. 子どもだけで留守番させた	泊
	カ. その他( )	泊
2. なかった		

9. [宛名のお子さん]が来年度小学校入学予定の方  
小学校就学後の放課後の過ごし方について

※来年度小学校入学予定ではない方は⇒問33(18ページ)へ、お進みください。

問 29 宛名のお子さんについて、小学校低学年(1～3年生)のうちは、放課後(平日の小学校終了後の時間をどのような場所で過ごさせたいと思いますか。「放課後児童クラブ」の場合には、利用を希望する時間もご記入ください。  
(あてはまるものすべてに○、該当する口内に日数・時間をご記入ください。)

※時間は24時間制(例: 下校時から17時頃まで)

希望する場所【複数選択可】	週あたりの希望日数【数字を記入】
1. 自宅	週 <input type="text"/> 日<らい
2. 祖父母や友人・知人家	週 <input type="text"/> 日<らい
3. 習い事(ピアノ教室、サッカークラブ、習字塾など)	週 <input type="text"/> 日<らい
4. 児童センター※1	週 <input type="text"/> 日<らい
5. 放課後子ども教室※2	週 <input type="text"/> 日<らい
6. 放課後児童クラブ(学童保育)※3	週 <input type="text"/> 日<らい 下校時 から <input type="text"/> 時頃 まで
7. ファミリー・サポート・センター	週 <input type="text"/> 日<らい
8. その他(公民館、公園など)	週 <input type="text"/> 日<らい

※1 児童センターで行う放課後児童クラブの利用を希望する場合は「6. 放課後児童クラブ(学童保育)」に○  
 ※2 放課後子ども教室: 地域の協力を得て、放課後や週末に小学校や公民館で学習・スポーツ・文化芸術活動などを体験する取組です。保護者の放労の有無に関わらず、すべての小学生が利用できます。  
 ※3 放課後児童クラブ: 地域によって学童保育などと呼ばれています。保護者が就労等により民間家庭にいない場合などに、支援員の下、子どもの生活の場を提供するものです。事業の利用にあたっては、一定の利用料がかかります。



問 30 宛名のお子さんについて、小学校高学年（4～6年生）になったら、放課後（平日の小学校終了後）の時間をどのような場所で過ごさせたいと思いますか。「放課後児童クラブ」の場合には、利用を希望する時間もご記入ください。  
 （あてはまるものすべてに○、該当する口内に日数・時間をご記入ください。）

※時間制（例：下校時から 17 時まで）  
 ※先のことになりますが、現在お持ちのイメージでお答えください。

希望する場所【複数選択可】	週あたりの希望日数【数字を記入】
1. 自宅	週 <input type="text"/> 日<input type="text"/>ら <input type="text"/> い
2. 祖父母や友人・知人宅	週 <input type="text"/> 日<input type="text"/>ら <input type="text"/> い
3. 習い事（ピアノ教室、サッカークラブ、学習塾など）	週 <input type="text"/> 日<input type="text"/>ら <input type="text"/> い
4. 児童センター※1	週 <input type="text"/> 日<input type="text"/>ら <input type="text"/> い
5. 放課後子ども教室	週 <input type="text"/> 日<input type="text"/>ら <input type="text"/> い
6. 放課後児童クラブ（学童保育）	週 <input type="text"/> 日<input type="text"/>ら <input type="text"/> い 下校時 から <input type="text"/> 時まで
7. ファミリー・サポーター・センター	週 <input type="text"/> 日<input type="text"/>ら <input type="text"/> い
8. その他（公民館、公園など）	週 <input type="text"/> 日<input type="text"/>ら <input type="text"/> い

※1 児童センターで行う放課後児童クラブの利用を希望する場合は「6. 放課後児童クラブ（学童保育）」に○

問 31 問 29 または問 30 で「6. 放課後児童クラブ（学童保育）」と回答した方にかがいます。宛名のお子さんについて、土曜日と日曜日・祝日に、放課後児童クラブの利用希望はありますか。なお、事業の利用には一定の利用料がかかります。  
 （それぞれ○は1つ、利用したい場合は時間帯をご記入ください。）

※時間制（例：15 時から 17 時まで）

(1) 土曜日の利用希望	利用したい時間帯
1. 低学年（1～3年生）の間は利用したい	<input type="text"/> から <input type="text"/> 時まで
2. 高学年（4～6年生）になっても利用したい	<input type="text"/> から <input type="text"/> 時まで
3. 利用する必要はない	
(2) 日曜日・祝日の利用希望	利用したい時間帯
1. 低学年（1～3年生）の間は利用したい	<input type="text"/> から <input type="text"/> 時まで
2. 高学年（4～6年生）になっても利用したい	<input type="text"/> から <input type="text"/> 時まで
3. 利用する必要はない	

問 32 宛名のお子さんについて、お子さんの夏休み・冬休みなどの長期の休暇期間中の放課後児童クラブの利用希望はありますか。なお、事業の利用には一定の利用料がかかります。  
 （○は1つ、利用したい場合は時間帯をご記入ください。）

※時間制（例：15 時から 17 時まで）

1. 低学年（1～3年生）の間は利用したい	<input type="text"/> から <input type="text"/> 時まで
2. 高学年（4～6年生）になっても利用したい	<input type="text"/> から <input type="text"/> 時まで
3. 利用する必要はない	

### 10. 育児休業や短時間勤務制度など、職場の面立支援制度について

問 33 宛名のお子さんが生まれた時、父母のいずれかもしくは双方が育児休業を取得しましたか。  
 （それぞれ○は1つ）  
 また、取得していない方はその理由をお答えください。（あてはまるものすべてに○）

(1) 母親（○は1つ）	(2) 父親（○は1つ）
1. 働いていなかった	1. 働いていなかった
2. 取得した（育児休業中である）	2. 取得した（育児休業中である）
3. 取得していない	3. 取得していない

母親	父親	取得していない理由（あてはまるものすべてに○）
1	1	職場に育児休業を取りにくい雰囲気があった
2	2	仕事が忙しかった
3	3	（産休後）仕事に早く復帰したかった
4	4	仕事に戻るのが難しそうだった
5	5	昇給・昇格などが遅れそうだった
6	6	収入減となり、経済的に苦しくなる
7	7	保育所などに預けることができた
8	8	配偶者が育児休業制度を利用した
9	9	配偶者が転職、祖父母等の親族にみてもらえるなど、制度を利用する必要がなかった
10	10	子育てや家事に専念するため退職した
11	11	職場に育児休業の制度がなかった（就業規則に定めがなかった）
12	12	有期雇用のため育児休業の取得要件を満たさなかった
13	13	育児休業を取得できることを知らなかった
14	14	産前産後の休暇（産前6週間、産後8週間）を取得できることを知らず、退職した
15	15	その他（母親： <input type="text"/> 父親： <input type="text"/> ）

問 33-1 問 33 で「2. 取得した（取得中である）」と回答した方がいます。

育児休業取得後、職場に復帰しましたか。（それぞれ〇は1つ）

(1) 母親	1. 育児休業取得後、職場に復帰した ⇒ 問 33-2 へ
	2. 現在も育児休業中である ⇒ 問 33-4 へ
	3. 育児休業中に離職した ⇒ 問 34 (21ページ) へ
(2) 父親	1. 育児休業取得後、職場に復帰した ⇒ 問 33-2 へ
	2. 現在も育児休業中である ⇒ 問 33-4 へ
	3. 育児休業中に離職した ⇒ 問 34 (21ページ) へ

問 33-2 問 33-1 で「1. 育児休業取得後、職場に復帰した」と回答した方がいます。

育児休業からは、「実際」にお子さんが何歳何か月のときに職場復帰しましたか。また、お勤め先の育児休業の制度の期間内で、何歳何か月のときまで取り戻したかどうか。

（それぞれ口内に実際と希望の復帰時期をご記入ください。）

(1) 母親	実際の復帰時期	歳	か月	希望の復帰時期	歳	か月
	実際の復帰時期	歳	か月	希望の復帰時期	歳	か月

問 33-3

問 33-2 で「実際の復帰時期」と「希望の復帰時期」が異なる方がいます。

希望の時期に職場復帰しなかった理由をお答えください。

(1) 希望より早く復帰した方（それぞれあてはまるものすべてに〇）

①母親	1. 希望する保育所に入るため
	2. 配偶者や家族の希望があったため
	3. 経済的な理由で早く復帰する必要があったため
	4. 人事異動や業務の節目の時期に合わせるため
	5. その他（ ）
②父親	1. 希望する保育所に入るため
	2. 配偶者や家族の希望があったため
	3. 経済的な理由で早く復帰する必要があったため
	4. 人事異動や業務の節目の時期に合わせるため
	5. その他（ ）

(2) 希望より遅く復帰した方（それぞれあてはまるものすべてに〇）

①母親	1. 希望する保育所に入れなかったため
	2. 自分や子どもなどの体調が悪くなくなったため
	3. 配偶者や家族の希望があったため
	4. 職場の受け入れ態勢が整っていなかったため
	5. 子どもをみてくれる人がいなかったため
	6. その他（ ）
②父親	1. 希望する保育所に入れなかったため
	2. 自分や子どもなどの体調が悪くなくなったため
	3. 配偶者や家族の希望があったため
	4. 職場の受け入れ態勢が整っていなかったため
	5. 子どもをみてくれる人がいなかったため
	6. その他（ ）

問 33-4

問 33-1 で「2. 現在も育児休業中である」と回答した方がいます。

宛名のお子さんが1歳になったときに必ず利用できる事業があれば、1歳になるまで育児休業を取得しますか。または、預けられる事業があっても1歳になる前に復帰しますか。（それぞれ〇は1つ）

(1) 母親	1. 1歳になるまで育児休業を取得したい
	2. 1歳になる前に復帰したい
(2) 父親	1. 1歳になるまで育児休業を取得したい
	2. 1歳になる前に復帰したい



11. 子育て全般について

問 34 お住まいの地域における子育ての環境や支援への満足度を教えてください。(Oは1つ)

満足度が低い ←					→ 満足度が高い
1	2	3	4	5	

問 35 あなたは、子育てサークルなどの自主的なグループ活動などに参加していますか。(Oは1つ)

1. 現在参加しており、今後も参加するつもりである ] ⇒ 問 36へ

2. 現在参加しているが、今後は参加するつもりはない

3. 現在は参加していないが、今後機会があれば参加したい ] ⇒ 問 35-1へ

4. 現在は参加しておらず、今後も参加するつもりはない

問 35-1 問 35 で「2」～「4」と回答した方にうかがいます。

参加していない理由、または、今後参加しない理由は何ですか（あてはまるものすべてにO）

1. 活動の情報が参加方法がわからないから

2. 身近な場所で参加できる活動がないから

3. 活動に参加する余裕や時間がないから

4. 気軽に参加したり、やめたりできないから

5. 人間関係がわずらわしいから

6. 特に必要を感じないから

7. その他（ ）

問 36 あなたは、どの程度の近所付き合いをしていますか。(Oは1つ)

1. 親しく付き合い合っているお宅がある

2. 自治会や隣近所の行事のときだけ付き合い

3. たまに立ち話をする程度

4. 会話はあいさつをする程度

5. 付き合いがほとんどない

問 37 あなたは、発達障害について知っていましたか。(Oは1つ)

1. 知っていた

2. 言葉だけ知っていた

3. 知らなかった

子育てに不安を感じている方からの相談で、発達障害に関するものが増えています。発達障害とは、発達障害者支援法により「自閉症、アスペルガー症候群その他の広汎性発達障害、学習障害、注意欠陥多動性障害その他これに類する脳機能の障害であったその症状が通常低年齢において発現するものとして政令で定めるもの」と定義されています。

問 38 時折、児童虐待のニュースが報道されますが、法律では虐待を受けたと思われる、または疑いのある児童を発見したら、誰でも市町村の役所や児童相談所などに知らせることが義務付けられています。

あなたは、そのような義務があることを知っていましたか。(Oは1つ)

1. 知っていた

2. 知らなかった

問 39 あなたは、今後さらに市に住み続けたいと思いますか。(Oは1つ)

1. 今後ますます住み続けたい

2. 今後なるべく住み続けたい

3. いずれ引っ越したい

4. わからない

問 40 さくらの市の子育て環境について、あなたが感じる現在の満足度と、今後の重要度についてお答えください。(それぞれOは1つ)

項目	評価			満足度			重要度		
	とても満足	やや満足	やや不満	とても不満	とても重要	やや重要	あまり重要でない	重要でない	
① 保育所等の保育環境	1	2	3	4	1	2	3	4	
② 幼児期の教育環境	1	2	3	4	1	2	3	4	
③ 緊急時の預かりなど	1	2	3	4	1	2	3	4	
④ 交流の場・機会	1	2	3	4	1	2	3	4	
⑤ 子どもの安全	1	2	3	4	1	2	3	4	
⑥ 放課後児童クラブ（学童保育）の保育環境	1	2	3	4	1	2	3	4	

問 41 子育て支援で、もっと力をいれてほしいものは何ですか。(あてはまるものすべてにO)

1. 子どもが安心して遊べる場所が欲しい

2. 親子が安心して集まれる身近な場や機会が欲しい

3. 子育てに困った時に相談したり情報が行き渡る場を充実して欲しい

4. 安心して子どもが医療機関にかかれる体制を整備して欲しい

5. 育児休業・介護休業の取得促進などを企業に対して働きかけて欲しい

6. 再就職についての支援を充実して欲しい

7. 子育てサークルへの支援をして欲しい

8. 公園や歩道の整備をして欲しい

9. 児童手当の経済的支援を充実して欲しい

10. 家事支援サービスを充実して欲しい

11. その他（ ）

問 42 最後に、教育・保育事業の充実など子育ての環境や支援に関してご意見がございましたら、ご自由にご記入ください。

質問は以上になります。調査にご協力いただきまして、ありがとうございます。

切手を貼らずに同封の返信用封筒に入れて、12月28日(金)までに、郵便ポストにご投函ください。

## さくら市 子育て支援についてのアンケート調査 【小学生児童保護者用】

市民の皆さまには、日ごろから市政発展のため、ご理解とご協力をいただき、深く感謝申し上げます。さて、本市では、子ども・子育て支援新制度により平成27年3月に策定した「第1期さくら市子ども・子育て支援事業計画」に基づき、「子どもの笑顔がふれる未来へ」を基本理念に、子どもの健やかな育ちと保護者の子育て環境の支援に努めています。

このたび、計画の期間が平成31年度に終了することから、「第2期さくら市子ども・子育て支援事業計画（平成32年度～平成36年度）」を策定します。

そこで、市民の皆さまの子育てに関する実態や、ご意見・ご要望等を把握するためアンケート調査を実施します。

この調査は、住民基本台帳から小学生のお子さん 1,500 人を無作為に抽出し、保護者の皆さんにご協力をお願いするものです。ご回答いただいた調査内容は、統計的に処理し個人が特定されないよう配慮し、調査の目的以外に使用することはありません。

つきましては、ご多忙のこととは存じますが、本調査の趣旨をご理解いただき、ご協力くださいますようお願い申し上げます。

平成30年12月

さくら市長 花塚 隆志

### <ご記入にあたってのお願い>

1. 本調査の対象者は、平成30年11月1日現在で抽出しています。
2. ご記入は、**宛名の番号**の方にお願いたします。
3. ご回答は、**選択肢の番号**に○をつけていただく場合と、**数字をご記入**いただく場合がございます。また、「その他」を選択した場合には、( ) 内に具体的な内容をご記入ください。
4. 時間を数字でご記入いただく場合、**24時間制(例:9:00～18:00)**でご記入ください。
5. 設問によっては、**ご回答いただく方が限られる場合がございます**。注書きや矢印に従ってご回答ください。特に注書きのない場合は次の設問へお進みください。
6. 放課後児童クラブなどの教育・保育・子育て支援を計画的に整備するために、市民の皆さまの利用状況・希望を把握することが目的であり、本調査の回答により、施設や事業の利用の可否を決定することはありません。
7. ご記入いただいたアンケート用紙は、お手数ですが、**12月28日(金)**までに**同封の返信用封筒**に入れて、郵便ポストにご投函ください。切手の貼付やお名前の記入は**必要ありません**。

ご回答いただく上でご不明な点、調査に関するお問い合わせは、下記までお問い合わせいたします。

さくら市 市民福祉部 児童課

電話:028-681-1125

FAX:028-681-1482

### 子ども・子育て支援新制度とは

幼児期の学校教育・保育や、地域の子ども・子育て支援を総合的に推進するため、平成27年度からスタートした制度です。一人ひとりの子どもが健やかに成長することができる社会を実現することを目的に、待機児童の解消、教育・保育の質的改善、認定こども園制度の改善、地域における子ども・子育て支援事業の充実などに取り組んでいきます。

## 1. 封筒の宛名のお子さんとご家族の状況について

問 1 宛名のお子さんの生年月月をご記入ください。(口内に数字をご記入ください。)

平成	<input type="text"/>	年	<input type="text"/>	月	<input type="text"/>	日	<input type="text"/>	月生まれ
----	----------------------	---	----------------------	---	----------------------	---	----------------------	------

問 2 宛名のお子さんを含め、お子さんは全員で何人いらっしゃいますか。お2人以上のお子さんがいられる場合は、一番下のお子さん（末子）の生年月月をご記入ください。(口内に数字をご記入ください。)

お子さんの数	<input type="text"/>	人(宛名のお子さん含む)	末子の生年月	平成	<input type="text"/>	年	<input type="text"/>	月	<input type="text"/>	日	月生まれ
--------	----------------------	--------------	--------	----	----------------------	---	----------------------	---	----------------------	---	------

問 3 この調査票にご回答いただく方はどなたですか。宛名のお子さんからみた関係でお答えください。(Oは1つ)

1. 母親	2. 父親	3. その他( )
-------	-------	-----------

問 4 この調査票にご回答いただいている方の配偶者についてお答えください。(Oは1つ)

1. 配偶者がいる	2. 配偶者がいない
-----------	------------

問 5 宛名のお子さんの子育て(教育を含む)を主にやっているのはどなたですか。お子さんからみた関係でお答えください。(Oは1つ)

1. 父母ともに	2. 主に母親	3. 主に父親	4. 主に祖父母	5. その他( )
----------	---------	---------	----------	-----------

問 6 お住まいの小学校区はどちらですか。(Oは1つ)

※「6. 喜連川小学校」の方は、①～⑤の旧小学校区もあわせてお答えください。

1. 氏家小学校	2. 押上小学校	3. 熱田小学校	4. 上松山小学校	5. 南小学校
6. 喜連川小学校 → ① 旧喜連川小	② 旧鹿小	③ 旧穂積小	④ 旧蔵原小	⑤ 旧戸山小

## 2. 子どもの育ちをめぐる環境について

問 7 宛名のお子さんの子育て(教育を含む)に日常的に関わっている方はどなた(施設)ですか。宛名のお子さんからみた関係でお答えください。(あてはまるものすべてにO)

1. 父母ともに	2. 母親	3. 父親	4. 小学校	5. その他( )
----------	-------	-------	--------	-----------

問 8 日頃、宛名のお子さんをみてもらえる親族・知人はいいますか。（あてはまるものすべてに○）

1. 日常的に祖父母等の親族にみてもらえる
2. 緊急時もしくは用事の際には祖父母等の親族にみてもらえる
3. 日常的に子どもをみてもらえる友人・知人がいる
4. 緊急時もしくは用事の際には子どもをみてもらえる友人・知人がいる
5. いずれもない

問 9 宛名のお子さんの子育て（教育を含む）をする上で、気軽に相談できる人はいいますか。

- また、相談できる場所がありますか。（○は1つ）
1. いる・ある ⇒ 問 9-1へ
  2. いない・ない ⇒ 問 10へ

問 9-1 問 9で「1. いる・ある」と回答した方にかがいます。

お子さんの子育て（教育を含む）に関して、気軽に相談できる先は、誰（どこ）ですか。

- （あてはまるものすべてに○）
1. 祖父母等の親族
  2. 友人や知人
  3. 近所の人
  4. 子育て支援施設（子育て支援センター等）・NPO
  5. 保健所・保健センター
  6. 小学校
  7. 放課後児童クラブ（学童保育）
  8. 放課後子ども教室
  9. 民生委員・児童委員
  10. かかりつけの医師
  11. 自治体の子育て関連担当窓口
  12. その他（ ）

問 10 宛名のお子さんは毎日朝食を食べますか。（○は1つ）

1. 必ず毎日食べる
2. 1週間に1～3日食べないことがある
3. 1週間に4～5日食べないことがある
4. ほとんど食べない

### 3. 宛名のお子さんの保護者の就業状況について

《母親の状況について》 【父子家庭の場合は、問 12へ】

宛名のお子さんの母親の現在の就業状況（自営業、家族従事者含む）をうかがいます。

問 11 現在の就業状況は以下のどれにあたりますか。（○は1つ）

- |    |  |         |
|----|--|---------|
| 母親 | <ol style="list-style-type: none"> <li>1. フルタイム*1で就労しており、産休・育休・介護休業中ではない</li> <li>2. フルタイムで就労しているが、産休・育休・介護休業中である</li> <li>3. パート・アルバイト等*2で就労しており、産休・育休・介護休業中ではない</li> <li>4. パート・アルバイト等で就労しているが、産休・育休・介護休業中である</li> <li>5. 以前は就労していたが、現在は就労していない</li> <li>6. これまで就労したことがない</li> </ol> | ⇒ 問 12へ |
|----|--|---------|

\*1 フルタイム：1週5日程度・1日8時間程度の就労

\*2 パート・アルバイト等：フルタイム以外の就労

問 11-1 問 11で「3」、「4」（パート・アルバイト等で就労）と回答した方にかがいます。

フルタイムへの転換希望はありますか。（○は1つ）

- |    |   |
|----|---|
| 母親 | <ol style="list-style-type: none"> <li>1. フルタイムへの転換希望があり、実現できる見込みがある</li> <li>2. フルタイムへの転換希望はあるが、実現できる見込みはない</li> <li>3. パート・アルバイト等（フルタイム）以外の就労を続けることを希望</li> <li>4. パート・アルバイト等（フルタイム）以外をやめて子育てや家事に専念したい</li> </ol> |
|----|---|

問 11-2 問 11で「5」、「6」（就労していない）と回答した方にかがいます。

就労したいという希望はありますか。（○は1つ、該当する記号に○、該当する口内に数字をご記入ください。）

1. 子育てや家事などに専念したい（就労の予定はない）
  2. 1年より先、一番下の子どもが  歳になったときに就労したい
  3. すぐにも、もしくは1年以内に就労したい
- 希望する就業形態
- |                          |                          |
|--------------------------|--------------------------|
| ア. フルタイム                 | イ. パート・アルバイト等            |
| <input type="checkbox"/> | <input type="checkbox"/> |
- （1週あたり  日 / 1日あたり  時間）

《父親の状況について》 【母子家庭の場合は、問 13へ】

宛名のお子さんの父親の現在の就業状況（自営業、家族従事者含む）をうかがいます。

問 12 現在の就業状況は以下のどれにあたりますか。（○は1つ）

- |    |  |         |
|----|--|---------|
| 父親 | <ol style="list-style-type: none"> <li>1. フルタイム*1で就労しており、育休・介護休業中ではない</li> <li>2. フルタイムで就労しているが、育休・介護休業中である</li> <li>3. パート・アルバイト等*2で就労しており、育休・介護休業中ではない</li> <li>4. パート・アルバイト等で就労しているが、育休・介護休業中である</li> <li>5. 以前は就労していたが、現在は就労していない</li> <li>6. これまで就労したことがない</li> </ol> | ⇒ 問 13へ |
|----|--|---------|

\*1 フルタイム：1週5日程度・1日8時間程度の就労

\*2 パート・アルバイト等：フルタイム以外の就労

問 12-1 問 12で「3」、「4」（パート・アルバイト等で就労）と回答した方にかがいます。

フルタイムへの転換希望はありますか。（○は1つ）

- |    |   |
|----|---|
| 父親 | <ol style="list-style-type: none"> <li>1. フルタイムへの転換希望があり、実現できる見込みがある</li> <li>2. フルタイムへの転換希望はあるが、実現できる見込みはない</li> <li>3. パート・アルバイト等（フルタイム）以外の就労を続けることを希望</li> <li>4. パート・アルバイト等（フルタイム）以外をやめて子育てや家事に専念したい</li> </ol> |
|----|---|

問 12-2 問 12 で「5」、「6」（就労していない）と回答した方にかがいます。

就労したいという希望はありますか。(○は1つ、該当する記号に○、該当する口内に数字をご記入ください。)

1. 子育てや家事などに専念したい (就労の予定はない)

2. 1年より先、一番下の子どもが  歳になったらどこに就労したい

3. すぐにも、もしくは1年以内に就労したい

希望する ( )

就労形態

ア. フルタイム

イ. パート・アルバイト等

(1週あたり  日 / 1日あたり  時間)

**4. 宛名のお子さんの病気の際の対応について**

問 13 この1年間に、宛名のお子さんが病気を休まなければならなかったことはありますか。(○は1つ)

1. あった ⇒ 問 13-1へ

2. なかった ⇒ 問 14 (7ページ)へ

問 13-1 問 13 で「1. あった」と回答した方にかがいます。

宛名のお子さんが病気を休まなければならなかった場合に、この1年間に行った対処方法をお答えください。(あてはまるものすべてに○、口内に数字をご記入ください。)

※半日程度の利用も1日としてください。

1年間の対処方法	日数 (年間)
1. 父親が休んだ	<input type="text"/> 日 ⇒ 問 13-2へ
2. 母親が休んだ	<input type="text"/> 日
3. (同居者を含む) 親族・知人に子どもをみてもらった	<input type="text"/> 日
4. 父親又は母親のうち就労していない方が子どもをみた	<input type="text"/> 日
5. 病児保育※1・病後児保育※2を利用した	<input type="text"/> 日
6. ベビーシッターを利用した	<input type="text"/> 日 ⇒ 問 13-4へ
7. ファミリー・サポート・センターによる病児・病後児の預かりを利用した	<input type="text"/> 日
8. 仕方なく子どもだけで留守番させた	<input type="text"/> 日
9. その他 ( )	<input type="text"/> 日

※1 「病児保育」とは、お子さんが病気になるまで、仕事を休めない保護者に代わって一時的に預かる事業です。  
 ※2 「病後児保育」とは、お子さんが、病気の回復期にあるものの、集団保育が困難な期間、一時的に預かる事業です。

問 13-2 問 13-1 で「1. 父親が休んだ」、「2. 母親が休んだ」と回答した方にかがいます。

その際、「できれば病児・病後児のための保育施設等を利用したい」と思われましたか。なお、病児・病後児のための事業等の利用には、一定の利用料がかかります。利用前にかかりつけ医の受診が必要となります。(○は1つ、口内に日数をご記入ください。)

1. できれば病児保育、病後児保育いずれも利用したい ⇒ 年間  日 ⇒ 問 14へ

2. 利用したいとは思わない ⇒ 問 13-3へ

問 13-3 問 13-2 で「2. 利用したいとは思わない」と回答した方にかがいます。

そう思われる理由についてお答えください。(あてはまるものすべてに○)

1. 病児・病後児を他人に看てもらうのは不安
2. 地域の事業の質に不安がある
3. 地域の事業の利便性 (立地や利用可能時間・日数など) がよくない
4. 利用料がかかる・高い
5. 利用料がわからない
6. 親が仕事を休んで対応できる
7. その他 ( )

問 13-4 問 13-1 で「3」～「9」を回答した方にかがいます。

宛名のお子さんが病気を休まなければならなかった際、「できれば父母のいずれかが仕事を休んでほしい」と思われましたか。問 13-1 の「3」～「9」の日数のうち、仕事を休んでほしい日数についてもご記入ください。(○は1つ、口内に日数をご記入ください。)

1. できれば仕事を休んでほしい ⇒ 年間  日 ⇒ 問 14へ

2. 休んでほしいとは思わない ⇒ 問 13-5へ

問 13-5 問 13-4 で「2. 休んでほしい」と回答した方にかがいます。

そう思われる理由についてお答えください。(あてはまるものすべてに○)

1. 子どもの看護を理由に休みがとれない
2. 自営業なので休めない
3. 休職日数が足りないので休めない
4. その他 ( )



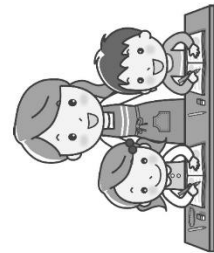
**5. 宛名のお子さんの一時預かり等の利用について**

問 14 宛名のお子さんについて、私用、親の通院、不定期の就労等の目的で不定期に利用している事業はありますか。  
 （あてはまるものすべてに○、口内に1年間の利用日数をご記入ください。）

利用している事業	日数（年間）
1. 一時預かり （私用など理由を問わずに保育所などで一時的に子どもを保育する事業）	□ □ 日
2. ファミリー・サポート・センター （学童保育終了後に一時的に子どもを預かる事業）	□ □ 日
3. 夜間看護等事業：トワイライトステイ （児童養護施設等で休日・夜間、子どもを保護する事業）	□ □ 日
4. ベビーシッター	□ □ 日
5. その他（ ）	□ □ 日
6. 利用していない	⇒ 問 14-1へ

問 14-1 問 14で「6. 利用していない」と回答した方にうかがいます。  
 現在利用していない理由は何ですか。（あてはまるものすべてに○）

1. 特に利用する必要がない
2. 利用したい事業が地域にない
3. 地域の事業の質に不安がある
4. 地域の事業の利便性（立地や利用可能時間・日数など）がよくない
5. 利用料がかかる・高い
6. 利用料がわからない
7. 自分が事業の対象者になるのかわからない
8. 事業の利用方法（手続き等）がわからない
9. その他（ ）



問 15 宛名のお子さんについて、私用、親の通院、不定期の就労等の目的で、年間何日くらい事業を利用する必要があると思いますか。なお、これらの事業の利用には、一定の利用者負担が発生します。（あてはまるものすべてに○、該当する口内に利用したい日数とその合計をご記入ください。）

利用したい	年間計	日
ア. 私用（買物、子ども（兄弟姉妹を含む）や親の習い事等）、リフレッシュ目的	年間	□ □ 日
イ. 冠婚葬祭、学校行事、子ども（兄弟姉妹を含む）や親の通院 等	年間	□ □ 日
ウ. 不定期の就労	年間	□ □ 日
エ. その他（ ）	年間	□ □ 日
2. 利用する必要はない		

問 16 この1年間に、保護者の用事（冠婚葬祭、保護者・家族の病気など）により、宛名のお子さんを泊りがけで家族以外にみてもらわなければならないことはありませんか（預け先が見つからなかった場合も含みます）。あった場合は、この1年間の対処方法を選択し、それぞれの日数もご記入ください。（あてはまるものすべてに○、該当する口内に利用日数をご記入ください。）

預けた有無	1年間の対処方法	日数（年間）
	ア.（同居者を含む）親族・知人にみてもらった	□ □ 泊
	イ. 短期入所生活援助事業（ショートステイ）を利用した （児童養護施設等で一定期間、子どもを保護する事業）	□ □ 泊
	ウ. イ以外の保育事業（認可外保育施設、ハピーシッター等）を利用した	□ □ 泊
1. あった⇒	エ. 子どもを同行させた	□ □ 泊
	オ. 子どもだけで留守番させた	□ □ 泊
	カ. その他（ ）	□ □ 泊
2. なかった		

**6. 放課後の過ごし方について**

問 17 宛名のお子さんについて、放課後（平日の小学校終了後）の時間をどのような場所で過ごしていただけますか。「放課後児童クラブ」の場合には、利用している時間もご記入ください。  
（あてはまるものすべてに○、該当する口内に日数・時間をご記入ください。）  
※時間は24時間制（例：下校時から 17 時まで）

利用している場所【複数選択可】	週あたりの利用日数【数字を記入】
1. 自宅	週 <input type="text"/> 日くらいい
2. 祖父母宅や友人・知人宅	週 <input type="text"/> 日くらいい
3. 習い事（ピアノ教室、サッカークラブ、学習塾など）	週 <input type="text"/> 日くらいい
4. 児童センター※1	週 <input type="text"/> 日くらいい
5. 放課後子ども教室※2	週 <input type="text"/> 日くらいい
6. 放課後児童クラブ（学童保育）※3	週 <input type="text"/> 日くらいい 下校時 から <input type="text"/> 時頃 まで
7. ファミリー・サポート・センター	週 <input type="text"/> 日くらいい
8. その他（公民館、公園など）	週 <input type="text"/> 日くらいい

※1 児童センターで行う放課後児童クラブの利用希望する場合は「6. 放課後児童クラブ（学童保育）」に○  
 ※2 放課後子ども教室：地域の協力を得て、放課後や週末に小学校や公民館で学習・スポーツ・文化芸術活動などを体験する取組です。保護者の就労の有無に関わらず、すべての小学生が利用できます。  
 ※3 放課後児童クラブ：地域によって学童保育などと併行しています。保護者が就労等により帰国家庭にいない場合などに、支援の下、子どもの生活の場を提供するものです。事業の利用にあたっては、一定の利用枠がかかります。

→ 問 17-1 問 17で「4」～「7」と回答した方にうかがいます。  
事業を利用しての感想やご意見をご自由にお書きください。



問 18 宛名のお子さんについて、放課後（平日の小学校終了後）の時間をどのような場所で過ごさせたいと思いますか。「放課後児童クラブ」の場合には、利用を希望する時間もご記入ください。  
（それぞれあてはまるものすべてに○、該当する口内に日数・時間をご記入ください。）  
※時間は24時間制（例：下校時から 17 時まで）

《小学生低学年（1～3年生）の方について》 【小学4～6年生の場合は、(2)へ】

※1 児童センターで行う放課後児童クラブの利用希望する場合は「6. 放課後児童クラブ（学童保育）」に○

希望する場所【複数選択可】	週あたりの希望日数【数字を記入】
1. 自宅	週 <input type="text"/> 日くらいい
2. 祖父母宅や友人・知人宅	週 <input type="text"/> 日くらいい
3. 習い事（ピアノ教室、サッカークラブ、学習塾など）	週 <input type="text"/> 日くらいい
4. 児童センター※1	週 <input type="text"/> 日くらいい
5. 放課後子ども教室	週 <input type="text"/> 日くらいい
6. 放課後児童クラブ（学童保育）	週 <input type="text"/> 日くらいい 下校時 から <input type="text"/> 時頃 まで
7. ファミリー・サポート・センター	週 <input type="text"/> 日くらいい
8. その他（公民館、公園など）	週 <input type="text"/> 日くらいい

《すべての方について》

(2) 小学校高学年（4～6年生）の期間、放課後の時間をどのような場所で過ごさせたいと思いますか。  
※宛名のお子さんが小学校低学年の場合、現在お持ちのイメージでお答えください。

希望する場所【複数選択可】	週あたりの希望日数【数字を記入】
1. 自宅	週 <input type="text"/> 日くらいい
2. 祖父母宅や友人・知人宅	週 <input type="text"/> 日くらいい
3. 習い事（ピアノ教室、サッカークラブ、学習塾など）	週 <input type="text"/> 日くらいい
4. 児童センター※1	週 <input type="text"/> 日くらいい
5. 放課後子ども教室	週 <input type="text"/> 日くらいい
6. 放課後児童クラブ（学童保育）	週 <input type="text"/> 日くらいい 下校時 から <input type="text"/> 時頃 まで
7. ファミリー・サポート・センター	週 <input type="text"/> 日くらいい
8. その他（公民館、公園など）	週 <input type="text"/> 日くらいい

※1 児童センターで行う放課後児童クラブの利用を希望する場合は「6. 放課後児童クラブ（学童保育）」に○

**問 18-1** 問 18 (1) または (2) で「6. 放課後児童クラブ (学童保育)」と回答した方にかがいます。

宛名のお子さんについて、土曜日と日曜日、放課後児童クラブの利用希望はありますか。なお、事業の利用には一定の利用料がかかります。

(それぞれ〇は1つ、利用したい場合は時間帯をご記入ください。)

※時間は24時間制 (例：115時から117時まで)

(1) 土曜日の利用希望	利用したい時間帯
1. 低学年 (1～3年生) の間は利用したい	時 から 時まで
2. 高学年 (4～6年生) になっても利用したい	
3. 利用する必要はない	
(2) 日曜日・祝日の利用希望	利用したい時間帯
1. 低学年 (1～3年生) の間は利用したい	時 から 時まで
2. 高学年 (4～6年生) になっても利用したい	
3. 利用する必要はない	

**問 19** 宛名のお子さんについて、お子さんの夏休み・冬休みなどの長期の休暇期間中の放課後児童クラブの利用希望はありますか。なお、事業の利用には一定の利用料がかかります。

(〇は1つ、利用したい場合は時間帯をご記入ください。)

※時間は24時間制 (例：115時から117時まで)

1. 低学年 (1～3年生) の間は利用したい	利用したい時間帯
2. 高学年 (4～6年生) になっても利用したい	時 から 時まで
3. 利用する必要はない	

**問 20** 宛名のお子さまは、ふだん児童センターを利用していますか。(〇は1つ)

1. 利用している ⇒ 問 20-1へ

2. 利用していない ⇒ 問 21へ

**問 20-1** 問 20 で「1. 利用している」と回答した方にかがいます。

児童センターに対して何か要望はありますか。(あてはまるものすべてに〇)

※時間は24時間制 (例：20時30分頃まで)

1. 施設の拡大や魅力的な遊具の充実	2. 子どもの意見を反映させた遊びと行事を行う
3. 職員専門性を高める	4. 地域の高齢者や障がい者と交流できる行事を行う
5. 子育て相談や講座の充実	6. 利用時間を 時 分頃まで延長する
7. 親同士の情報交換や交流の場を設ける	8. その他 ( )
9. 特になし	

**問 21** 児童センターを今後利用したいと思いますか。(〇は1つ)

1. 利用したい

2. 利用する予定はない

**7. 育児休業や短時間勤務制度など、職場の両立支援制度について**

**問 22** 宛名のお子さんが生まれた時、父母のいずれかもしくは双方が育児休業を取得しましたか。

(それぞれ〇は1つ)

また、取得していない方はその理由をお答えください。(あてはまるものすべてに〇)

(1) 母親 (〇は1つ)	(2) 父親 (〇は1つ)
1. 働いていなかった	1. 働いていなかった
2. 取得した	2. 取得した
3. 取得していない	3. 取得していない

母親	父親	取得していない理由 (あてはまるものすべてに〇)
1	1	職場に育児休業を取りにくい雰囲気があった
2	2	仕事が多かった
3	3	(産休後) 仕事に早く復帰したかった
4	4	仕事に戻るのが難しかった
5	5	昇給・昇格などが遅れそうだった
6	6	収入減となり、経済的に苦しくなる
7	7	保育園などに預けることができた
8	8	配偶者が育児休業制度を利用した
9	9	配偶者が無職、祖父母等の親族にみてもらえるなど、制度を利用する必要がなかった
10	10	子育てや家事に専念するため退職した
11	11	職場に育児休業の制度がなかった (就業規則に定めなかった)
12	12	有期雇用のため育児休業の取得要件を満たさなかった
13	13	育児休業を取得できなかったと知らなかった
14	14	産前産後の休暇 (産前6週間、産後8週間) を取得できなかったと知らず、退職した
15	15	その他 (母親： ) (父親： )

**問 22-1** 問 22 で「2. 取得した (取得中である)」と回答した方にかがいます。

育児休業取得後、職場に復帰しましたか。(それぞれ〇は1つ)
(1) 母親
1. 育児休業取得後、職場に復帰した ⇒ 問 22-2へ
2. 育児休業中に転職した ⇒ 問 23 (14ページ)へ
(2) 父親
1. 育児休業取得後、職場に復帰した ⇒ 問 22-2へ
2. 育児休業中に転職した ⇒ 問 23 (14ページ)へ

8. 子育て全般について

問 23 お住まいの地域における子育ての環境や支援への満足度を教えてください。(○は1つ)

満足度が低い ←	→ 満足度が高い			
1	2	3	4	5

問 24 あなたは、子育てサークルなどの自主的なグループ活動などに参加していますか。(○は1つ)

- 現在参加しており、今後も参加するつもりである
  - 現在参加しているが、今後は参加するつもりはない
  - 現在は参加していないが、今後機会があれば参加したい
  - 現在は参加しておらず、今後も参加するつもりはない
- ⇒ 問 25へ  
⇒ 問 24-1へ

問 24-1 問 24 で「2」～「4」と回答した方にうかがいます。

- 参加していない理由、または、今後参加しない理由は何ですか（あてはまるものすべてに○）
- 活動の情報や参加方法を知らないから
  - 身近な場所に参加できない活動がないから
  - 活動に参加する余裕や時間がないから
  - 気軽に参加したり、やめたりできないから
  - 人間関係がわずらわしいから
  - 特に必要を感じないから
  - その他（ ）

問 25 あなたは、どの程度の近所付き合いをしていますか。(○は1つ)

- 親しく付き合い合っているお宅がある
- 自治会や隣近所の行事のときだけ付き合い合う
- たまに立ち話をする程度
- 会えばあいさつをする程度
- 付き合いがほとんどない

問 26 あなたは、発達障害について知っていましたか。(○は1つ)

- 知っていた
- 言葉だけ知っていた
- 知らなかった

子育てに不安を感じている方からの相談で、発達障害に関するものが増えています。発達障害とは、発達障害者支援法により「自閉症、アスペルガー症候群その他の広汎性発達障害、学習障害、注意欠陥多動性障害その他これに類する脳機能の障害であったその症状が通常低年齢において発現するものとして政令で定めるもの」と定義されています。

問 27 時折、児童虐待のニュースが報道されますが、法律では虐待を受けたと思われる、または疑いのある児童を発見したら、誰でも市町村の役所や児童相談所などに知らせることが義務付けられています。

- あなたは、そのような義務があることを知っていましたか。(○は1つ)
- 知っていた
  - 知らなかった

問 28 あなたは、今後さくら市に住み続けたいと思いますか。(○は1つ)

- 今後ずっと住み続けたい
- 今後なるべく住み続けたい
- いずれ引越したい
- わからない

問 22-1 で「1. 育児休業取得後、職場に復帰した」と回答した方にうかがいます。

育児休業からは、「実際」にお子さんが何歳何か月のときに職場復帰しましたか。また、お勤め先の育児休業の制度の期間内で、何歳何か月のときまで取り戻したか教えてください。

(それぞれ口内に実際と希望の復帰時期をご記入ください。)

(1) 母親	実際の復帰時期	歳	か月	希望の復帰時期	歳	か月
(2) 父親	実際の復帰時期	歳	か月	希望の復帰時期	歳	か月

問 22-2 で「実際の復帰時期」と「希望の復帰時期」が異なる方にうかがいます。

希望の時期に職場復帰しなかった理由をお答えください。

(1) 希望より早く復帰した方（それぞれあてはまるものすべてに○）

①母親	<ol style="list-style-type: none"> <li>希望する保育所に入るため</li> <li>配偶者や家族の希望があったため</li> <li>経済的な理由で早く復帰する必要があったため</li> <li>人事異動や業務の節目の時期に合わせるため</li> <li>その他（ ）</li> </ol>
②父親	<ol style="list-style-type: none"> <li>希望する保育所に入るため</li> <li>配偶者や家族の希望があったため</li> <li>経済的な理由で早く復帰する必要があったため</li> <li>人事異動や業務の節目の時期に合わせるため</li> <li>その他（ ）</li> </ol>

(2) 希望より遅く復帰した方（それぞれあてはまるものすべてに○）

①母親	<ol style="list-style-type: none"> <li>希望する保育所に入れなかったため</li> <li>自分や子どもなどの体調が悪くなくなったため</li> <li>配偶者や家族の希望があったため</li> <li>職場の受け入れ態勢が整っていなかったため</li> <li>子どもをみてくれる人がいなかったため</li> <li>その他（ ）</li> </ol>
②父親	<ol style="list-style-type: none"> <li>希望する保育所に入れなかったため</li> <li>自分や子どもなどの体調が悪くなくなったため</li> <li>配偶者や家族の希望があったため</li> <li>職場の受け入れ態勢が整っていなかったため</li> <li>子どもをみてくれる人がいなかったため</li> <li>その他（ ）</li> </ol>

問 29 さくら市の子育て環境について、あなたが感じる現在の満足度と、今後の重要度についてお答えください。(それぞれ〇は1つ)

項 目	評 価			満 足 度			重 要 度		
	と っ ち も 満 足	や や 満 足	や や 不 満 足	と っ ち も 満 足	や や 重 要	と っ ち も 重 要	あ り が 重 要 な ら ぬ	重 要 で な い	
① 保育所等の保育環境	1	2	3	4	1	2	3	4	
② 幼児期の教育環境	1	2	3	4	1	2	3	4	
③ 緊急時の預かりなど	1	2	3	4	1	2	3	4	
④ 交流の場・機会	1	2	3	4	1	2	3	4	
⑤ 子どもの安全	1	2	3	4	1	2	3	4	
⑥ 放課後児童クラブ(学童保育)の保育環境	1	2	3	4	1	2	3	4	

問 30 子育て支援で、もっと力をいれてほしいものは何ですか。(あてはまるものすべてに〇)

1. 子どもが安心して遊べる場所が欲しい
2. 親子が安心して集まれる身近な場や機会が欲しい
3. 子育てに困った時に相談したり情報が行き渡る場を充実して欲しい
4. 安心して子どもが医療機関にかけられる体制を整備して欲しい
5. 育児休業・介護休暇の取得促進などを企業に対して働きかけて欲しい
6. 再就職についての支援を充実して欲しい
7. 子育てサークルへの支援をして欲しい
8. 公園や歩道の整備をして欲しい
9. 児童手当の経済的支援を充実して欲しい
10. 家事支援サービスを充実して欲しい
11. その他 ( )

問 31 最後に、教育・保育事業の充実など子育ての環境や支援に関してご意見がございましたら、ご自由にご記入ください。


質問は以上になります。調査にご協力いただきまして、ありがとうございます。  
 切手を貼らずに同封の返信用封筒に入れて、12月28日(金)までに、郵便ポストにご投函ください。

**さくら市**  
**子育て支援についてのアンケート調査**  
**【結果報告書】**

**平成31年3月発行**

**発行 さくら市**

**編集 さくら市 市民福祉部 児童課 子育て支援係**

**〒329-1392 栃木県さくら市氏家 2771 番地**

**TEL : 028-681-1125 FAX : 028-681-1482**